

■トンネル台帳 【様式S－1】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		管理者名		宝塚市		緊急輸送道路								
名 称		長尾山トンネル										代替路の有無								
所在地		自	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内	作成者		株式会社明友技建		作成年月日		2021年8月13日		トンネル延長		L= 971 m						
		至	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内									トンネルの分類		陸上トンネルNATM工法						
起点	緯度	34° 84′ 28.5″		完成年月日		2000年3月		舗装	種 別				通報装置	施設の内訳		個数	型式	更新年度		
	経度	135° 37′ 20.1″		供用年月日					厚 さ					非常電話		13				
終点	緯度	34° 85′ 07.4″		トンネル等級					排水	面 積				非常警報装置	押ボタン式通報装置		21			
	経度	135° 36′ 78.9″		内装種類		覆工（内装なし）				更新年次					火災検知器		*			
一般有料区分		一般（無料）		天井板種類		覆工（内装なし）		種 別					消火設備		警報表示板		*			
土かぶり		m		坑門	起点	形式			更新年次						点滅灯		*			
内空断面積		m2				竣工巻厚	延長		施設		種別・方式	個数		更新年次	音信号発生器		*			
交 通 量		台/日						トンネル非常用施設	照明	ナトリウム灯	245					消 火 器		21		
幅員	道 路 幅	10.3 m								道路附属物等	換気	JF	3				消 火 栓		*	
	車 道 幅	3.5 m		標識								*				誘導表示板		7		
		3.5 m			警報表示板							*				排煙設備		*		
	歩道等幅	2.5+0.8 m		側 壁		cm		吸音板				*				避難通路		*		
高さ	建築限界高	m			インバート	cm			誘導表示板			*								
	中央高	m				アーチ	cm													
	有効高	4.5 m					側 壁			cm										
線形	縦断勾配			インバート				cm												
	直線区間長				半径			種 類	寸 法	管理者名		更新年次		給 水 栓		*				
		曲線区間	区間長											無線通信補助設備		*				
			起点側クロソイド									ラジオ再放送設備		*						
			曲線半径									拡声放送設備		*						
終点側クロソイド						占用物件							水噴霧設備		*					
トンネル工法											監視装置(CCTV)		*							
											非常用電源設備		*							
													非常駐車帯		2					
												方向転換所		*						

※緯度・経度については0.1″単位まで記入することとする。

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		作成者		株式会社明友技建		作成年月日		2021年8月13日									
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市																	
覆工 スパン 番号	スパン長 (m)	追加距離		トンネル本体工			照明施設			非常用施設							換気施設				その他附属物等		
		起点側 (m)	終点側 (m)	特記事項	内 装 板	天 井 板	基本 照	入 口 出	特記事項	非常 電	押 ボ タ	消 火 器	消 火 栓	警 報 表	誘 導 表	監 視 装	特記事項	JF	VI計	CO 計		風 向 風	特記事項
S001	10.50	0.0	10.5	坑門（面壁型）			○	○															PB
S002	10.50	10.5	21.0				○	○		①	①	①											
S003	9.00	21.0	30.0				○	○															
S004	9.00	30.0	39.0				○	○															
S005	10.40	39.0	49.4				○	○															
S006	10.50	49.4	59.9				○	○															
S007	10.00	59.9	69.9				○	○			②	②											
S008	10.00	69.9	79.9				○	○															
S009	10.00	79.9	89.9				○	○															
S010	10.00	89.9	99.9				○	○										○					
S011	10.00	99.9	109.9				○	○											○				風向風速計変換器箱
S012	10.00	109.9	119.9				○	○		②	③	③							○				
S013	10.00	119.9	129.9				○	○															
S014	9.00	129.9	138.9				○	○															
S015	9.00	138.9	147.9				○	○															
S016	9.00	147.9	156.9				○																
S017	10.30	156.9	167.2				○																
S018	10.50	167.2	177.7				○			③	④	④											
S019	10.50	177.7	188.2				○								○								
S020	10.50	188.2	198.7																				
S021	10.50	198.7	209.2				○											○					
S022	10.50	209.2	219.7				○				⑤	⑤											
S023	10.50	219.7	230.2				○																
S024	10.50	230.2	240.7				○																
S025	10.50	240.7	251.2																				
S026	10.50	251.2	261.7				○																
S027	10.50	261.7	272.2				○				⑥	⑥											
S028	10.50	272.2	282.7				○																
S029	10.50	282.7	293.2																				

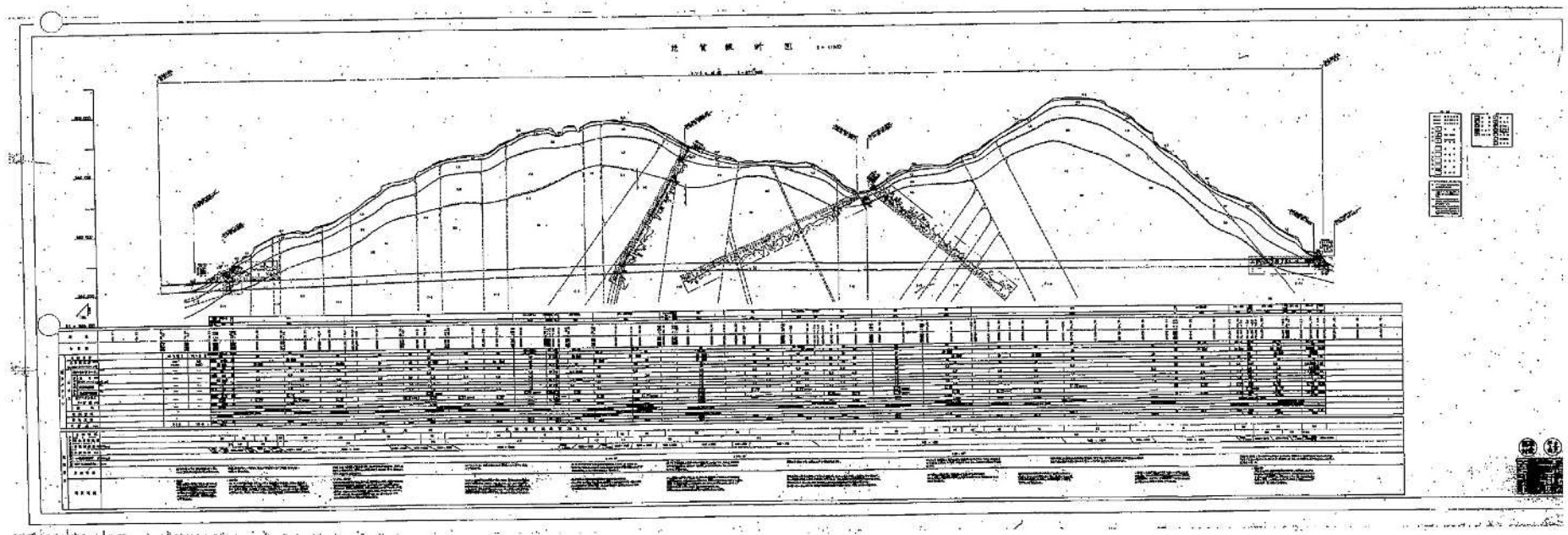
フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		作成者		株式会社明友技建		作成年月日		2021年8月13日									
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市																	
覆工 スパン 番号	スパン長 (m)	追加距離		トンネル本体工			照明施設			非常用施設							換気施設				その他附属物等		
		起点側 (m)	終点側 (m)	特記事項	内 装 板	天 井 板	基本 照 明	入 口 出	特記事項	非常 電	押 ボ タ	消 火 器	消 火 栓	警 報 表	誘 導 表	監 視 装	特記事項	JF	VI計	CO 計		風 向 風	特記事項
S043	10.50	413.3	423.8				○				⑩	⑩											
S044	10.50	423.8	434.3				○																
S045	10.50	434.3	444.8																				
S046	10.50	444.8	455.3				○																
S047	10.50	455.3	465.8				○																
S048	10.50	465.8	476.3				○				⑪	⑪											
S049	10.50	476.3	486.8				○								○								
S050	10.50	486.8	497.3																				
S051	10.50	497.3	507.8				○																
S052	10.50	507.8	518.3				○																
S053	6.55	518.3	524.9				○			⑦	⑫	⑫											
S054	6.55	524.9	531.4				○			⑧	⑬	⑬											
S055	6.55	531.4	538.0				○																
S056	6.55	538.0	544.5				○																
S057	9.20	544.5	553.7				○											○					手元開閉器箱 非常駐車帯非常電話表示板
S058	10.50	553.7	564.2				○																
S059	10.50	564.2	574.7							⑨	⑭	⑭											
S060	10.50	574.7	585.2				○								○								
S061	10.50	585.2	595.7				○																
S062	10.50	595.7	606.2				○																
S063	10.50	606.2	616.7				○																
S064	10.50	616.7	627.2								⑮	⑮											
S065	10.50	627.2	637.7				○																
S066	10.50	637.7	648.2				○																
S067	10.50	648.2	658.7				○																
S068	10.50	658.7	669.2				○				⑯	⑯											
S069	10.50	669.2	679.7																				
S070	10.50	679.7	690.2				○								○			○					
S071	10.50	690.2	700.7				○		</														

[illegible]

■トンネル台帳 トンネル記録 【様式S-3】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	作成者	株式会社明友技建	作成年月日	2021年8月13日
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市				

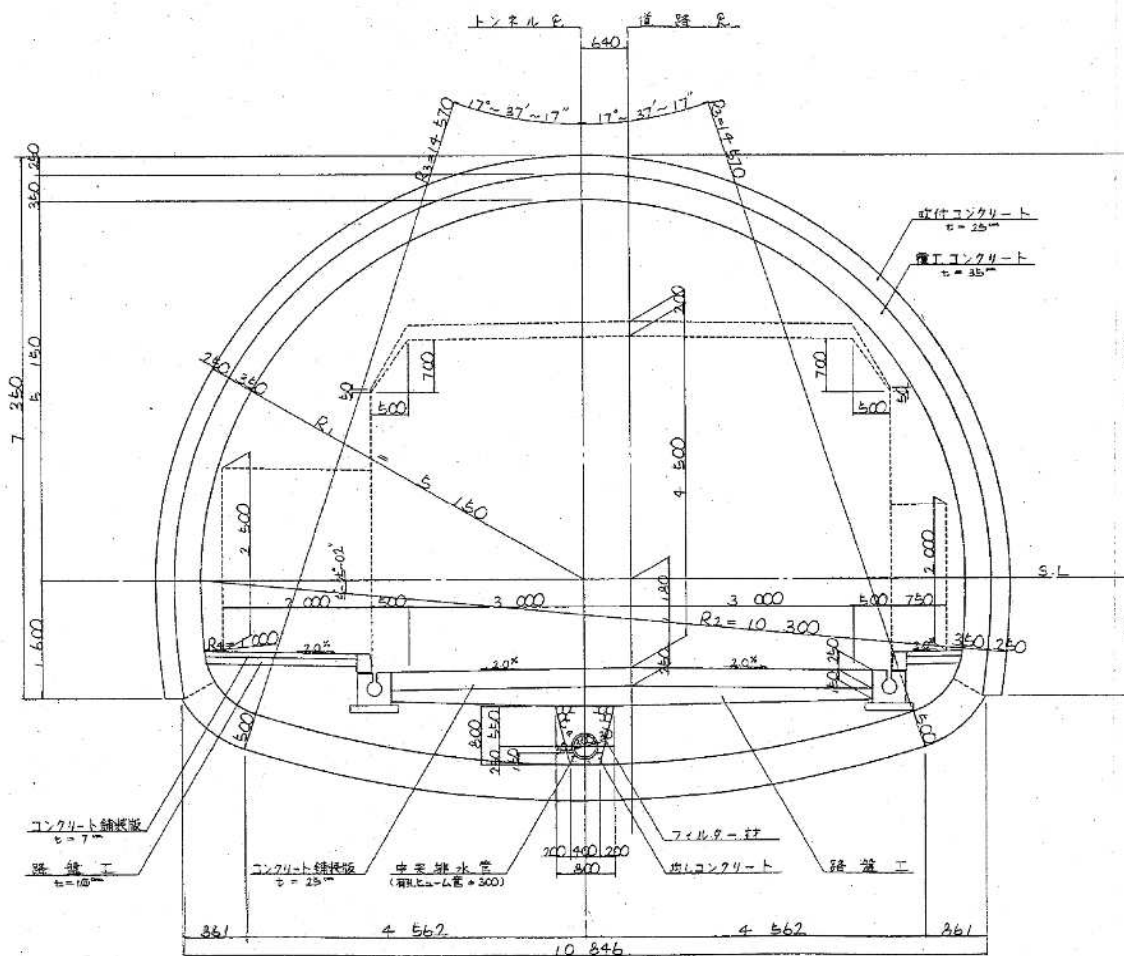
位置図・現況写真・標準断面図・地質縦断面図・施工実績



■トンネル台帳 トンネル記録 【様式S-3】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	作成者	株式会社明友技建	作成年月日	2021年8月13日
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市				

位置図・現況写真・標準断面図・地質縦断面図・施工実績



■トンネル台帳 トンネル記録 【様式S－3】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	作成者	株式会社明友技建	作成年月日	2021年8月13日
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市				

位置図・現況写真・標準断面図・地質縦断面図・施工実績



■点検調査 トンネル変状・異常箇所写真真位置図 【様式A-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		管理者名	宝塚市		緊急輸送道路							
名 称	長尾山トンネル								代替路の有無							
所在地	自	兵庫県宝塚市切畑字長尾山内地内	点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		トンネル延長	L= 971 m						
	至	兵庫県宝塚市切畑字長尾山内地内	調査業者・調査技術者名			調査年月日			トンネルの分類	陸上トンネルNATM工法						
起 点 終 点	緯度	34° 84' 28.5"	変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	221 箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×	
	経度	135° 37' 20.1"			漏水	Ⅱ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所					
	緯度	34° 85' 07.4"			外力	Ⅱ	0スパン	Ⅲ	0スパン	Ⅳ	0スパン					
	経度	135° 36' 78.9"														
注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。 注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。 注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。																

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検調査 トンネル変状・異常箇所写真位置図 【様式A-1】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		管理者名	宝塚市				緊急輸送道路				
名 称		長尾山トンネル										代替路の有無				
所在地		自	兵庫県宝塚市切畑字長尾山内地	点検業者・点検者名	株式会社明友技建			点検年月日	2021/7/26～28		トンネル延長	L= 971 m				
		至	兵庫県宝塚市切畑字長尾山内地	調査業者・調査技術者名				調査年月日			トンネルの分類	陸上トンネルNATM工法				
起 点	緯度	34° 84' 28.5"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本土工	材質劣化	Ⅱ	221 箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×
	経度	135° 37' 20.1"				漏水	Ⅱ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所				
	緯度	34° 85' 07.4"				外力	Ⅱ	0スパン	Ⅲ	0スパン	Ⅳ	0スパン				2箇所
	経度	135° 36' 78.9"														

注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。

注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。

注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。

注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。

※1 トンネル本土工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本土工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検調査 トンネル変状・異常箇所写真位置図 【様式A-1】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		管理者名	宝塚市				緊急輸送道路				
名 称		長尾山トンネル										代替路の有無				
所在地		自	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内	点検業者・点検者名	株式会社明友技建				点検年月日	2021/7/26～28		トンネル延長	L= 971 m			
		至	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内	調査業者・調査技術者名					調査年月日			トンネルの分類	陸上トンネルNATM工法			
起 点 終 点	緯度	34° 84' 28.5"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	221 箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×
	経度	135° 37' 20.1"				漏水	Ⅱ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所				
	緯度	34° 85' 07.4"				外力	Ⅱ	0スパン	Ⅲ	0スパン	Ⅳ	0スパン				
	経度	135° 36' 78.9"														
トンネル変状・異常箇所写真位置図 注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。 注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。 注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。																

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検調査 トンネル変状・異常箇所写真位置図 【様式A-1】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		管理者名	宝塚市				緊急輸送道路				
名 称		長尾山トンネル										代替路の有無				
所在地		自	兵庫県宝塚市切畑字長尾山内地	点検業者・点検者名	株式会社明友技建				点検年月日	2021/7/26～28		トンネル延長	L= 971 m			
		至	兵庫県宝塚市切畑字長尾山内地	調査業者・調査技術者名					調査年月日			トンネルの分類	陸上トンネルNATM工法			
起 点 終 点	緯度	34° 84' 28.5"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	221 箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×
	経度	135° 37' 20.1"				漏水	Ⅱ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所				
	緯度	34° 85' 07.4"				外力	Ⅱ	0スパン	Ⅲ	0スパン	Ⅳ	0スパン				
	経度	135° 36' 78.9"														
トンネル変状・異常箇所写真位置図																

注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。

注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。

注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。

注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検調査 トンネル変状・異常箇所写真位置図 【様式A-1】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		管理者名	宝塚市				緊急輸送道路				
名 称		長尾山トンネル										代替路の有無				
所在地		自	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内	点検業者・点検者名	株式会社明友技建				点検年月日	2021/7/26～28		トンネル延長	L= 971 m			
		至	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内	調査業者・調査技術者名					調査年月日			トンネルの分類	陸上トンネルNATM工法			
起 点 終 点	緯度	34° 84' 28.5"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	221 箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×
	経度	135° 37' 20.1"				漏水	Ⅱ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所				
	緯度	34° 85' 07.4"				外力	Ⅱ	0スパン	Ⅲ	0スパン	Ⅳ	0スパン				2箇所
	経度	135° 36' 78.9"														
トンネル変状・異常箇所写真位置図																

注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。

注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。

注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。

注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検調査 トンネル変状・異常箇所写真位置図 【様式A-1】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		管理者名	宝塚市				緊急輸送道路				
名 称		長尾山トンネル										代替路の有無				
所在地		自	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内	点検業者・点検者名	株式会社明友技建			点検年月日	2021/7/26～28			トンネル延長	L= 971 m			
		至	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内	調査業者・調査技術者名				調査年月日				トンネルの分類	陸上トンネルNATM工法			
起 点 終 点	緯度	34° 84' 28.5"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	221箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×
	経度	135° 37' 20.1"				漏水	Ⅱ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所				
	緯度	34° 85' 07.4"				外力	Ⅱ	0スパン	Ⅲ	0スパン	Ⅳ	0スパン				
終 点	経度	135° 36' 78.9"														2箇所

トンネル変状・異常箇所写真位置図

注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。

注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。

注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。

注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検調査 トンネル変状・異常箇所写真位置図 【様式A-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		管理者名	宝塚市				緊急輸送道路				
名 称	長尾山トンネル										代替路の有無				
所在地	自	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内	点検業者・点検者名	株式会社明友技建			点検年月日	2021/7/26～28			トンネル延長	L= 971 m			
	至	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内	調査業者・調査技術者名				調査年月日				トンネルの分類	陸上トンネルNATM工法			
起 点	緯度	34° 84' 28.5"	変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	221 箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×
	経度	135° 37' 20.1"			漏水	Ⅱ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所				
	緯度	34° 85' 07.4"			外力	Ⅱ	0スパン	Ⅲ	0スパン	Ⅳ	0スパン				
終 点	経度	135° 36' 78.9"													2箇所

トンネル変状・異常箇所写真位置図

注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。
 注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。
 注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図 【様式A-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		管理者名	宝塚市			緊急輸送道路						
名 称	長尾山トンネル									代替路の有無						
所在地	自	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内	点検業者・点検者名	株式会社明友技建			点検年月日	2021/7/26～28		トンネル延長	L= 971 m					
	至	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地内	調査業者・調査技術者名				調査年月日			トンネルの分類	陸上トンネルNATM工法					
起 点 終 点	緯度	34° 84' 28.5"	変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	221 箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×	
	経度	135° 37' 20.1"			漏水	Ⅱ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所					
	緯度	34° 85' 07.4"			外力	Ⅱ	0スパン	Ⅲ	0スパン	Ⅳ	0スパン					
	経度	135° 36' 78.9"														
トンネル変状・異常箇所写真位置図																
注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。 注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。 注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。																

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図 【様式A-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		管理者名	宝塚市			緊急輸送道路						
名 称	長尾山トンネル									代替路の有無						
所在地	自	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地下	点検業者・点検者名	株式会社明友技建			点検年月日	2021/7/26～28			トンネル延長	L= 971 m				
	至	兵庫県宝塚市切畑字長尾山地下	調査業者・調査技術者名				調査年月日				トンネルの分類	陸上トンネルNATM工法				
起 点 終 点	緯度	34° 84' 28.5"	変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	221 箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×	
	経度	135° 37' 20.1"			漏水	Ⅱ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所					
	緯度	34° 85' 07.4"			外力	Ⅱ	0スパン	Ⅲ	0スパン	Ⅳ	0スパン					
	経度	135° 36' 78.9"														
トンネル変状・異常箇所写真位置図																

注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。

注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。

注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。

注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検調査 トンネル変状・異常箇所写真位置図 【様式A-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		管理者名	宝塚市				緊急輸送道路				
名 称	長尾山トンネル										代替路の有無				
所在地	自	兵庫県宝塚市切畑字長尾山内地	点検業者・点検者名	株式会社明友技建			点検年月日	2021/7/26～28			トンネル延長	L= 971 m			
	至	兵庫県宝塚市切畑字長尾山内地	調査業者・調査技術者名				調査年月日				トンネルの分類	陸上トンネルNATM工法			
起 点 終 点	緯度	34° 84' 28.5"	変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	221 箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×
	経度	135° 37' 20.1"			漏水	Ⅱ	0箇所	Ⅲ	0箇所	Ⅳ	0箇所				
	緯度	34° 85' 07.4"			外力	Ⅱ	0スパン	Ⅲ	0スパン	Ⅳ	0スパン				
	経度	135° 36' 78.9"													
トンネル変状・異常箇所写真位置図 注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。 注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。 注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。															

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S001		写真 番号	覆工 スパン 番号	S001		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2		
変状 部位	対象 箇所	坑門		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分	面壁			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化					
変状種類		うき		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ					
健全性	点検・調査後	Ⅱ a		健全性	点検・調査後	Ⅱ b		健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模		150×150mm		変状の発生範囲の規模		0.2～0.6mm		変状の発生範囲の規模		0.2～0.6mm					
前回点検時の状態				前回点検時の状態		幅0.2～0.45mmの複数のひび割れ		前回点検時の状態		幅0.2～0.45mmの複数のひび割れ					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		新規損傷 うきのほかに新規はく落2か所あり計画的な対策が必要						メモ		変状区分は外力よりも材質劣化の可能性が考えられる					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S001		写真 番号	覆工 スパン 番号	S001		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号	3			変状 番号	4			変状 番号				4		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分	天端			部位 区分	天端			部位 区分				天端		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化					
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ					
健全性	点検・調査後	Ⅱ b		健全性	点検・調査後	Ⅱ b		健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模		0.2～0.4mm		変状の発生範囲の規模		0.2～0.3mm		変状の発生範囲の規模		0.2～0.3mm					
前回点検時の状態		幅0.2～0.4mmの複数のひび割れ		前回点検時の状態		幅0.2～0.3mmの複数のひび割れ		前回点検時の状態		幅0.2～0.3mmの複数のひび割れ					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		変状区分は外力よりも材質劣化の可能性が考えられる						メモ		変状区分は外力よりも材質劣化の可能性が考えられる					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

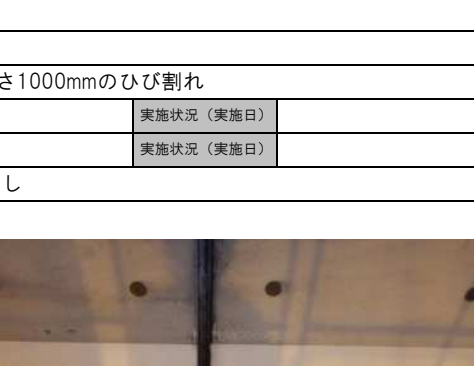
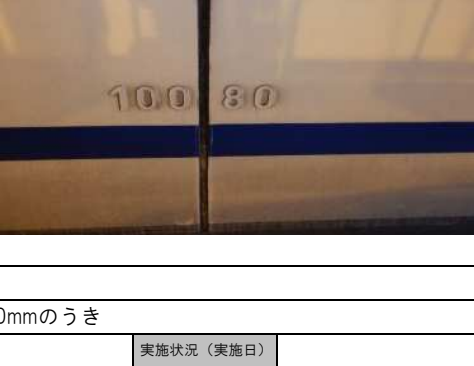
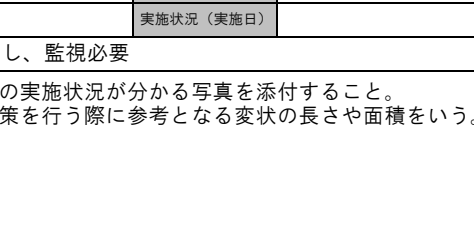
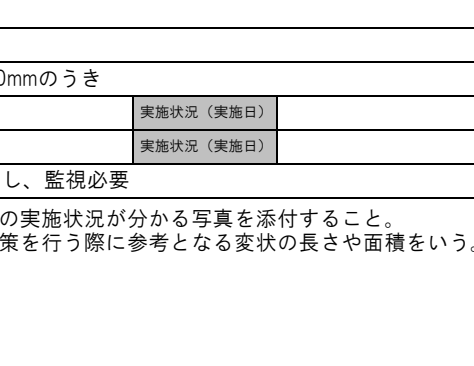
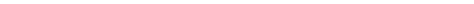
■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S001		写真 番号	覆工 スパン 番号	S001		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	5			変状 番号	6							
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	左アーチ							
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類					
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		0.2～0.3mm		変状の発生範囲の規模		0.2～0.4mm		変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		幅0.15～0.3mmの複数のひび割れ		前回点検時の状態		幅0.2～0.4mmの複数のひび割れ		前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		変状区分は外力よりも材質劣化の可能性が考えられる						メモ		変状区分は外力よりも材質劣化の可能性が考えられる			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号								
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ								メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類					ひび割れ
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅰ		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		0.1～0.3mm		変状の発生範囲の規模		0.15～0.2mm		変状の発生範囲の規模		0.15mm長さ1000mmのひび割れ			
前回点検時の状態		幅0.1～0.3mmの複数のひび割れ		前回点検時の状態		幅0.15mm長さ1000mmのひび割れ		前回点検時の状態		幅0.15mm長さ1000mmのひび割れ			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、監視必要		メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号	4			変状 番号				4
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右側壁			部位 区分				右側壁
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		ひび割れ		変状種類		うき		変状種類					うき
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		0.2～0.3mm		変状の発生範囲の規模		50×2600mm		変状の発生範囲の規模		50mm×2600mmのうき			
前回点検時の状態				前回点検時の状態		50mm×2600mmのうき		前回点検時の状態		50mm×2600mmのうき			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		新規損傷 複数のひび割れがあり監視必要		メモ		前回点検より進展なし、監視必要		メモ		前回点検より進展なし、監視必要			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	左アーチ			部位 区分				左アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		はく落		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I			
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×200×20mm		変状の発生範囲の規模		0.1～0.3mm		変状の発生範囲の規模		0.1～0.3mm			
前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし		メモ		新規損傷		メモ		新規損傷			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa			
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		60×330×10mm		変状の発生範囲の規模		50×1000×5mm							
前回点検時の状態		330m×60mのはく落		前回点検時の状態		L=1.0mのはく落							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右側壁			部位 区分				部位 区分				
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分					
変状種類		ひび割れ		変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		0.4×8000mm		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		幅0.4mm長さ6000mmのひび割れ		前回点検時の状態									
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展あり、監視必要		メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

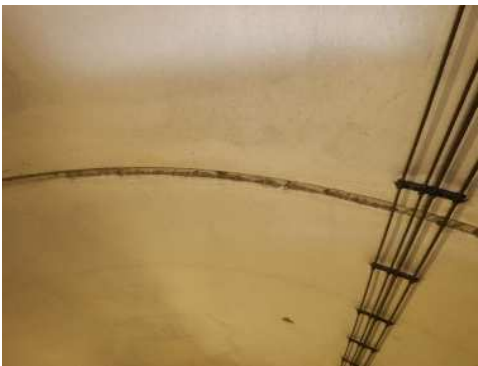
■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S005		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分			
	部位 区分	天端			部位 区分				変状 種類			
変状区分		材質劣化		変状区分				変状種類				
変状種類		はく落		変状種類				健全性		点検・調査後		
健全性		点検・調査後	Ⅱa		健全性		点検・調査後	措置後				
措置後				変状の発生範囲の規模		50×200×10mm		変状の発生範囲の規模				
変状の発生範囲の規模		50×200×10mm		変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態		L=0.2mのはく落		
前回点検時の状態		L=0.2mのはく落		前回点検時の状態				調査（方針）				実施状況（実施日）
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ				メモ				
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分			
	部位 区分				部位 区分				変状 種類			
変状区分				変状区分				変状種類				
変状種類				変状種類				健全性		点検・調査後		
健全性		点検・調査後			健全性		点検・調査後	措置後				
措置後				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態				
前回点検時の状態				前回点検時の状態				調査（方針）				実施状況（実施日）
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）
メモ				メモ				メモ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

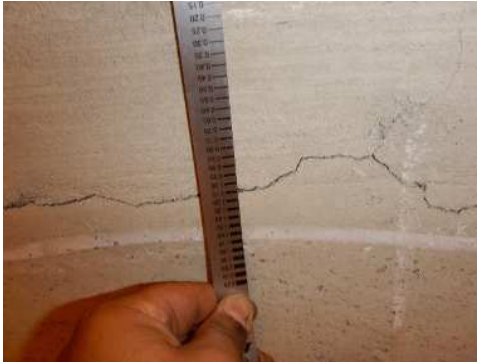
■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S006		写真 番号	覆工 スパン 番号	S006		変状 部位	対象 箇所	覆工			
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			材質劣化				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II a							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×300×10mm		変状の発生範囲の規模		50×2200×5mm							
前回点検時の状態		0.3m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		L=0.8mのはく落							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		前回より進展なし		メモ		打音検査では異常はなし 前回点検より進展あり、計画的な対策が必要							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S006		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分					
	部位 区分	右アーチ			部位 区分								
変状区分		材質劣化		変状区分				変状種類					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×200×30mm		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		ハンマー打撃でははく落しない。補修対象にはせず要監視対象とする。		前回点検時の状態									
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回より進展なし		メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S007		写真 番号	覆工 スパン 番号	S007		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	天端			部位 区分				天端
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類					
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		1.1×8000mm		変状の発生範囲の規模		1.1×8000mm		変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		幅1.1mm長さ6.5mのひび割れ		前回点検時の状態		幅1.1mm長さ6.5mのひび割れ		前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展あり、監視必要		メモ		7-1 近景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S008		写真 番号	覆工 スパン 番号	S008		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	左アーチ			部位 区分				左アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		うき		変状種類					うき
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		150×80×5mm		変状の発生範囲の規模		150×50mm		変状の発生範囲の規模		150×50mm			
前回点検時の状態		0.15m×0.08mのはく落						前回点検時の状態		0.05m×0.15mのうき			
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）	
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）	
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要						メモ		周囲に新規はく落（150×50×5mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態								前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）	
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）	
メモ								メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S009		写真 番号	覆工 スパン 番号	S009		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	天端			部位 区分				天端
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類					ひび割れ
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		0.9×10500mm		変状の発生範囲の規模		0.9×10500mm		変状の発生範囲の規模		0.9×10500mm			
前回点検時の状態		幅0.9mm長さ10.5mのひび割れ		前回点検時の状態		幅0.9mm長さ10.5mのひび割れ		前回点検時の状態		幅0.9mm長さ10.5mのひび割れ			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回より進展なし		メモ		9-1 近景		メモ		9-1 近景			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S009		写真 番号	覆工 スパン 番号	S009		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号	4			変状 番号				4
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類					はく落
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×200×20mm		変状の発生範囲の規模		-		変状の発生範囲の規模		-			
前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.4m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.4m×0.05mのはく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回より進展なし		メモ		補修済み		メモ		補修済み			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28						
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S009		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号	5			変状 番号				部位 区分				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	部位 区分			変状 部位	部位 区分				
	部位 区分	天端			部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類		うき		変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		8200×1500mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		8.2m×1.5mの三日月状のひび割れ		前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			
メモ		前回点検より進展なし、監視必要		メモ				メモ				メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	部位 区分			変状 部位	部位 区分				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			
メモ				メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S010		写真 番号	覆工 スパン 番号	S010		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2							
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	天端							
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類					
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		0.9×10000mm		変状の発生範囲の規模		0.9×10000mm		変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		幅0.9mm長さ10.6mのひび割れ		前回点検時の状態		幅0.9mm長さ10.6mのひび割れ		前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、監視必要		メモ		10-1 近景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号								
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S011		写真 番号	覆工 スパン 番号	S011		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	部位 区分	材質劣化		
	部位 区分	天端			部位 区分	はく落			変状 種類	材質劣化		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落		
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		変状の発生範囲の規模	50×400×20mm			
	措置後				措置後				前回点検時の状態	対策済み		
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			実施状況（実施日）		
メモ		異常なし						メモ		はく落同じサイズが2か所 進展なし		
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分			
	部位 区分				部位 区分				変状 種類			
健全性		点検・調査後		健全性		点検・調査後		変状の発生範囲の規模				
措置後				措置後				前回点検時の状態				
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			実施状況（実施日）		
メモ								メモ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S012		写真 番号	覆工 スパン 番号	S012		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×100×20mm		変状の発生範囲の規模		50×100×50mm		変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		0.05m×0.1mのはく落		前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落		前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S013		写真 番号	覆工 スパン 番号	S013		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分						
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分							
変状種類		はく落		変状種類		うき		変状種類							
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模		50×50×10mm		変状の発生範囲の規模		100×50mm		変状の発生範囲の規模		100×50mm					
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		0.1m×0.05mのうき		前回点検時の状態		0.1m×0.05mのうき					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし						メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S014		写真 番号	覆工 スパン 番号	S014		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	天端			部位 区分				天端
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類					はく落
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×100×10mm		変状の発生範囲の規模		50×200×10mm		変状の発生範囲の規模		50×200×10mm			
前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.14m×0.015mのはく落		前回点検時の状態		0.14m×0.015mのはく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展あり、計画的な対策が必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S016				写真 番号	覆工 スパン 番号								
	変状 番号	1					変状 番号								
変状 部位	対象 箇所	覆工				変状 部位	対象 箇所								
	部位 区分	天端					部位 区分								
変状区分		材質劣化				変状区分									
変状種類		はく落				変状種類									
健全性	点検・調査後	I				健全性	点検・調査後								
	措置後						措置後								
変状の発生範囲の規模		-				変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		0.5m×0.06mのはく落				前回点検時の状態									
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）							
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）							
メモ		補修跡あり 異常なし		メモ											
写真 番号	覆工 スパン 番号					写真 番号	覆工 スパン 番号								
	変状 番号						変状 番号								
変状 部位	対象 箇所					変状 部位	対象 箇所								
	部位 区分						部位 区分								
変状区分						変状区分									
変状種類						変状種類									
健全性	点検・調査後					健全性	点検・調査後								
	措置後						措置後								
変状の発生範囲の規模						変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態						前回点検時の状態									
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）							
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）							
メモ				メモ											

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S017		写真 番号	覆工 スパン 番号	S017		写真 番号	覆工 スパン 番号			
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分			
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分				
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類				
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅰ		健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		100×100×30mm		変状の発生範囲の規模		60×900mm		変状の発生範囲の規模		60×900mm		
前回点検時の状態		0.05m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.9m×0.06m、0.05m×0.05mの複数のはく落		前回点検時の状態		0.9m×0.06m、0.05m×0.05mの複数のはく落		
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展あり、監視必要		メモ		進展なし		メモ		進展なし		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S017		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			
	変状 番号	3			変状 番号				変状 番号			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分				部位 区分			
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分				
変状種類		はく落		変状種類				変状種類				
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		100×150×20mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				
前回点検時の状態		0.15m×0.1mのはく落		前回点検時の状態				前回点検時の状態				
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）			実施状況（実施日）		
メモ		周囲に新規はく落（50×100×20mm、50×50×10mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ				メモ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S018		写真 番号	覆工 スパン 番号	S018		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		うき		変状種類		うき		変状種類					うき
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×2500mm		変状の発生範囲の規模		1000×10000mm		変状の発生範囲の規模		1000×10000mm			
前回点検時の状態		L=2.5mのはく落		前回点検時の状態		10.0m×1.0mの三日月状のひび割れ		前回点検時の状態		10.0m×1.0mの三日月状のひび割れ			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		はく落→うき 前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし、監視必要		メモ		前回点検より進展なし、監視必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S018		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分				部位 区分				
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分					
変状種類		はく落		変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×50×15mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		周囲に新規はく落（50×50×15mm、50×50×10mm）あり、前回点検より進展あり、監視必要		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S019		写真 番号	覆工 スパン 番号	S019		変状 部位	対象 箇所	覆工			
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	左アーチ			材質劣化				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅰ							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×300×10mm		変状の発生範囲の規模		50×100×10mm							
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		周囲に新規はく落あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要						メモ		前回点検より進展なし			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S019		写真 番号	覆工 スパン 番号	S019		変状 部位	対象 箇所	覆工			
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	天端			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	天端			部位 区分	天端			材質劣化				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		うき			
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱb							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		20×90mm		変状の発生範囲の規模		50×2800mm							
前回点検時の状態		0.02m×0.09mのうき		前回点検時の状態		2.8m×0.05mのはく落							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、監視必要						メモ		浮き→豆板			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S020		写真 番号	覆工 スパン 番号	S020		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ	
変状 区分		材質劣化		変状 区分		材質劣化		変状 種類		はく落		変状 種類		はく落	
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I									
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模		50×300×5mm		変状の発生範囲の規模		50×200×20mm									
前回点検時の状態		L=0.02mのはく落		前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落									
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）							
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）							
メモ		前回点検より進展あり		メモ		前回点検より進展なし									
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				部位 区分		
変状 区分				変状 区分				変状 種類				変状 種類			
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後										
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模											
前回点検時の状態				前回点検時の状態											
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）							
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）							
メモ				メモ											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S021		写真 番号	覆工 スパン 番号	S021		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ			部位 区分	左アーチ	
変状 区分		材質劣化		変状 区分		材質劣化		変状 種類		はく落		変状 種類		はく落	
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅰ									
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模		50×300×20mm		変状の発生範囲の規模		50×100×20mm									
前回点検時の状態		0.3m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落									
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）							
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				実施状況（実施日）							
メ モ		周囲に新規はく落（50×150×10mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メ モ		前回点検より進展なし									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S021		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分				部位 区分		
変状 区分		材質劣化		変状 区分				変状 種類				変状 種類			
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後										
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模		50×700×30mm		変状の発生範囲の規模											
前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落		前回点検時の状態											
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）							
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）							
メ モ		周囲に新規はく落（50×100×50mm、50×200×30mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メ モ											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S022		写真 番号	覆工 スパン 番号	S022		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	部位 区分	左アーチ		
	部位 区分	天端			部位 区分	左アーチ			変状 種類	材質劣化		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落		
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅰ		変状の発生範囲の規模		50×300×20mm		
	措置後				措置後			変状の発生範囲の規模		50×300×20mm		
変状の発生範囲の規模		150×50mm		変状の発生範囲の規模		50×300×20mm		前回点検時の状態		うきは確認されない		
前回点検時の状態		うきは確認されない		前回点検時の状態		複数のはく落		調査（方針）		実施状況（実施日）		
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）		
メモ		うきが確認されたため計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし						
写真 番号	覆工 スパン 番号	S022		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分				変状 種類			
変状区分		材質劣化		変状区分				変状種類				
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後			変状の発生範囲の規模				
	措置後				措置後			変状の発生範囲の規模		0.2m×0.05mのはく落		
変状の発生範囲の規模		50×500×20mm		変状の発生範囲の規模				調査（方針）		実施状況（実施日）		
前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落		前回点検時の状態				措置（方針）		実施状況（実施日）		
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）		
メモ		周囲に新規はく落（50×200×20mm）あり、前回点検より進展あり、監視必要		メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S023		写真 番号	覆工 スパン 番号	S023		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	部位 区分	左アーチ		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	左アーチ			変状 種類	材質劣化		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落		
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	Ⅱa		変状の発生範囲の規模		50×200mm		
	措置後				措置後			変状の発生範囲の規模	50×150×20mm			
変状の発生範囲の規模		50×200mm		変状の発生範囲の規模		50×150×20mm		前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落		
前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.15m×0.05mのはく落		調査（方針）		実施状況（実施日）		
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）		はく落対策工		
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし		メモ		周囲に新規のはく落（100×200×30mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要						
写真 番号	覆工 スパン 番号	S023		写真 番号	覆工 スパン 番号	S023		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	左アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	部位 区分	材質劣化		
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	左アーチ			変状 種類	うき		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		うき		
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱa		変状の発生範囲の規模		50×1000×30mm		
	措置後				措置後			変状の発生範囲の規模	50×100mm			
変状の発生範囲の規模		50×1000×30mm		変状の発生範囲の規模		50×100mm		前回点検時の状態		0.3m×0.05mのはく落		
前回点検時の状態		0.3m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.1m×0.05mのうき		調査（方針）		実施状況（実施日）		
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）		はく落対策工		
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				
メモ		2箇所のはく落が結合、前回点検より進展あり、監視必要		メモ		周辺状況から、計画的な対策が必要						

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28					
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日						
写真 番号	覆工 スパン 番号	S023		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号	5			変状 番号				部位 区分				部位 区分			
変状 区分		材質劣化		変状 区分				変状 種類				変状 種類				
健全性		点検・調査後	Ⅱa	健全性		点検・調査後			措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		50×100mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				
前回点検時の状態		0.05m×0.1mのうき		前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）				
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ				メモ				メモ				
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				部位 区分			
変状 区分				変状 区分				変状 種類				変状 種類				
健全性		点検・調査後		健全性		点検・調査後			措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）				
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				
メモ				メモ				メモ				メモ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S025		写真 番号	覆工 スパン 番号	S025		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ			材質劣化
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	左アーチ			材質劣化				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×100×20mm		変状の発生範囲の規模		50×400mm							
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		0.4m×0.05mのはく落							
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）					
メモ		前回点検より進展なし											
写真 番号	覆工 スパン 番号	S025		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分	右アーチ			材質劣化
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分				材質劣化				
変状区分		材質劣化		変状区分				変状種類					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×200×20mm		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落		前回点検時の状態									
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）					
メモ		前回点検より進展なし											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S026		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			健全性	点検・調査後	I	
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分	左アーチ			措置後		
変状 部位		対象 箇所		変状 部位		対象 箇所		変状 区分				変状 種類		はく落	
変状 区分		材質劣化		変状 区分				変状 種類				健全性		点検・調査後	
変状 種類		はく落		健全性		措置後		変状の発生範囲の規模		50×100×10mm		変状の発生範囲の規模		0.1m×0.05mのはく落	
変状の発生範囲の規模		50×100×10mm		変状の発生範囲の規模		0.1m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		調査（方針）		実施状況（実施日）			
前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落		調査（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）					
調査（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）							
措置（方針）				実施状況（実施日）				実施状況（実施日）							
メモ		前回点検より進展なし		メモ				実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
	変状 番号				変状 番号			実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
	部位 区分				部位 区分			実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
変状 区分				変状 区分				実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
変状 種類				変状 種類				実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
	措置後				措置後			実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
メモ				メモ				実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S028		写真 番号	覆工 スパン 番号	S028		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	天端			部位 区分				天端
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		ひび割れ		変状種類					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		-		変状の発生範囲の規模		0.5×10500mm		変状の発生範囲の規模		0.5×10500mm			
前回点検時の状態		L=0.3mのはく落		前回点検時の状態		幅0.5mm長さ10.5mのひび割れ		前回点検時の状態		幅0.5mm長さ10.5mのひび割れ			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		補修済み		メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S028		写真 番号	覆工 スパン 番号	S028		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号	4			変状 番号				4
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	天端			部位 区分				天端
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		うき		変状種類		うき		変状種類					
健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		30×50mm		変状の発生範囲の規模		70×190mm		変状の発生範囲の規模		70×190mm			
前回点検時の状態		0.03m×0.05mのうき		前回点検時の状態		0.07m×0.19mのうき		前回点検時の状態		0.07m×0.19mのうき			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S028		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			健全性	点検・調査後		
	変状 番号	5			変状 番号				部位 区分				措置後		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分			健全性	点検・調査後		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分				措置後						
変状区分		材質劣化		変状区分				変状種類				健全性			
変状種類		豆板		変状種類				健全性				措置後			
健全性		点検・調査後		II b				健全性				措置後			
変状の発生範囲の規模		1900×700mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				健全性			
前回点検時の状態		1.9m×0.7mの三日月状のひび割れ		前回点検時の状態				調査（方針）				実施状況（実施日）			
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ		ひび割れ→豆板		メモ				写真 番号		覆工 スパン 番号					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			健全性	点検・調査後		
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				措置後		
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分			健全性	点検・調査後		
	部位 区分				部位 区分				措置後						
変状区分				変状区分				変状種類				健全性			
変状種類				変状種類				健全性				措置後			
健全性		点検・調査後		II b				健全性				措置後			
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				健全性			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				調査（方針）				実施状況（実施日）			
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ				メモ				写真 番号		覆工 スパン 番号					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S029		写真 番号	覆工 スパン 番号	S029		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	妻壁			部位 区分				妻壁
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		うき		変状種類		うき		変状種類					
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		40×160mm		変状の発生範囲の規模		150×1400mm							
前回点検時の状態		0.04m×0.16mのうき		前回点検時の状態		L=1.2mのうき							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展あり、計画的な対策が必要							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S029		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分				部位 区分				
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分					
変状種類		はく落		変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×500×10mm		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		L=0.5mはく落		前回点検時の状態									
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし		メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S030		写真 番号	覆工 スパン 番号	S030		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		部位 区分	天端			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	天端						
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落		
変状種類		はく落		変状種類		はく落		健全性		点検・調査後	Ⅱb	
健全性		点検・調査後	I		健全性		点検・調査後	Ⅱb		措置後		
措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×300×30mm		変状の発生範囲の規模		50×1600×5mm		変状の発生範囲の規模		50×1600×5mm		
前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		はく落		
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）				
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				
メモ		前回点検より進展あり		メモ		前回点検より進展あり、監視必要		メモ		前回点検より進展あり、監視必要		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S030		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			部位 区分				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分							
変状区分		材質劣化		変状区分				変状種類				
変状種類		はく落		変状種類				健全性		点検・調査後		
健全性		点検・調査後	I		健全性		点検・調査後			措置後		
措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×1200×10mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				
前回点検時の状態		1.2m×0.05mのはく落		前回点検時の状態				前回点検時の状態				
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）				
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				
メモ		前回点検より進展なし		メモ				メモ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28						
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S031		写真 番号	覆工 スパン 番号	S031		写真 番号	覆工 スパン 番号	S031		写真 番号	覆工 スパン 番号	S031			
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号	2				変状 番号	2		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	左アーチ			部位 区分	左アーチ			部位 区分	左アーチ			
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I			
	措置後				措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×200×30mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		はく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			
メモ		サイズ追加		メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S031		写真 番号	覆工 スパン 番号	S031		写真 番号	覆工 スパン 番号	S031		写真 番号	覆工 スパン 番号	S031			
	変状 番号	3			変状 番号	4			変状 番号	4			変状 番号	4			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I			
	措置後				措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×2400×10mm		変状の発生範囲の規模		100×100×10mm		変状の発生範囲の規模		100×100×10mm		変状の発生範囲の規模		100×100×10mm			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			
メモ		前回点検より進展あり、監視必要		メモ		新規損傷		メモ		新規損傷		メモ		新規損傷			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S032		写真 番号	覆工 スパン 番号	S032		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			材質劣化			
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落		
健全性		点検・調査後	Ⅱb		健全性		点検・調査後	Ⅰ		措置後		
変状の発生範囲の規模		50×800×30mm		変状の発生範囲の規模		50×150×30mm						
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		0.15mm×0.05mのはく落						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		サイズ追加		メモ		前回点検より進展なし						
写真 番号	覆工 スパン 番号	S032		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分				
	部位 区分	右側壁			部位 区分							
変状区分		材質劣化		変状区分				変状種類				
健全性		点検・調査後	Ⅱb		健全性		点検・調査後			措置後		
変状の発生範囲の規模		1900×150mm		変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態		1.9m×0.15mのうき		前回点検時の状態								
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし、監視必要		メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S033		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分				部位 区分		
変状 区分		材質劣化		変状 区分				変状 種類				変状 種類			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
	措置後				措置後				前回点検時の状態		0.2m×0.1mのはく落		前回点検時の状態		
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ		前回点検より進展なし		メモ				メモ				メモ			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				部位 区分		
変状 区分				変状 区分				変状 種類				変状 種類			
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
	措置後				措置後				前回点検時の状態				前回点検時の状態		
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ				メモ				メモ				メモ			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S034		写真 番号	覆工 スパン 番号	S034		写真 番号	覆工 スパン 番号			
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分			
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分				
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類				
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		0.6×5500mm		変状の発生範囲の規模		0.6×5500mm		変状の発生範囲の規模		0.6mm×5500mm		
前回点検時の状態		0.6mm×5500mm		前回点検時の状態		0.6mm×5500mm		前回点検時の状態		0.6mm×5500mm		
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし		メモ		S034-1の近景		メモ		S034-1の近景		
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			
	変状 番号				変状 番号				変状 番号			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			
	部位 区分				部位 区分				部位 区分			
変状区分				変状区分				変状区分				
変状種類				変状種類				変状種類				
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S035		写真 番号	覆工 スパン 番号	S035		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	天端			部位 区分				天端
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類					はく落
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II b		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		200×100mm		変状の発生範囲の規模		50×450×5mm		変状の発生範囲の規模		50×450×5mm			
前回点検時の状態		0.2m×0.06mのはく落		前回点検時の状態		0.45m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.45m×0.05mのはく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展あり		メモ		前回点検より進展なし、監視必要		メモ		前回点検より進展なし、監視必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S035		写真 番号	覆工 スパン 番号	S035		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号	4			変状 番号				4
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類					はく落
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×100×30mm		変状の発生範囲の規模		50×500×30mm		変状の発生範囲の規模		50×500×30mm			
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		0.5m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.5m×0.05mのはく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		サイズ追加		メモ		周囲に新規はく落（100×100×5mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		周囲に新規はく落（100×100×5mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S036		写真 番号	覆工 スパン 番号	S036		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類					はく落
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II b		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×100×20mm		変状の発生範囲の規模		50×500×10mm		変状の発生範囲の規模		50×500×10mm			
前回点検時の状態		0.05m×0.5mのはく落		前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		はく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし		メモ		サイズ追加、監視必要		メモ		サイズ追加、監視必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S037		写真 番号	覆工 スパン 番号	S037		写真 番号	覆工 スパン 番号			
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分			
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分				
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類				
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		100×200×30mm		変状の発生範囲の規模		50×200×30mm		変状の発生範囲の規模		50×200×30mm		
前回点検時の状態		0.2m×0.1m、0.2m×0.1m、0.2m×0.1mの複数のはく落						前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落		
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）		実施状況（実施日）		
メ モ		周囲に新規はく落（50×100×20mm、50×100×10mm）あり、前回点検より進展あり、監視必要						メ モ		周囲に新規はく落（50×200×30mm、50×100×20mm）あり、前回点検より進展あり、監視必要		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S037		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			
	変状 番号	3			変状 番号				変状 番号			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分				部位 区分			
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分				
変状種類		はく落		変状種類				変状種類				
健全性	点検・調査後	Ⅰ		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		50×100×30mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				
前回点検時の状態		はく落						前回点検時の状態				
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）		実施状況（実施日）		
メ モ		サイズ追加						メ モ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S038		写真 番号	覆工 スパン 番号	S038		写真 番号	覆工 スパン 番号			
	変状 番号	1			変状 番号	2						
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			
	部位 区分	右側壁			部位 区分	右側壁						
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分				
変状種類		その他（塗膜剥離）		変状種類		その他（塗膜剥離）		変状種類				
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		2700×1100mm		変状の発生範囲の規模		2500×1500mm		変状の発生範囲の規模				
前回点検時の状態		2500mm×1100mm		前回点検時の状態		2300mm×1600mm		前回点検時の状態				
調査（方針）			実施状況（実施日）		調査（方針）			実施状況（実施日）				
措置（方針）			実施状況（実施日）		措置（方針）			実施状況（実施日）				
メモ		塗膜剥離						メモ		塗膜剥離		
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			
	変状 番号				変状 番号							
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			
	部位 区分				部位 区分							
変状区分				変状区分				変状区分				
変状種類				変状種類				変状種類				
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				
調査（方針）			実施状況（実施日）		調査（方針）			実施状況（実施日）				
措置（方針）			実施状況（実施日）		措置（方針）			実施状況（実施日）				
メモ								メモ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S039		写真 番号	覆工 スパン 番号	S039		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端			変状種類
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II b		変状の発生範囲の規模	150×50mm				
	措置後				措置後				前回点検時の状態	0.05m×0.15mのうき			
変状の発生範囲の規模		50×100×10mm		変状の発生範囲の規模		150×50mm							
前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.05m×0.15mのうき							
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）					
メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし、監視必要							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S039		写真 番号	覆工 スパン 番号	S039		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	天端			変状種類
健全性	点検・調査後	II b		健全性	点検・調査後	I		変状の発生範囲の規模	50×100×5mm				
	措置後				措置後				前回点検時の状態	はく落			
変状の発生範囲の規模		100×100×10mm		変状の発生範囲の規模		50×100×5mm							
前回点検時の状態				前回点検時の状態		はく落							
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）					
メモ		周囲に新規はく落（100×100×5mm）あり、前回点検より進展あり、監視必要		メモ		サイズ追加							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S039		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号	5			変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			部位 区分					
	部位 区分	右アーチ			部位 区分								
変状区分		材質劣化		変状区分									
変状種類		はく落		変状種類									
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×100×20mm		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落		前回点検時の状態									
調査（方針）			実施状況（実施日）		調査（方針）		実施状況（実施日）						
措置（方針）			実施状況（実施日）		措置（方針）		実施状況（実施日）						
メモ		前回点検より進展なし		メモ									
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			部位 区分					
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分									
変状種類				変状種類									
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態				前回点検時の状態									
調査（方針）			実施状況（実施日）		調査（方針）		実施状況（実施日）						
措置（方針）			実施状況（実施日）		措置（方針）		実施状況（実施日）						
メモ				メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28			
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日				
写真 番号	覆工 スパン 番号	S040		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所					
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分					
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			部位 区分						
	部位 区分	右アーチ			部位 区分				部位 区分					
変状区分		材質劣化		変状区分										
変状種類		はく落		変状種類										
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			措置後						
	措置後				措置後				措置後					
変状の発生範囲の規模		50×600×10mm		変状の発生範囲の規模										
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態										
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ		サイズ追加		メモ										
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所					
	変状 番号				変状 番号				部位 区分					
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			部位 区分						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分					
変状区分				変状区分										
変状種類				変状種類										
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			措置後						
	措置後				措置後				措置後					
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模										
前回点検時の状態				前回点検時の状態										
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ				メモ										

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S041		写真 番号	覆工 スパン 番号	S041		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			変状種類	はく落		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化						
変状種類		はく落		変状種類		はく落						
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II b						
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		50×200×30mm		変状の発生範囲の規模		50×150×20mm						
前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.15m×0.05mのはく落						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		周囲に新規はく落（50×200×30mm）あり		メモ		周囲に新規はく落（50×150×10mm、50×150×20mm）あり、前回点検より進展あり、監視必要						
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化			
	部位 区分				部位 区分				変状種類			
変状区分				変状区分								
変状種類				変状種類								
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後							
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態				前回点検時の状態								
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ				メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28							
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日								
写真 番号	覆工 スパン 番号	S042			写真 番号	覆工 スパン 番号	S042			写真 番号	覆工 スパン 番号	S042						
	変状 番号	1				変状 番号	2				変状 番号	2						
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工				
	部位 区分	天端			部位 区分	天端			部位 区分	天端			部位 区分	天端				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化				
変状種類		豆板		変状種類		豆板		変状種類		豆板		変状種類		豆板				
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後	II a				
	措置後				措置後				措置後				措置後					
変状の発生範囲の規模		150×350mm		変状の発生範囲の規模		60×1000mm		変状の発生範囲の規模		60×1000mm		変状の発生範囲の規模		60×1000mm				
前回点検時の状態		0.35m×0.15mのはく落		前回点検時の状態		1.0m×0.06mのはく落		前回点検時の状態		1.0m×0.06mのはく落		前回点検時の状態		1.0m×0.06mのはく落				
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		
メモ		はく落→豆板 前回点検より進展なし、異音なし、監視対象外		メモ		はく落→豆板 前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		はく落→豆板 前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		はく落→豆板 前回点検より進展あり、計画的な対策が必要				
写真 番号	覆工 スパン 番号	S042			写真 番号	覆工 スパン 番号	S042			写真 番号	覆工 スパン 番号	S042			写真 番号	覆工 スパン 番号	S042	
	変状 番号	3				変状 番号	4				変状 番号	4						
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化				
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類		はく落				
健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後	II a				
	措置後				措置後				措置後				措置後					
変状の発生範囲の規模		60×1260×10mm		変状の発生範囲の規模		100×200×30mm		変状の発生範囲の規模		100×200×30mm		変状の発生範囲の規模		100×200×30mm				
前回点検時の状態		L=1.26mのはく落		前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態						
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		周囲に新規はく落（100×100×20mm、100×100×10mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		周囲に新規はく落（100×100×20mm、100×100×10mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		周囲に新規はく落（100×100×20mm、100×100×10mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S043		写真 番号	覆工 スパン 番号	S043		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	変状 種類	材質劣化		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	天端			変状 種類	はく落		
健全性		点検・調査後	I	健全性		点検・調査後	II a					
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×150×10mm		変状の発生範囲の規模		50×560×10mm						
前回点検時の状態		0.15m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		L=0.56mmのはく落						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要						
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	変状 種類			
	部位 区分				部位 区分				変状 種類			
健全性		点検・調査後		健全性		点検・調査後						
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態				前回点検時の状態								
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ				メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S044		写真 番号	覆工 スパン 番号	S044		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	天端			変状 種類	はく落		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化						
変状種類		はく落		変状種類		はく落						
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa						
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		50×1600×30mm		変状の発生範囲の規模		50×130×20mm						
前回点検時の状態		1.6m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.13m×0.05mのはく落						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				
メモ		周辺に新規損傷が見られ落下につながる恐れあり、計画的な対策が必要										
写真 番号	覆工 スパン 番号	S044		写真 番号	覆工 スパン 番号	S044		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	右アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			変状 種類	はく落		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化						
変状種類		はく落		変状種類		はく落						
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa						
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		50×2000×10mm		変状の発生範囲の規模		50×800×20mm						
前回点検時の状態		L=2.0mのはく落		前回点検時の状態		0.8m×0.05mのはく落						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				
メモ		周辺に新規損傷が見られ落下につながる恐れあり、計画的な対策が必要										

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S044		写真 番号	覆工 スパン 番号	S044		変状 部位	対象 箇所	覆工			
	変状 番号	5			変状 番号	6			部位 区分	左アーチ			
変状 部位		対象 箇所		覆工		変状 部位		対象 箇所		左アーチ			
変状 区分		材質劣化		変状 区分		材質劣化		変状 種類		はく落			
健全性		点検・調査後	Ⅱa		健全性		点検・調査後	Ⅰ					
措置後				措置後									
変状の発生範囲の規模		50×300×30mm		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態				前回点検時の状態		はく落							
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）	
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）	
メモ		周囲に新規はく落（50×100×20mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要						メモ		前回点検より進展なし			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				
変状 部位		対象 箇所				変状 部位		対象 箇所					
変状 区分				変状 区分				変状 種類					
健全性		点検・調査後			健全性		点検・調査後						
措置後				措置後									
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態				前回点検時の状態									
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）	
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）	
メモ								メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S045		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			部位 区分					
	部位 区分	右アーチ			部位 区分								
変状区分		材質劣化		変状区分									
変状種類		はく落		変状種類									
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×400×5mm		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		0.4m×0.05mのはく落		前回点検時の状態									
調査（方針）			実施状況（実施日）		調査（方針）		実施状況（実施日）						
措置（方針）		はく落対策工	実施状況（実施日）		措置（方針）		実施状況（実施日）						
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ									
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			部位 区分					
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分									
変状種類				変状種類									
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態				前回点検時の状態									
調査（方針）			実施状況（実施日）		調査（方針）		実施状況（実施日）						
措置（方針）			実施状況（実施日）		措置（方針）		実施状況（実施日）						
メモ				メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28								
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S046		写真 番号	覆工 スパン 番号	S046		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工					
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ					
変状区分				材質劣化				変状区分				材質劣化							
変状種類				はく落				変状種類				はく落							
健全性	点検・調査後		I		健全性	点検・調査後		II a		健全性	点検・調査後		II a						
	措置後					措置後					措置後								
変状の発生範囲の規模				50×600×5mm				変状の発生範囲の規模				50×1500×5mm							
前回点検時の状態				0.6m×0.05mのはく落				前回点検時の状態				L=1.5mのはく落							
調査（方針）						実施状況（実施日）				調査（方針）						実施状況（実施日）			
措置（方針）						実施状況（実施日）				措置（方針）				はく落対策工		実施状況（実施日）			
メモ		前回点検より進展なし						メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要									
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				部位 区分						
変状区分								変状区分											
変状種類								変状種類											
健全性	点検・調査後				健全性	点検・調査後				健全性	点検・調査後								
	措置後					措置後					措置後								
変状の発生範囲の規模								変状の発生範囲の規模											
前回点検時の状態								前回点検時の状態											
調査（方針）						実施状況（実施日）				調査（方針）						実施状況（実施日）			
措置（方針）						実施状況（実施日）				措置（方針）						実施状況（実施日）			
メモ								メモ											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S047		写真 番号	覆工 スパン 番号	S047		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ	
変状 区分		材質劣化		変状 区分		材質劣化		変状 種類		はく落		変状 種類		はく落	
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱb		措置後				措置後			
	措置後				措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模		60×150×5mm		変状の発生範囲の規模		50×250×10mm		前回点検時の状態		0.15mm×0.06mのはく落		前回点検時の状態		0.2m×0.05mの複数のはく落	
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）			
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				措置（方針）		はく落対策工	
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		周囲に新規はく落（50×200×20mm）あり、前回点検より進展あり、監視必要									
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				部位 区分		
変状 区分				変状 区分				変状 種類				変状 種類			
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			措置後				措置後			
	措置後				措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態				前回点検時の状態			
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）			
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）			
メモ				メモ											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S048		写真 番号	覆工 スパン 番号	S048		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	変状 区分	材質劣化		
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			変状 種類	はく落		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		健全性		点検・調査後	Ⅱb	
変状種類		はく落		変状種類		はく落		健全性		措置後		
健全性		点検・調査後	Ⅱb		健全性		点検・調査後	Ⅰ				
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×200×30mm		変状の発生範囲の規模		50×150×20mm						
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		はく落						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		複数の新規はく離箇所があり監視対象とする		メモ		サイズ追加、豆板700mm×700mm追加						
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	変状 区分			
	部位 区分				部位 区分				変状 種類			
健全性		点検・調査後			健全性		点検・調査後					
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態				前回点検時の状態								
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ				メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S049		写真 番号	覆工 スパン 番号	S049		変状 部位	対象 箇所	覆工			
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ			
変状 部位		対象 箇所		覆工		部位 区分		左アーチ					
変状区分		材質劣化		材質劣化		変状区分		材質劣化					
変状種類		はく落		はく落		変状種類		はく落					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×100×30mm		変状の発生範囲の規模		50×600×10mm							
前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.6m×0.05mのはく落							
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）		実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）		実施状況（実施日）			
メモ		前回点検より進展はなし		メモ		前回点検より進展はなし							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S049		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分				
変状 部位		対象 箇所		覆工		部位 区分		天端					
変状区分		材質劣化		材質劣化		変状区分							
変状種類		はく落		はく落		変状種類							
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×50×10mm		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落		前回点検時の状態									
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）		実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）		実施状況（実施日）			
メモ		周囲に同じサイズの新規はく落が多数あり、前回点検より進展あり		メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S050		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分				部位 区分		
変状 区分		材質劣化		変状 区分				変状 種類				変状 種類			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
	措置後				措置後				前回点検時の状態				前回点検時の状態		
変状の発生範囲の規模		50×200×10mm		変状の発生範囲の規模				調査（方針）				実施状況（実施日）			
前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落		前回点検時の状態				措置（方針）				実施状況（実施日）			
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
メモ		前回点検より進展はなし		メモ				メモ				メモ			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				部位 区分		
変状 区分				変状 区分				変状 種類				変状 種類			
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
	措置後				措置後				前回点検時の状態				前回点検時の状態		
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				調査（方針）				実施状況（実施日）			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				措置（方針）				実施状況（実施日）			
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				実施状況（実施日）			
メモ				メモ				メモ				メモ			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S051		写真 番号	覆工 スパン 番号	S051		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ	
変状 区分		材質劣化		変状 区分		材質劣化		変状 種類		はく落		変状 種類		はく落	
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II b		措置後				措置後			
	措置後				措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模		400×200×10mm		変状の発生範囲の規模		300×400×20mm		前回点検時の状態		0.2m×0.4mのはく落		前回点検時の状態		0.6m×0.3mのはく落	
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）			
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）			
メモ		前回点検より進展はなし はく落の恐れなく II b→ I		メモ		前回点検より進展なし、監視必要									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S051		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分	右アーチ			部位 区分		
変状 区分		材質劣化		変状 区分				変状 種類		はく落		変状 種類			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			措置後				措置後			
	措置後				措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模		50×300×20mm		変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態		0.3m×0.05mの叩き落し		前回点検時の状態			
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）			
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）			
メモ		うき→はく落		メモ											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S052		写真 番号	覆工 スパン 番号	S052		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ			材質劣化
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			材質劣化				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落			
健全性		点検・調査後	Ⅱb	健全性		点検・調査後	Ⅱa	変状の発生範囲の規模		100×200×20mm			
措置後				措置後				変状の発生範囲の規模		50×700×30mm			
変状の発生範囲の規模		100×200×20mm		変状の発生範囲の規模		50×700×30mm		前回点検時の状態		0.2m×0.1mのはく落			
前回点検時の状態		0.2m×0.1mのはく落		前回点検時の状態		L=0.7mのはく落		調査（方針）		実施状況（実施日）			
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）		はく落対策工			
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		実施状況（実施日）			
メモ		前回点検より進展なし、監視必要		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S052		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分	右アーチ			材質劣化
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分				材質劣化				
健全性		点検・調査後	Ⅱb	健全性		点検・調査後		変状の発生範囲の規模		50×300×20mm			
措置後				措置後				変状の発生範囲の規模					
変状の発生範囲の規模		50×300×20mm		変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				調査（方針）		実施状況（実施日）			
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）			
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）		実施状況（実施日）			
メモ		新規損傷 はく落2か所		メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S053		写真 番号	覆工 スパン 番号	S053		写真 番号	覆工 スパン 番号	S053			
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号	2			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	左側壁			部位 区分	左側壁			
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa			
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		100×700×30mm		変状の発生範囲の規模		400×700×10mm		変状の発生範囲の規模		400×700×10mm			
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		0.7m×0.4mのはく落		前回点検時の状態		0.7m×0.4mのはく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S053		写真 番号	覆工 スパン 番号	S053		写真 番号	覆工 スパン 番号	S053			
	変状 番号	3			変状 番号	4			変状 番号	4			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工			
	部位 区分	天端			部位 区分	左アーチ			部位 区分	左アーチ			
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		うき		変状種類		はく落		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa			
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		600×700mm		変状の発生範囲の規模		50×500×50mm		変状の発生範囲の規模		50×500×50mm			
前回点検時の状態		0.4m×0.7mのうき		前回点検時の状態		0.5m×0.05m、0.2m×0.05mの複数のはく落		前回点検時の状態		0.5m×0.05m、0.2m×0.05mの複数のはく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		周囲に新規はく落（50×200×50mm、50×200×30mm）あり、計画的な対策が必要		メモ		周囲に新規はく落（50×200×50mm、50×200×30mm）あり、計画的な対策が必要			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S053			写真 番号	覆工 スパン 番号	S053			変状 番号	6		
	変状 番号	5				変状 番号							
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	右アーチ			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分								
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		うき		変状種類					
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa			
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		はく落		変状の発生範囲の規模		50×100mm		変状の発生範囲の規模		50×100mm			
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		うき100mm×50mm		前回点検時の状態		うき100mm×50mm			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		引き続き監視必要周囲に新規はく落（50×100×20mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S053			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号	7				変状 番号							
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	左側壁			部位 区分								
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分					
変状種類		はく落		変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後	Ⅰ		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		80×150×20mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		0.1m×0.1mのうき		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		うき→はく落		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S054		写真 番号	覆工 スパン 番号	S054		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ		
変状 部位		対象 箇所		覆工		部位 区分		左アーチ				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落		
健全性		点検・調査後	Ⅱa		健全性		点検・調査後	Ⅱa				
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		L=1900mm		変状の発生範囲の規模		50×800×100mm						
前回点検時の状態		L=1.9mのはく落		前回点検時の状態		0.01m×0.05mのはく落						
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）
メ モ		1900mmの角落ち、ブロック閉合が見られる 前回点検より進展なし、計画的な対策が必要						メ モ		周囲に新規はく落が複数あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位		対象 箇所				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状種類				
健全性		点検・調査後			健全性		点検・調査後					
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態				前回点検時の状態								
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）		実施状況（実施日）		
メ モ								メ モ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S055		写真 番号	覆工 スパン 番号	S055		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端			変状種類
健全性		点検・調査後	I		健全性		点検・調査後	II a		変状の発生範囲の規模			0.8×7000mm
措置後				措置後						変状の発生範囲の規模			130×40mm
前回点検時の状態		幅0.8mm長さ6.7mのひび割れ		前回点検時の状態		0.04m×0.13mのうき		調査（方針）		実施状況（実施日）			
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		実施状況（実施日）			
メモ		前回点検より進展あり		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S055		写真 番号	覆工 スパン 番号	S055		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	左アーチ			変状種類
健全性		点検・調査後	II a		健全性		点検・調査後	I		変状の発生範囲の規模			50×900×150mm
措置後				措置後						変状の発生範囲の規模			50×500×50mm
前回点検時の状態		0.5m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.5m×0.05mのはく落		調査（方針）		実施状況（実施日）			
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				実施状況（実施日）		実施状況（実施日）			
メモ		周囲に新規はく落（100×100×20mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S055		写真 番号	覆工 スパン 番号	S055		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	5			変状 番号	6			変状 番号				6
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		うき		変状種類					うき
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×100×50mm		変状の発生範囲の規模		2200×100mm		変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		周囲に新規はく落（50×100×50mm）あり、前回点検より進展あり、監視必要						メモ		新規損傷			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ								メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S056		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			部位 区分					
	部位 区分	左アーチ			部位 区分								
変状区分		材質劣化		変状区分									
変状種類		はく落		変状種類									
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		100×400×30mm		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		0.4m×0.1mのうき		前回点検時の状態									
調査（方針）			実施状況（実施日）		調査（方針）		実施状況（実施日）						
措置（方針）			実施状況（実施日）		措置（方針）		実施状況（実施日）						
メモ		うき→はく落		メモ									
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			部位 区分					
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分									
変状種類				変状種類									
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態				前回点検時の状態									
調査（方針）			実施状況（実施日）		調査（方針）		実施状況（実施日）						
措置（方針）			実施状況（実施日）		措置（方針）		実施状況（実施日）						
メモ				メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S057		写真 番号	覆工 スパン 番号	S057		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類					ひび割れ
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		0.1mm～0.4mm		変状の発生範囲の規模		0.1mm～0.4mm		変状の発生範囲の規模		0.1mm～0.4mm			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		0.1mm～0.4mmの複数のひび割れ、新規損傷あり		メモ		0.1mm～0.4mmの複数のひび割れ、新規損傷あり		メモ		0.1mm～0.4mmの複数のひび割れ、新規損傷あり			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S058		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分			変状 種類	
	部位 区分	天端			部位 区分								
変状区分		材質劣化		変状区分				変状種類					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			変状の発生範囲の規模					
	措置後				措置後			前回点検時の状態					
変状の発生範囲の規模		-		変状の発生範囲の規模				調査（方針）				実施状況（実施日）	
前回点検時の状態		トウメッシュではなく落防止対策済み		前回点検時の状態				措置（方針）				実施状況（実施日）	
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）	
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）	
メモ		対策後異常なし		メモ				メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分			変状 種類	
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			変状の発生範囲の規模					
	措置後				措置後			前回点検時の状態					
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				調査（方針）				実施状況（実施日）	
前回点検時の状態				前回点検時の状態				措置（方針）				実施状況（実施日）	
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）	
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）	
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S059		写真 番号	覆工 スパン 番号	S059		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ			材質劣化
変状 種類		はく落		変状 種類		はく落		健全性		点検・調査後	Ⅱb		
健全性		措置後		健全性		措置後		変状の発生範囲の規模		50×150×20mm			
変状の発生範囲の規模		50×150×20mm		変状の発生範囲の規模		50×1200×20mm		前回点検時の状態		はく落			
前回点検時の状態		はく落		調査（方針）				実施状況（実施日）					
調査（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）				メモ		新規損傷		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				材質劣化
健全性		措置後		健全性		措置後		変状の発生範囲の規模					
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態		はく落			
前回点検時の状態		はく落		調査（方針）				実施状況（実施日）					
調査（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S060		写真 番号	覆工 スパン 番号	S060		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	天端			部位 区分				天端
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		はく落		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I			
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×150×30mm		変状の発生範囲の規模		0.3×7000mm		変状の発生範囲の規模		0.3×7000mm			
前回点検時の状態		0.15m×0.05mのはく落		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし		メモ		新規損傷		メモ		新規損傷			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S060		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分				部位 区分				
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分					
変状種類		はく落		変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後	II b		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×350×30mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		はく落200mm×50mm		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展あり、監視必要		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S061		写真 番号	覆工 スパン 番号	S061		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端			部位 区分	左アーチ	
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落		変状種類		はく落	
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II a		措置後				措置後			
	措置後				措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模		50×500×20mm		変状の発生範囲の規模		50×200×10mm		前回点検時の状態		0.5m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落	
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）			
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				措置（方針）		はく落対策工	
メモ		前回点検より進展なし		メモ		周囲に新規はく落が複数あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S061		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分	左アーチ			部位 区分		
変状区分		材質劣化		変状区分				変状種類		はく落		変状種類			
健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後			措置後				措置後			
	措置後				措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模		50×100×20mm		変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態				前回点検時の状態			
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）			
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）			
メモ		新規損傷 周囲に新規はく落（50×350×30mm）あり、計画的な対策が必要		メモ											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S062		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			部位 区分					
	部位 区分	天端			部位 区分								
変状区分		材質劣化		変状区分									
変状種類		-		変状種類									
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		-		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		トウメッシュではく落防止対策済み		前回点検時の状態									
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			実施状況（実施日）			
メモ		補修後特に異常なし		メモ									
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			部位 区分					
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分									
変状種類				変状種類									
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態				前回点検時の状態									
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			実施状況（実施日）			
メモ				メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S063		写真 番号	覆工 スパン 番号	S063		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			変状 種類	はく落		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		健全性		点検・調査後	Ⅱa	
変状種類		はく落		変状種類		はく落		健全性		措置後		
変状の発生範囲の規模		50×200×30mm		変状の発生範囲の規模		150×200×10mm		変状の発生範囲の規模		50×200×10mm		
前回点検時の状態		0.2m×0.05mのはく落		前回点検時の状態		はく落		調査（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし、監視必要		調査（方針）		実施状況（実施日）		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S063		写真 番号	覆工 スパン 番号	S063		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	右アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	天端			部位 区分	右アーチ			変状 種類	はく落		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		健全性		点検・調査後	Ⅱa	
変状種類		豆板		変状種類		はく落		健全性		措置後		
変状の発生範囲の規模		150mm×130mm		変状の発生範囲の規模		50×300×5mm		変状の発生範囲の規模		50×300×5mm		
前回点検時の状態		1.3m×0.15mの豆板		前回点検時の状態		L=0.2mのはく落		調査（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		調査（方針）		実施状況（実施日）		

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28			
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日				
写真 番号	覆工 スパン 番号	S064		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所					
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分					
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			部位 区分						
	部位 区分	右アーチ			部位 区分				部位 区分					
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分						
変状種類		はく落		変状種類				変状種類						
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後					
	措置後				措置後				措置後					
変状の発生範囲の規模		50×100×5mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模						
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態						
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ		新規損傷 周囲に新規はく落（50×50×5mm）あり		メモ				メモ						
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所					
	変状 番号				変状 番号				部位 区分					
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			部位 区分						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分					
変状区分				変状区分				変状区分						
変状種類				変状種類				変状種類						
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後					
	措置後				措置後				措置後					
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模						
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態						
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ				メモ				メモ						

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S066		写真 番号	覆工 スパン 番号	S066		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	左アーチ			部位 区分				左アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		はく落		変状種類		豆板		変状種類		豆板			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II b		健全性	点検・調査後	II b			
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×800×5mm		変状の発生範囲の規模		1600×500mm		変状の発生範囲の規模		1600×500mm			
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		豆板		前回点検時の状態		豆板			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より若干の進展あり						メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし、監視必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S066		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分				部位 区分				
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分					
変状種類		はく落		変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後	II b		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×200×50mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		0.1m×0.05mのうき		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		うき→はく落						メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28												
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日													
写真 番号	覆工 スパン 番号	S067		写真 番号	覆工 スパン 番号	S067		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工									
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ									
変状区分				材質劣化				変状区分				材質劣化											
変状種類				豆板				変状種類				はく落											
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I									
	措置後				措置後				措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				100×1400mm				変状の発生範囲の規模				50×400×5mm											
前回点検時の状態				はく落				前回点検時の状態				L=0.3mのはく落											
調査（方針）								調査（方針）															
措置（方針）								措置（方針）															
メモ		はく落→豆板 前回点検より進展あり										メモ		前回点検より進展あり									
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所										
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				部位 区分										
変状区分								変状区分															
変状種類								変状種類															
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後										
	措置後				措置後				措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模								変状の発生範囲の規模															
前回点検時の状態								前回点検時の状態															
調査（方針）								調査（方針）															
措置（方針）								措置（方針）															
メモ												メモ											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S068		写真 番号	覆工 スパン 番号	S068		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ			材質劣化
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化	ひび割れ			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			材質劣化				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		ひび割れ			
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅰ							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		700×650mm		変状の発生範囲の規模		-							
前回点検時の状態		0.7m×0.65mのうき		前回点検時の状態									
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				実施状況（実施日）					
メモ		ひび割れ補修されているが、濁音が聞こえる、計画的な対策が必要											
写真 番号	覆工 スパン 番号	S068		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分	天端			材質劣化
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化	うき			
	部位 区分	天端			部位 区分				材質劣化				
変状区分		材質劣化		変状区分				変状種類		うき			
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		8000×3500mm		変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態		8.0m×3.5mのうき		前回点検時の状態									
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				実施状況（実施日）					
メモ		ひび割れ補修されているが、広範囲で濁音が聞こえる、計画的な対策が必要											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

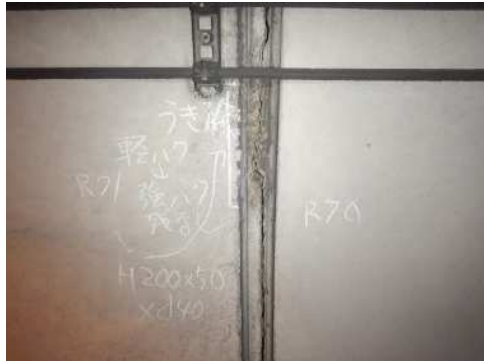
■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S069		写真 番号	覆工 スパン 番号	S069		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端			材質劣化
変状 種類		うき		変状 種類		豆板							
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅰ							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		170×100mm		変状の発生範囲の規模		60×900mm							
前回点検時の状態		0.1m×0.17mのうき		前回点検時の状態		0.9m×0.06mの豆板							
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				実施状況（実施日）					
メモ		周囲に新規うき（60×70mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし							
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化
	変状 番号				変状 番号				部位 区分	天端			材質劣化
変状 種類		うき		変状 種類		豆板							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態				前回点検時の状態									
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）					
メモ				メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S071		写真 番号	覆工 スパン 番号	S071		写真 番号	覆工 スパン 番号			
	変状 番号	1			変状 番号	2						
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	天端						
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分				
変状種類		はく落		変状種類		豆板		変状種類				
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		50×200×40mm		変状の発生範囲の規模		60×750mm		変状の発生範囲の規模		60×750mm		
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		0.75m×0.06mのはく落		前回点検時の状態		0.75m×0.06mのはく落		
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			実施状況（実施日）		
メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S071		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			
	変状 番号	3			変状 番号							
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分							
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分				
変状種類		はく落		変状種類				変状種類				
健全性	点検・調査後	II b		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		250×500×5mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）			実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			実施状況（実施日）		
メモ		周囲に新規はく落（50×150×20mm×2）あり、前回点検より進展あり、監視必要		メモ				メモ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S072		写真 番号	覆工 スパン 番号	S072		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	左アーチ			部位 区分				左アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		はく落		変状種類		豆板		変状種類		豆板			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I			
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×150×10mm		変状の発生範囲の規模		800×400mm		変状の発生範囲の規模		800×400mm			
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし		メモ		新規 打音検査問題なし 前回点検より進展あり		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S072		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分				部位 区分				
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分					
変状種類		はく落		変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×200×50mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S073		写真 番号	覆工 スパン 番号	S073		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			変状 種類	はく落		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化						
健全性		点検・調査後	Ⅱb	健全性		点検・調査後	I					
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				200×300×30mm				
前回点検時の状態				前回点検時の状態				0.3m×0.2mのはく落				
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし、監視必要						メモ		前回点検より進展なし		
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分				
	部位 区分				部位 区分				変状 種類			
健全性		点検・調査後		健全性		点検・調査後						
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態				前回点検時の状態								
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S074		写真 番号	覆工 スパン 番号	S074		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	天端			変状 種類	豆板		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化						
変状種類		はく落		変状種類		豆板						
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅰ						
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		150×300×5mm		変状の発生範囲の規模		300×1700mm						
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		1.7m×0.03mのはく落						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし、監視必要		メモ		はく落→豆板 前回点検より進展あり						
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分				
	部位 区分				部位 区分				変状 種類			
変状区分				変状区分								
変状種類				変状種類								
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後							
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態				前回点検時の状態								
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ				メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S075		写真 番号	覆工 スパン 番号	S075		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			変状 種類	はく落		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化						
変状種類		はく落		変状種類		はく落						
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I						
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		50×150×20mm		変状の発生範囲の規模		50×100×10mm						
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		はく落						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし		メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし						
写真 番号	覆工 スパン 番号	S075		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分				
	部位 区分	天端			部位 区分				変状 種類			
変状区分		材質劣化		変状区分								
変状種類		豆板		変状種類								
健全性	点検・調査後	II a		健全性	点検・調査後							
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		60×1200mm		変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態		1.2m×0.06mの豆板		前回点検時の状態								
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S076		写真 番号	覆工 スパン 番号	S076		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ			材質劣化
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			材質劣化				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II b							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×1000mm		変状の発生範囲の規模		50×400×10mm							
前回点検時の状態		豆板		前回点検時の状態		L=0.4mのはく落							
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）					
メモ		前回点検より進展なし 打音検査の結果異常なし II b→I						メモ		前回点検より進展なし、監視必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S076		写真 番号	覆工 スパン 番号	S076		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	天端			材質劣化
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	天端			部位 区分	天端			材質劣化				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	II b		健全性	点検・調査後	II a							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		60×1000mm		変状の発生範囲の規模		50×600×5mm							
前回点検時の状態		1.0m×0.06mのはく落		前回点検時の状態		L=0.6mのはく落							
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）					
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）					
メモ		前回点検より進展なし、監視必要						メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S076		写真 番号	覆工 スパン 番号	S076		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	5			変状 番号	6			変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			部位 区分				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		はく落		変状種類					
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×200×50mm		変状の発生範囲の規模		50×150×30mm		変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし、監視必要						メモ		周囲に新規はく落（50×100×50mm）あり、前回点検より進展あり、監視必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ								メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S077		写真 番号	覆工 スパン 番号	S077		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	天端			部位 区分				天端
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		うき		変状種類		ひび割れ		変状種類					ひび割れ
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅰ		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		200×100mm		変状の発生範囲の規模		0.5×11200mm		変状の発生範囲の規模		0.5×11200mm			
前回点検時の状態		0.05m×0.2mのはく落		前回点検時の状態		幅0.5mm長さ11.2mのひび割れ		前回点検時の状態		幅0.5mm長さ11.2mのひび割れ			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S077		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分				部位 区分				
変状区分		材質劣化		変状区分				変状区分					
変状種類		うき		変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		200×300mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		0.2m×0.3mのうき		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S078		写真 番号	覆工 スパン 番号	S078		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			変状 種類	はく落		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化						
変状種類		はく落		変状種類		はく落						
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱa						
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				50×900×10mm				
前回点検時の状態				前回点検時の状態				L=0.9mのはく落				
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし、監視必要						メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S078		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分				
	部位 区分	天端			部位 区分				変状 種類			
変状区分		材質劣化		変状区分								
変状種類		ひび割れ		変状種類								
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後							
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				0.3×10500mm				
前回点検時の状態				前回点検時の状態				幅0.3mm長さ10.5mのひび割れ				
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし						メモ				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28						
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S079		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分				部位 区分				
変状 区分		材質劣化		変状 区分				変状 種類				変状 種類					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
	措置後				措置後			前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）			メモ		はく落→豆板	
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				部位 区分				
変状 区分				変状 区分				変状 種類				変状 種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
	措置後				措置後			前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）			
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）			メモ			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S080		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分		
	変状 番号	1			変状 番号				部位 区分						
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分			変状 種類			
	部位 区分	天端			部位 区分										
変状区分		材質劣化		変状区分				変状種類							
健全性		点検・調査後	I	健全性		点検・調査後		変状の発生範囲の規模							
措置後				措置後				変状の発生範囲の規模							
変状の発生範囲の規模		100×50×5mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ		補修済み		メモ				メモ							
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分		
	変状 番号				変状 番号				部位 区分						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	部位 区分			変状 種類			
	部位 区分				部位 区分										
変状区分				変状区分				変状種類							
健全性		点検・調査後		健全性		点検・調査後		変状の発生範囲の規模							
措置後				措置後				変状の発生範囲の規模							
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ				メモ				メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28								
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S081		写真 番号	覆工 スパン 番号	S081		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工					
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ					
変状 区分		材質劣化		変状 区分		材質劣化		変状 種類		はく落		健全性		点検・調査後	Ⅱa				
変状 種類		豆板		健全性		措置後			変状の発生範囲の規模		200×500mm		変状の発生範囲の規模		50×100×5mm				
変状の発生範囲の規模		200×500mm		変状の発生範囲の規模		50×100×5mm		前回点検時の状態		豆板		前回点検時の状態		L=0.1mのはく落					
前回点検時の状態		豆板		調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			
メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要													
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				部位 区分						
変状 区分				変状 区分				変状 種類				健全性		点検・調査後					
変状 種類				健全性		措置後			変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態				調査（方針）				実施状況（実施日）			
前回点検時の状態				調査（方針）				措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ				メモ															

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S082		写真 番号	覆工 スパン 番号	S082		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端		
変状 部位		対象 箇所		覆工		部位 区分		天端				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		豆板		
健全性		点検・調査後	Ⅱa		健全性		点検・調査後	Ⅰ				
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		400×40mm		変状の発生範囲の規模		60×500mm						
前回点検時の状態		0.4m×0.04mのうき		前回点検時の状態		0.5m×0.06mの豆板						
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				措置（方針）		実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし						
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位		対象 箇所				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状種類				
健全性		点検・調査後			健全性		点検・調査後					
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態				前回点検時の状態								
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）		実施状況（実施日）		
メモ				メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S083		写真 番号	覆工 スパン 番号	S083		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	天端			変状 種類	うき		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化						
健全性		点検・調査後	I	健全性		点検・調査後	II a					
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				200×50mm				
前回点検時の状態				前回点検時の状態				0.05m×0.2mのうき				
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				はく落対策工				
措置（方針）				措置（方針）				はく落対策工				
メモ		前回点検より進展なし						メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S083		写真 番号	覆工 スパン 番号	S083		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	天端		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	天端			変状 種類	はく落		
健全性		点検・調査後	II b	健全性		点検・調査後	II a					
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				50×300×10mm				
前回点検時の状態				前回点検時の状態				はく落				
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				はく落対策工				
措置（方針）				措置（方針）				はく落対策工				
メモ		周囲に新規はく落（50×50×5mm）あり、前回点検より進展あり、監視必要						メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S083		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	変状 番号	5			変状 番号				部位 区分				部位 区分		
変状 区分		材質劣化		変状 区分				変状 種類				変状 種類			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
	措置後				措置後			前回点検時の状態				前回点検時の状態			
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ		新規損傷		メモ				メモ				メモ			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				部位 区分		
変状 区分				変状 区分				変状 種類				変状 種類			
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
	措置後				措置後			前回点検時の状態				前回点検時の状態			
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）			
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）			
メモ				メモ				メモ				メモ			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28			
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日				
写真 番号	覆工 スパン 番号	S084		写真 番号	覆工 スパン 番号	S084		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化	
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ			変状種類	はく落
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱb		変状の発生範囲の規模	50×600×20mm					
	措置後				措置後				前回点検時の状態	はく落				
変状の発生範囲の規模		100×150mm		調査（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工	
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				実施状況（実施日）			メモ		周囲に新規はく落（50×50×10mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要	
写真 番号	覆工 スパン 番号	S084		写真 番号	覆工 スパン 番号	S084		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化	
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	左アーチ			変状種類	はく落
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		変状の発生範囲の規模	250×200×20mm					
	措置後				措置後				前回点検時の状態	0.2m×0.25mのはく落				
変状の発生範囲の規模		250×200×20mm		調査（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落	
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）			メモ		前回点検より進展なし	
メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし		調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）			メモ		前回点検より進展なし	

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S084			写真 番号	覆工 スパン 番号	S084			変状 番号	5		
	変状 番号	5				変状 番号	6						
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		部位 区分	天端		変状区分	材質劣化	
	部位 区分	天端			部位 区分	天端			変状種類	はく落			
健全性		点検・調査後	Ⅱa		健全性		点検・調査後	Ⅱa		変状の発生範囲の規模			200×1100mm
措置後				措置後				変状の発生範囲の規模			50×100×10mm		
変状の発生範囲の規模		200×1100mm		変状の発生範囲の規模		50×100×10mm		前回点検時の状態					1.1m×0.2mのはく落
前回点検時の状態		1.1m×0.2mのはく落		前回点検時の状態		L=0.1mのはく落		調査（方針）		実施状況（実施日）			
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）			
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		実施状況（実施日）			
メモ		はく落→豆板 前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S084			写真 番号	覆工 スパン 番号	S084			変状 番号	7		
	変状 番号	7				変状 番号	8						
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		部位 区分	右アーチ		変状区分	材質劣化	
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	右アーチ			変状種類	はく落			
健全性		点検・調査後	Ⅱa		健全性		点検・調査後	Ⅱa		変状の発生範囲の規模			50×500mm
措置後				措置後				変状の発生範囲の規模			50×500×5mm		
変状の発生範囲の規模		50×500mm		変状の発生範囲の規模		50×500×5mm		前回点検時の状態					0.5m×0.05mの豆板
前回点検時の状態		0.5m×0.05mの豆板		前回点検時の状態		はく落		調査（方針）		実施状況（実施日）			
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）			
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		実施状況（実施日）			
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし、計画的な対策が必要							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S084		写真 番号	覆工 スパン 番号	S084		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	9			変状 番号	10			部位 区分	左アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	左アーチ			変状 種類	はく落		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化						
変状種類		はく落		変状種類		はく落						
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱb						
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		50×400×70mm		変状の発生範囲の規模		100×100×10mm						
前回点検時の状態		0.4m×0.05mのはく落		前回点検時の状態								
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要		メモ		新規損傷 周囲に新規はく落が複数あり、監視必要						
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分				
	部位 区分				部位 区分				変状 種類			
変状区分				変状区分								
変状種類				変状種類								
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後							
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態				前回点検時の状態								
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ				メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28			
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日				
写真 番号	覆工 スパン 番号	S085		写真 番号	覆工 スパン 番号	S085		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化	
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ			材質劣化	
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化					
	部位 区分	天端			部位 区分	右アーチ			はく落					
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落				
健全性		点検・調査後	I	健全性		点検・調査後	II b	措置後						
変状の発生範囲の規模		0.3×10700mm		変状の発生範囲の規模		50×150×30mm		前回点検時の状態						
前回点検時の状態		幅0.3mm長さ10.7mのひび割れ		前回点検時の状態				調査（方針）						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）						
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）						
メモ		前回点検より進展なし		メモ		新規損傷 監視必要								
写真 番号	覆工 スパン 番号	S085		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 区分		
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分					
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化					
	部位 区分	右アーチ			部位 区分				はく落					
健全性		点検・調査後	II a	健全性		点検・調査後		措置後						
変状の発生範囲の規模		50×500×10mm		変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態						
前回点検時の状態		0.5m×0.05m、0.5m×0.05mの複数のはく落		前回点検時の状態				調査（方針）						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）						
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				実施状況（実施日）						
メモ		周囲に豆板があり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ										

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S086		写真 番号	覆工 スパン 番号	S086		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		ひび割れ		変状種類		はく落		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II b		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		0.6×10600mm		変状の発生範囲の規模		50×100×50mm		変状の発生範囲の規模		50×100×50mm			
前回点検時の状態		幅0.6mm長さ10.6mのひび割れ		前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		はく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし		メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし、監視必要		メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし、監視必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分		材質劣化			
変状種類				変状種類				変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模		50×100×50mm			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態		はく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし、監視必要			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S087		写真 番号	覆工 スパン 番号	S087		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		はく落		変状種類		うき		変状種類		うき			
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱa			
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×100×5mm		変状の発生範囲の規模		50×200mm		変状の発生範囲の規模		50×200mm			
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		0.2m×0.05mのうき		前回点検時の状態		0.2m×0.05mのうき			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし、監視必要						メモ		周囲に新規のはく落（50×150×20mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S087		写真 番号	覆工 スパン 番号	S087		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	3			変状 番号	4			変状 番号				4
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	天端			部位 区分	右アーチ			部位 区分				右アーチ
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		うき		変状種類		はく落		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅰ		健全性	点検・調査後	Ⅰ			
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		120×80mm		変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		0.12m×0.08mのうき		前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		はく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要						メモ		補修済み			

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28			
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日				
写真 番号	覆工 スパン 番号	S088		写真 番号	覆工 スパン 番号	S088		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化	
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端			材質劣化	
変状 部位		対象 箇所		覆工		変状 区分		材質劣化		変状 種類			はく落	
健全性		点検・調査後	I		健全性		点検・調査後	I		変状の発生範囲の規模			1.0×10900mm	
措置後				措置後				措置後				変状の発生範囲の規模		50×300×20mm
変状の発生範囲の規模		1.0×10900mm		変状の発生範囲の規模		50×300×20mm		前回点検時の状態		幅1.0mm長さ10.9mのひび割れ			前回点検時の状態	はく落
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし		メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし		前回点検より進展なし						
写真 番号	覆工 スパン 番号	S088		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化	
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分	右アーチ			材質劣化	
変状 部位		対象 箇所		覆工		変状 区分		材質劣化		変状 種類			はく落	
健全性		点検・調査後	II a		健全性		点検・調査後	II a		変状の発生範囲の規模			50×850×10mm	
措置後				措置後				措置後				変状の発生範囲の規模		はく落
変状の発生範囲の規模		50×850×10mm		変状の発生範囲の規模		はく落		前回点検時の状態		はく落			前回点検時の状態	はく落
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		新規損傷 前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		新規損傷 前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メモ		緊急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。				

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 緊急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S089		写真 番号	覆工 スパン 番号	S089		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	左アーチ			変状 種類	ひび割れ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		健全性		点検・調査後	I	
変状種類		はく落		健全性		措置後						
健全性		点検・調査後	I		変状の発生範囲の規模		50×100×5mm		変状の発生範囲の規模		0.3×6000mm	
変状の発生範囲の規模		50×100×5mm		変状の発生範囲の規模		0.3×6000mm		前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落		
前回点検時の状態		0.1m×0.05mのはく落		調査（方針）				実施状況（実施日）				
調査（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし		メモ		新規損傷						
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分				
	部位 区分				部位 区分				変状 種類			
変状区分				変状区分				健全性		点検・調査後		
変状種類				健全性		措置後						
健全性		点検・調査後			変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態				
前回点検時の状態				調査（方針）				実施状況（実施日）				
調査（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ				メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S090		写真 番号	覆工 スパン 番号	S090		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右アーチ		
変状 部位		対象 箇所		覆工		変状 部位		対象 箇所		右アーチ		
変状 区分		材質劣化		変状 区分		材質劣化		変状 種類		はく落		
健全性		点検・調査後	I		健全性		点検・調査後	II a		措置後		
変状の発生範囲の規模		50×100×10mm		変状の発生範囲の規模		150×200×10mm		変状の発生範囲の規模		150×200×10mm		
前回点検時の状態		L=0.1mのはく落		前回点検時の状態		はく落		調査（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要						
写真 番号	覆工 スパン 番号	S090		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号	3			変状 番号				部位 区分			
変状 部位		対象 箇所		覆工		変状 部位		対象 箇所				
変状 区分		材質劣化		変状 区分				変状 種類				
健全性		点検・調査後	I		健全性		点検・調査後			措置後		
変状の発生範囲の規模		100×200×20mm		変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態				
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）		
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし		メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S091		写真 番号	覆工 スパン 番号	S091		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	右アーチ			変状 区分	材質劣化			変状 種類	うき		
健全性		点検・調査後	I	健全性		点検・調査後	II a					
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×100×20mm		変状の発生範囲の規模		100×50mm						
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		L=0.1mのうき						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要						
写真 番号	覆工 スパン 番号	S091		写真 番号	覆工 スパン 番号	S091		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	天端		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	天端			変状 区分	材質劣化			変状 種類	うき		
健全性		点検・調査後	I	健全性		点検・調査後	II a					
措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		0.4×11000mm		変状の発生範囲の規模		100×50mm						
前回点検時の状態		幅0.4mm長さ11.0mのひび割れ		前回点検時の状態		0.1m×0.2mのうき						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）				
メモ		前回点検より進展なし		メモ		前回点検より進展なし、計画的な対策が必要						

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S091		写真 番号	覆工 スパン 番号	S091		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化
	変状 番号	5			変状 番号	6			部位 区分	右アーチ			材質劣化
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ			材質劣化				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落			
健全性		点検・調査後	I	健全性		点検・調査後	I	変状の発生範囲の規模		150×100×20mm			
措置後				措置後				変状の発生範囲の規模		150×100×20mm			
変状の発生範囲の規模		50×150×20mm		変状の発生範囲の規模		150×100×20mm		前回点検時の状態					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				調査（方針）		実施状況（実施日）			
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）			
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）			
メモ		前回点検より進展あり		メモ		補修済み		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				材質劣化
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分	材質劣化				
	部位 区分				部位 区分				材質劣化				
変状区分				変状区分				変状種類					
健全性		点検・調査後		健全性		点検・調査後		変状の発生範囲の規模					
措置後				措置後				変状の発生範囲の規模					
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				調査（方針）		実施状況（実施日）			
調査（方針）				調査（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）			
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）		実施状況（実施日）			
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S092		写真 番号	覆工 スパン 番号	S092		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	天端			変状 種類	ひび割れ		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化						
変状種類		はく落		変状種類		ひび割れ						
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅰ						
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		50×150×20mm		変状の発生範囲の規模		0.6×10800mm						
前回点検時の状態		はく落		前回点検時の状態		幅0.6mm長さ10.8mのひび割れ						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		サイズ追加 前回点検より進展なし、監視必要		メモ		前回点検より進展なし						
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分			
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分				
	部位 区分				部位 区分							
変状区分				変状区分								
変状種類				変状種類								
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後							
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態				前回点検時の状態								
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ				メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S094		写真 番号	覆工 スパン 番号	S094		変状 部位	対象 箇所	覆工			
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	天端			変状種類				
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		うき			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	II a							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×100×40mm		変状の発生範囲の規模		250×50mm							
前回点検時の状態		L=0.15mのはく落		前回点検時の状態		0.05m×0.15m、0.05m×0.15mの複数のうき							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）		はく落対策工		実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし		メモ		周囲に新規うき（150×50mm）あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要							
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分					
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態				前回点検時の状態									
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S095		写真 番号	覆工 スパン 番号	S095		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2			変状 番号				2
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	天端			部位 区分				天端
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化			
変状種類		はく落		変状種類		豆板		変状種類		豆板			
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱb			
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模		50×100×10mm		変状の発生範囲の規模		50×1600mm		変状の発生範囲の規模		50×1600mm			
前回点検時の状態		L=0.1mのはく落		前回点検時の状態		L=1.6mのはく落		前回点検時の状態		L=1.6mのはく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし、監視必要		メモ		はく落→豆板 監視必要		メモ		はく落→豆板 監視必要			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分		材質劣化			
変状種類				変状種類				変状種類		豆板			
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後	Ⅱb			
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模		50×1600mm			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態		L=1.6mのはく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S096		写真 番号	覆工 スパン 番号	S096		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	左アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	部位 区分	左アーチ		
	部位 区分	右アーチ			部位 区分	左アーチ			変状 種類	材質劣化		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落		
健全性	点検・調査後	Ⅱa		健全性	点検・調査後	Ⅱb						
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		150×200×150mm		変状の発生範囲の規模		100×600×20mm						
前回点検時の状態		0.2m×0.1mのはく落		前回点検時の状態		はく落						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）		はく落対策工		措置（方針）				実施状況（実施日）				
メ モ		周辺に新規はく落(50×100×20mm、100×100×10mm)あり、前回点検より進展あり、計画的な対策が必要		メ モ		サイズ追加 前回点検より進展なし、監視必要						
写真 番号	覆工 スパン 番号	S096		写真 番号	覆工 スパン 番号	S096		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	右アーチ		
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	部位 区分	右アーチ		
	部位 区分	天端			部位 区分	右アーチ			変状 種類	材質劣化		
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落		
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅱb						
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模		800×800mm		変状の発生範囲の規模		50×300×30mm						
前回点検時の状態		0.8m×0.5mの豆板		前回点検時の状態		0.2m×0.05mの叩き落し						
調査（方針）				調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				措置（方針）				実施状況（実施日）				
メ モ		前回点検より進展あり、監視必要		メ モ		うき→はく落 前回点検より進展あり、監視必要						

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S097		写真 番号	覆工 スパン 番号	S097		変状 部位	対象 箇所	覆工			
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	天端			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化				
	部位 区分	天端			部位 区分	天端			変状 種類	はく落			
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化							
変状種類		はく落		変状種類		はく落							
健全性	点検・調査後	Ⅱb		健全性	点検・調査後	Ⅰ							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		50×300×10mm		変状の発生範囲の規模		50×300×100mm							
前回点検時の状態		ハンマー打撃でははく落しない。補修対象にはせず要監視対象と						前回点検時の状態		0.3m×0.05mのはく落			
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）	
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）	
メモ		周囲に新規はく落（100×100×20mm）あり、前回点検より進展あり、監視必要						メモ		前回点検より進展なし			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 区分					
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分									
変状種類				変状種類									
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後								
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模									
前回点検時の状態								前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）				調査（方針）				実施状況（実施日）	
措置（方針）				実施状況（実施日）				措置（方針）				実施状況（実施日）	
メモ								メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社明友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S098		写真 番号	覆工 スパン 番号	S098		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号	2							
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	左アーチ			部位 区分	右アーチ							
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分					
変状種類		はく落		変状種類		ひび割れ		変状種類					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		300×150×5mm		変状の発生範囲の規模		0.3×2700mm		変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		0.15m×0.3mのはく落		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より進展なし		メモ		新規損傷		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号								
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S001		写真 番号	覆工 スパン 番号	S001		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	部位 区分				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S001		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号				変状 番号				対象 箇所				
変状 部位	対象 箇所	照明		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	部位 区分				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		R-002 打音点検		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号	S002		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		写真 番号	覆工 スパン 番号	S003		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		写真 番号	覆工 スパン 番号	S004		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S005		写真 番号	覆工 スパン 番号	S005		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S006		写真 番号	覆工 スパン 番号	S006		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S007		写真 番号	覆工 スパン 番号	S007		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S008		写真 番号	覆工 スパン 番号	S008		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S009		写真 番号	覆工 スパン 番号	S009		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S010		写真 番号	覆工 スパン 番号	S010		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

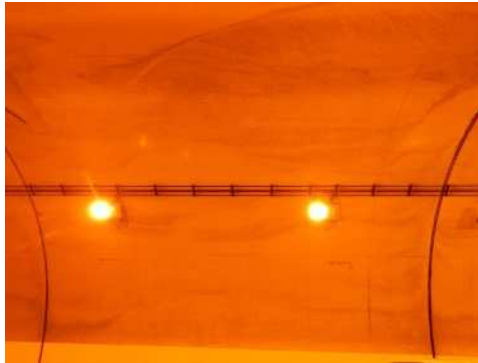
■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S011		写真 番号	覆工 スパン 番号	S011		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S011		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		VI-2 打音点検		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S012		写真 番号	覆工 スパン 番号	S012		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S013		写真 番号	覆工 スパン 番号	S013		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル			
	変状 番号				変状 番号				部位 区分				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	部位 区分				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S013		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所				
	変状 番号	1			変状 番号				対象 箇所				
変状 部位	対象 箇所	ケーブル類（金具）		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	部位 区分				
	部位 区分	S013～2本目			部位 区分				部位 区分				
変状区分		支持金具の異常		変状区分				変状区分					
変状種類		脱落		変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後	×		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		L側 S013～2本目支持金具のケーブル止金具		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より補修なし		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S014		写真 番号	覆工 スパン 番号	S014		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S015		写真 番号	覆工 スパン 番号	S015		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S016		写真 番号	覆工 スパン 番号	S016		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル					
	変状 番号				変状 番号				部位 区分						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	部位 区分						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所						
	変状 番号				変状 番号				部位 区分						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	部位 区分						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S017		写真 番号	覆工 スパン 番号	S017		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S018		写真 番号	覆工 スパン 番号	S018		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S019		写真 番号	覆工 スパン 番号	S019		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S020		写真 番号	覆工 スパン 番号	S020		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S021		写真 番号	覆工 スパン 番号	S021		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

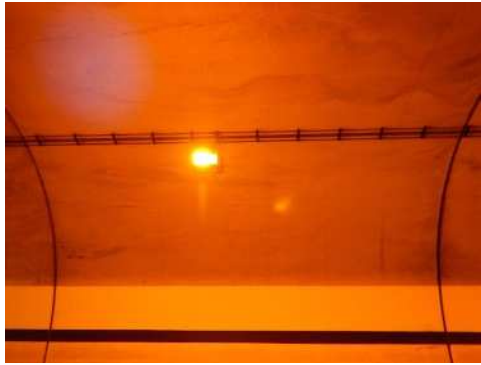
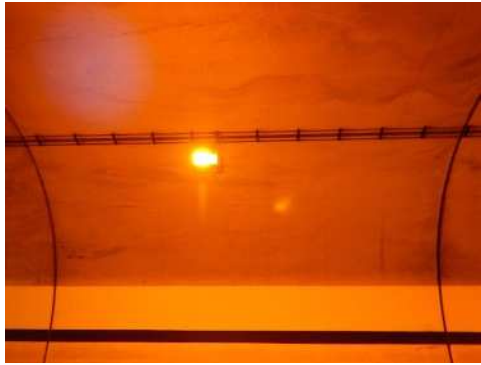
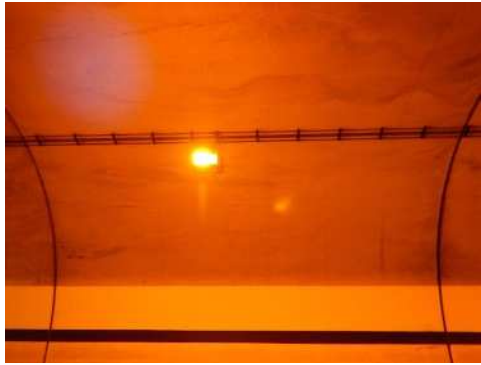
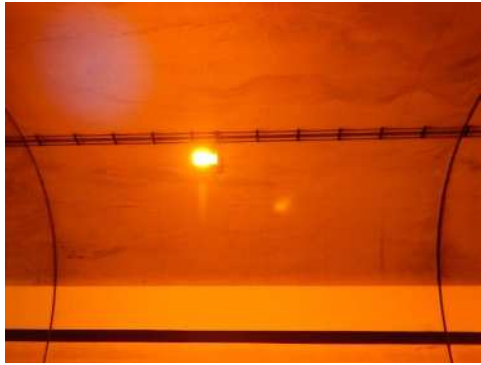
■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S022		写真 番号	覆工 スパン 番号	S022		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S023		写真 番号	覆工 スパン 番号	S023		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S024		写真 番号	覆工 スパン 番号	S024		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

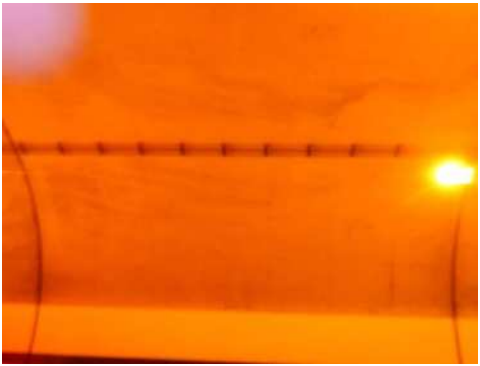
■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S025		写真 番号	覆工 スパン 番号	S025		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S026		写真 番号	覆工 スパン 番号	S026		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S027		写真 番号	覆工 スパン 番号	S027		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S028		写真 番号	覆工 スパン 番号	S028		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S029		写真 番号	覆工 スパン 番号	S029		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S029		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	標識		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		非常電話非常駐車帯 打音点検		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S030		写真 番号	覆工 スパン 番号	S030		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S031		写真 番号	覆工 スパン 番号	S031		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S031		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		L-0482 触診		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S032		写真 番号	覆工 スパン 番号	S032		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S033		写真 番号	覆工 スパン 番号	S033		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S034		写真 番号	覆工 スパン 番号	S034		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S035		写真 番号	覆工 スパン 番号	S035		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号								
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号								
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S036		写真 番号	覆工 スパン 番号	S036		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

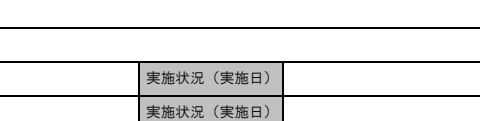
■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S037		写真 番号	覆工 スパン 番号	S037		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

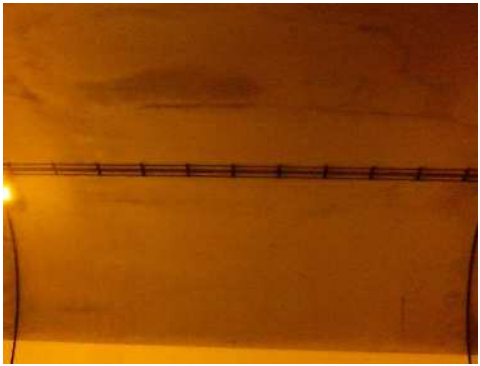
■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S038		写真 番号	覆工 スパン 番号	S038		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル					
	変状 番号				変状 番号				部位 区分						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	部位 区分						
	部位 区分				部位 区分										
変状区分				変状区分				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後										
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模											
前回点検時の状態				前回点検時の状態											
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所						
	変状 番号				変状 番号				部位 区分						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	部位 区分						
	部位 区分				部位 区分										
変状区分				変状区分				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後										
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模											
前回点検時の状態				前回点検時の状態											
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S039		写真 番号	覆工 スパン 番号	S039		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S040		写真 番号	覆工 スパン 番号	S040		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S041		写真 番号	覆工 スパン 番号	S041		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

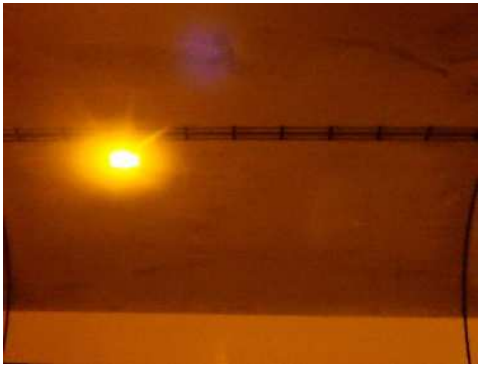
■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S042		写真 番号	覆工 スパン 番号	S042		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S043		写真 番号	覆工 スパン 番号	S043		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S044		写真 番号	覆工 スパン 番号	S044		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

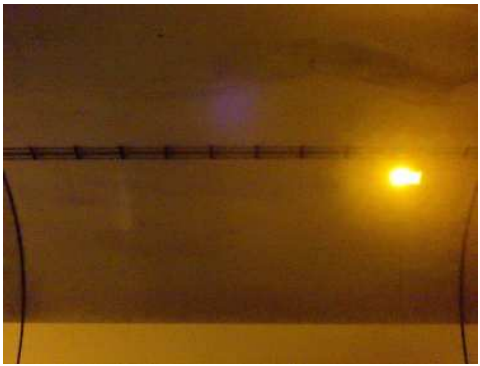
■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S045		写真 番号	覆工 スパン 番号	S045		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S046		写真 番号	覆工 スパン 番号	S046		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S047		写真 番号	覆工 スパン 番号	S047		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

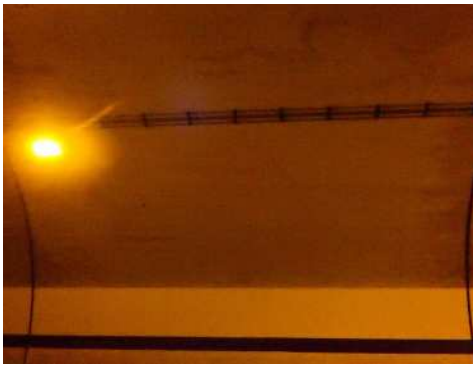
■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S048		写真 番号	覆工 スパン 番号	S048		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S049		写真 番号	覆工 スパン 番号	S049		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S050		写真 番号	覆工 スパン 番号	S050		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S051		写真 番号	覆工 スパン 番号	S051		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S052		写真 番号	覆工 スパン 番号	S052		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S053		写真 番号	覆工 スパン 番号	S053		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S054		写真 番号	覆工 スパン 番号	S054		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S055		写真 番号	覆工 スパン 番号	S055		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S056		写真 番号	覆工 スパン 番号	S056		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S057		写真 番号	覆工 スパン 番号	S057		写真 番号	覆工 スパン 番号	S057			
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル			
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ		起点側全景			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S057		写真 番号	覆工 スパン 番号	S057		写真 番号	覆工 スパン 番号	S057			
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	標識		変状 部位	対象 箇所	ジェットファン		変状 部位	対象 箇所	ジェットファン			
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S058		写真 番号	覆工 スパン 番号	S058		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S059		写真 番号	覆工 スパン 番号	S059		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S060		写真 番号	覆工 スパン 番号	S060		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S061		写真 番号	覆工 スパン 番号	S061		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S062		写真 番号	覆工 スパン 番号	S062		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S063		写真 番号	覆工 スパン 番号	S063		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号								
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号								
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分								
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S064		写真 番号	覆工 スパン 番号	S064		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S065		写真 番号	覆工 スパン 番号	S065		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S066		写真 番号	覆工 スパン 番号	S066		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S067		写真 番号	覆工 スパン 番号	S067		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S068		写真 番号	覆工 スパン 番号	S068		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

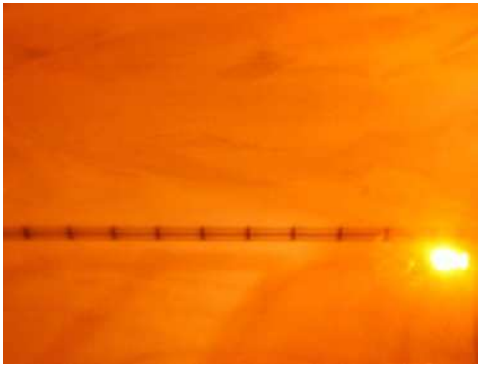
■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S069		写真 番号	覆工 スパン 番号	S069		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S070		写真 番号	覆工 スパン 番号	S070		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S070		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	ケーブル		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		ケーブル止金具 打音点検		メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S071		写真 番号	覆工 スパン 番号	S071		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号										
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分										
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S071		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号										
変状 部位	対象 箇所	ジェットファン		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分										
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		終点側全景						メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S072		写真 番号	覆工 スパン 番号	S072		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S073		写真 番号	覆工 スパン 番号	S073		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S073		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号	1			変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	ケーブル類（金具）		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分	S073～1本目			部位 区分				部位 区分				
変状区分		固定金具の異常		変状区分				変状区分					
変状種類		脱落		変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後	×		健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態		R側 S073～1本目支持金具の脱落		前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		前回点検より補修無し		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S074		写真 番号	覆工 スパン 番号	S074		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S075		写真 番号	覆工 スパン 番号	S075		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S076		写真 番号	覆工 スパン 番号	S076		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）				
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）				
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S077		写真 番号	覆工 スパン 番号	S077		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル					
	変状 番号				変状 番号				部位 区分						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	部位 区分						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 部位	対象 箇所						
	変状 番号				変状 番号				対象 箇所						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	部位 区分						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調書 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S078		写真 番号	覆工 スパン 番号	S078		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S078		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		V I -1 打音点検		メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S079		写真 番号	覆工 スパン 番号	S079		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S080		写真 番号	覆工 スパン 番号	S080		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S081		写真 番号	覆工 スパン 番号	S081		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S082		写真 番号	覆工 スパン 番号	S082		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S083		写真 番号	覆工 スパン 番号	S083		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S084		写真 番号	覆工 スパン 番号	S084		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S084		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	ジェットファン		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		終点側 全景						メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S085		写真 番号	覆工 スパン 番号	S085		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S086		写真 番号	覆工 スパン 番号	S086		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S087		写真 番号	覆工 スパン 番号	S087		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S088		写真 番号	覆工 スパン 番号	S088		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

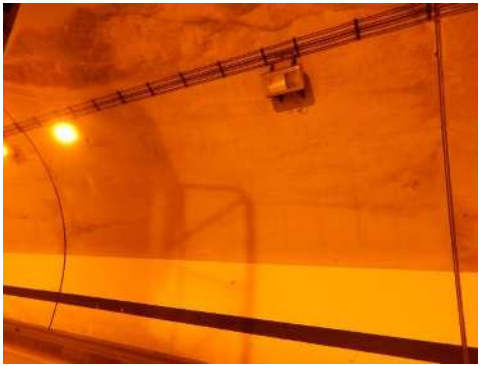
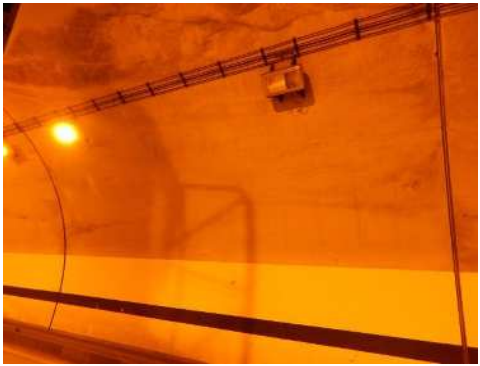
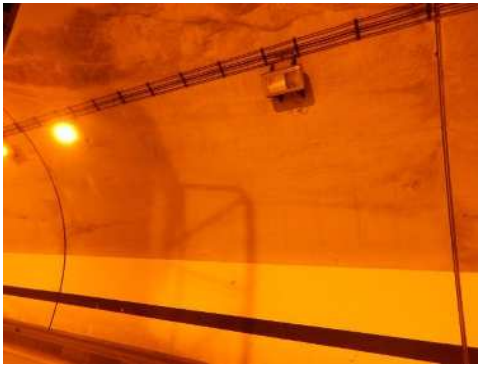
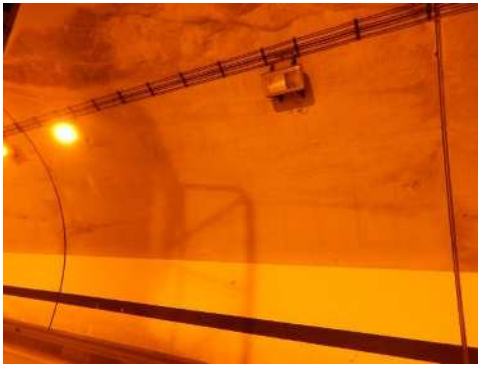
■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S089		写真 番号	覆工 スパン 番号	S089		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

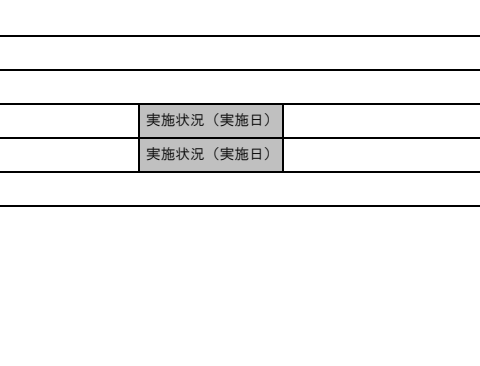
■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S090		写真 番号	覆工 スパン 番号	S090		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）						実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）						実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）						実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）						実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S091		写真 番号	覆工 スパン 番号	S091		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S092		写真 番号	覆工 スパン 番号	S092		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S093		写真 番号	覆工 スパン 番号	S093		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S094		写真 番号	覆工 スパン 番号	S094		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S095		写真 番号	覆工 スパン 番号	S095		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ				メモ				メモ					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S096		写真 番号	覆工 スパン 番号	S096		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A－2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S097		写真 番号	覆工 スパン 番号	S097		写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ		左側 全景						メモ		右側 全景					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号				変状 番号				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分				部位 区分				部位 区分						
変状区分				変状区分				変状区分							
変状種類				変状種類				変状種類							
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後						
	措置後				措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態							
調査（方針）				調査（方針）				調査（方針）							
措置（方針）				措置（方針）				措置（方針）							
メモ								メモ							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 変状写真台帳 【様式A-2】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線		点検業者・点検者名	株式会社朋友技建		点検年月日	2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S098		写真 番号	覆工 スパン 番号	S098		写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所	照明・ケーブル		変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		左側 全景		メモ		右側 全景							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S098		写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号				
	変状 番号				変状 番号				変状 番号				
変状 部位	対象 箇所	PB		変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所				
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
変状区分				変状区分				変状区分					
変状種類				変状種類				変状種類					
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後				
	措置後				措置後				措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査（方針）				実施状況（実施日）			調査（方針）				実施状況（実施日）		
措置（方針）				実施状況（実施日）			措置（方針）				実施状況（実施日）		
メモ		PB-L3 打音点検		メモ									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

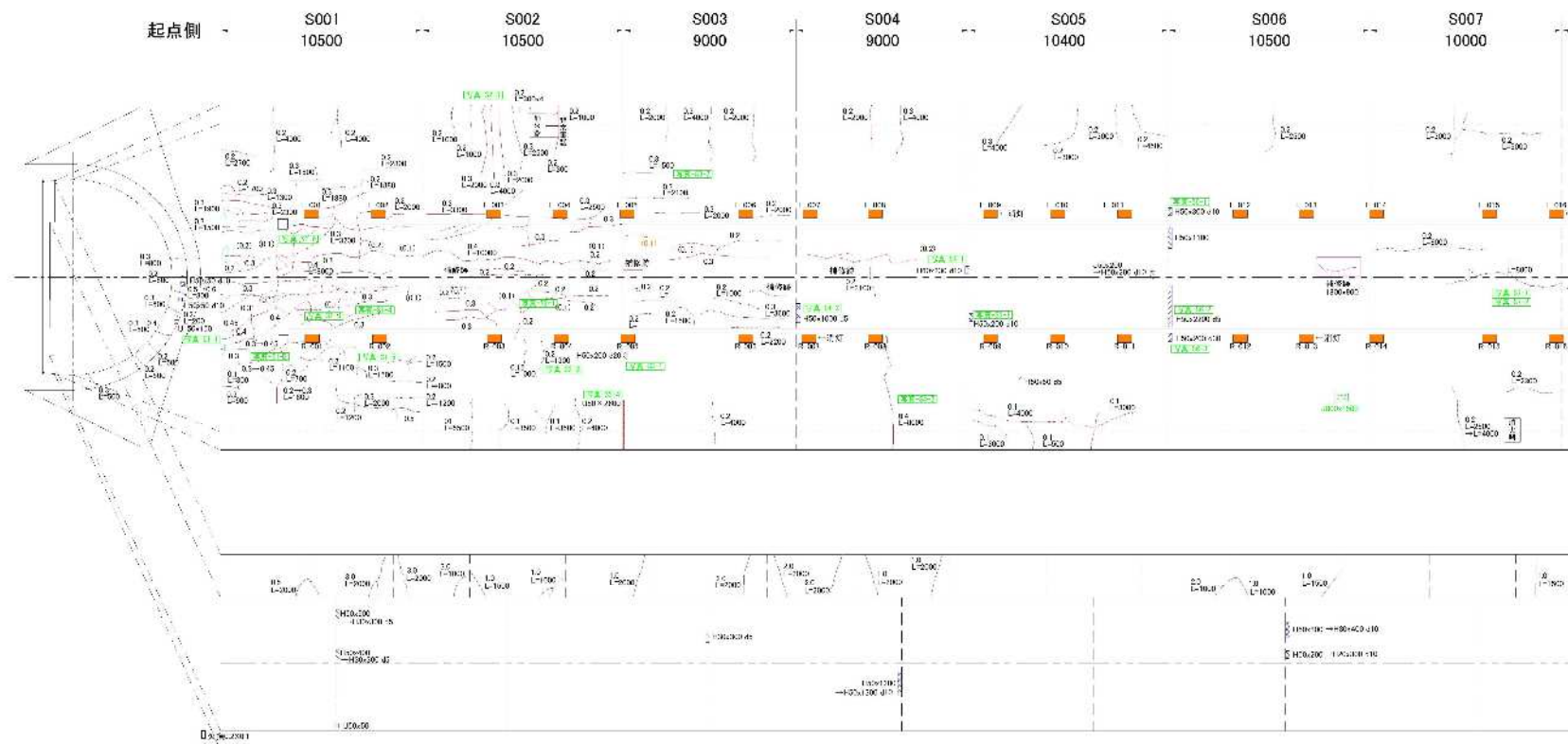
※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検調査 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル変状展開図

トンネル全体変状展開図



凡 例

表 示	目視点検での変状種類
	施工目地
	ひび割れ(0.3mm)未満
	ひび割れ(0.3mm)以上
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)
	2.0 数値はひび割れ開口幅(mm)
	継ぎ目
	コールドジョイント
	補修跡
	うき(○)、はく離 (ハシマー打診異常箇所)
	はく離(はく離跡)(H)
	骨材の露出(圧板部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(濡れている部分)
	漏水、水壁、浸砂 (○の厚さ cm)
	溶融物(遺留石灰など)
	ひび割れ補修
	(0.1) H12年11月調査時寸法
	(0.1) H12年11月調査時寸法 H25年10月調査時寸法
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり落とし)
	対策工(経導水工)

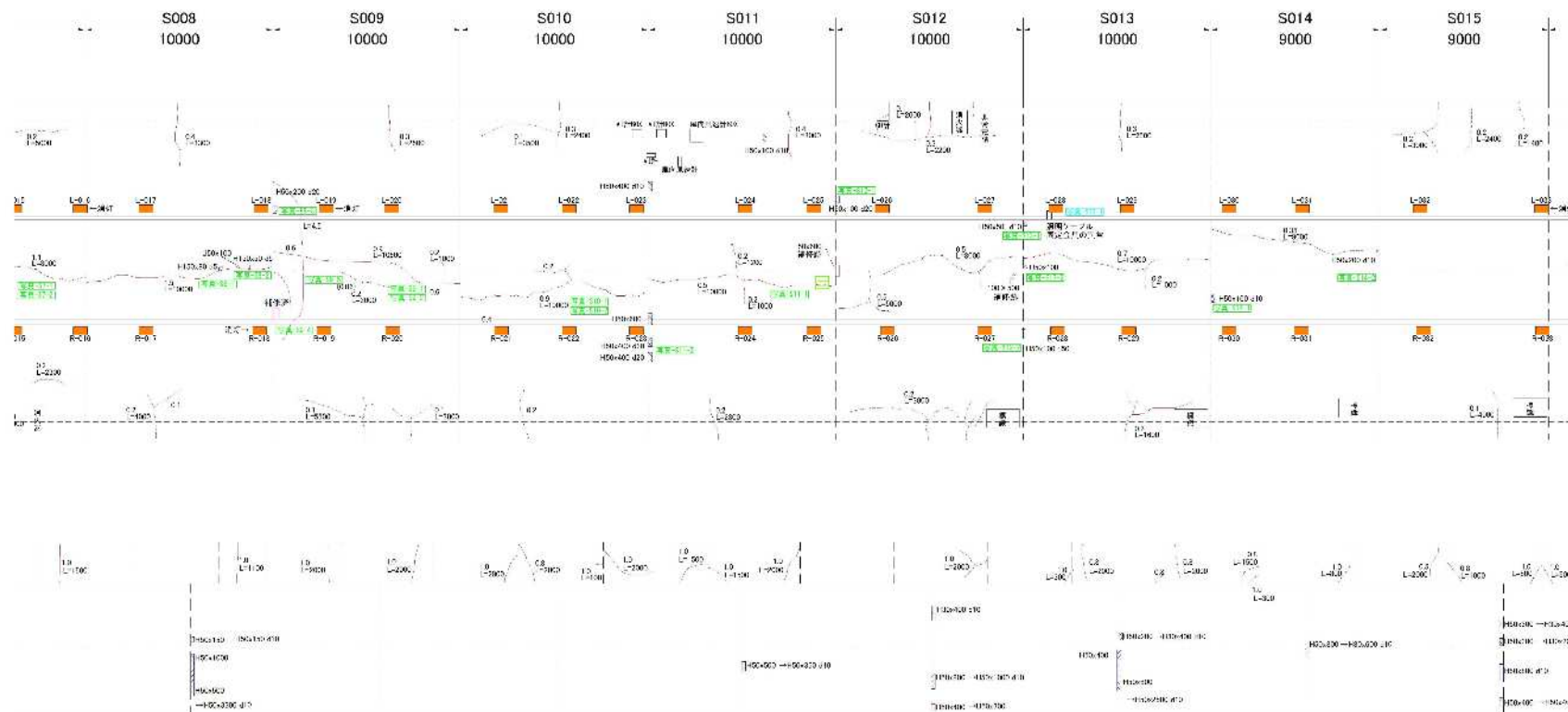
注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調査 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル変状展開図

トンネル全体変状展開図



凡 例

表 示	目視点検での変状種類
	施工目地
	ひび割れ(0.3mm)未満
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)
	継ぎ目 矢印側突出、数値は段差(mm)
	コールドジョイント
	補修跡
	うき30、ばく離 (ハンマー打診異常箇所)
	はく離(はく離跡)(H)
	骨材の露出(圧板部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(漏れている部分)
	滞水、水盤、流砂 (0.0.厚さ cm)
	落石物(遊石、石灰など)
	ひび割れ補修
	(0.1) H12年11月調査時寸法
	(0.1) H12年11月調査時寸法 H25年10月調査時なし
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり落とし)
	対策工(鉄筋工)

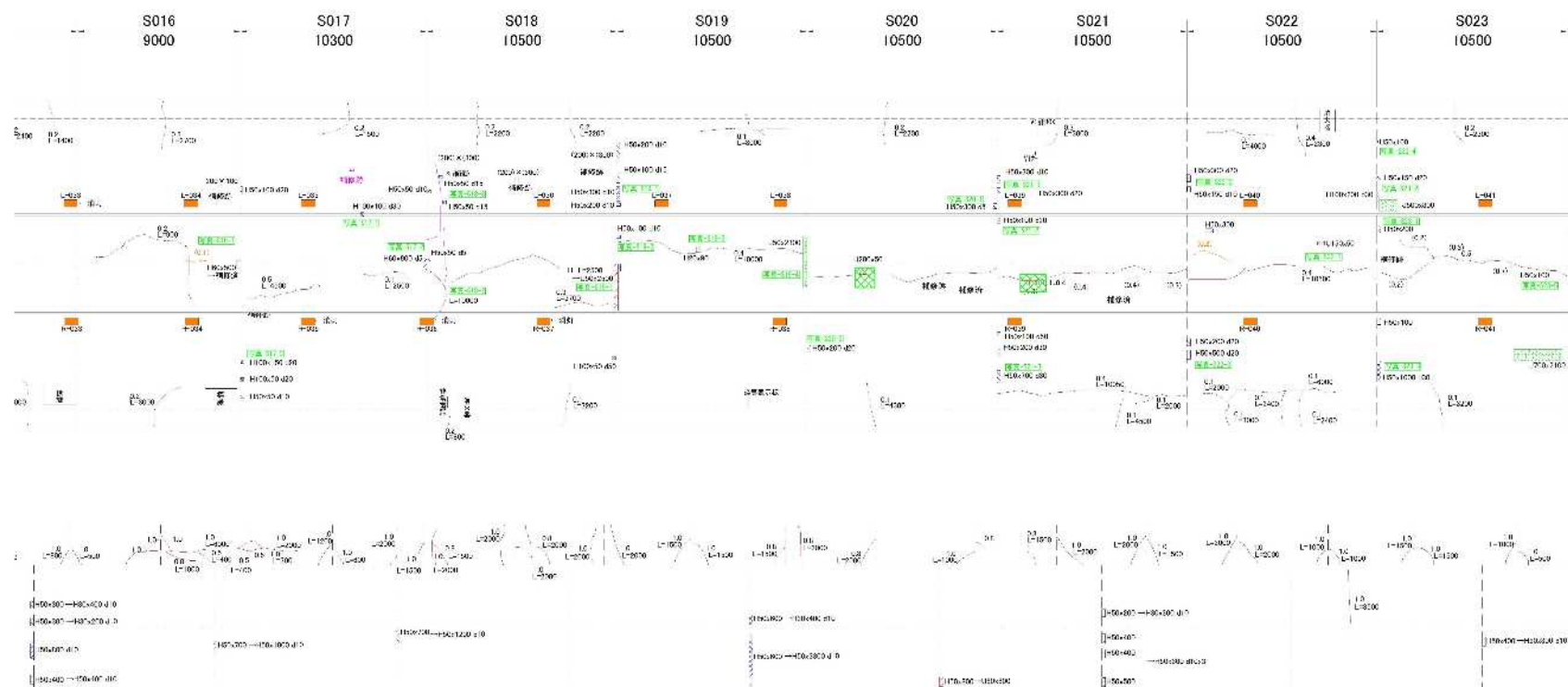
注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調査 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル変状展開図

トンネル全体変状展開図



凡 例

表 示	目視点検での変状種類
	施工日地
	ひび割れ(0.3mm)未満
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)
	段差 矢印側突出、数値は段差(mm)
	コールドジョイント
	補修筋
	うき(り)、はく離 (ハンマー打診異常箇所)
	はく落(はく落跡)(H)
	骨材の露出(鉄板部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(漏れている部分)
	漏水、水盤、灰砂 (O.O.等と on)
	落石物(道沿石灰など)
	ひび割れ補修
	(0.1) H12年11月調査時寸法
	(0.1) H12年11月調査時有り H25年10月調査時なし
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり落とし)
	対策工(排水工)

注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調書 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

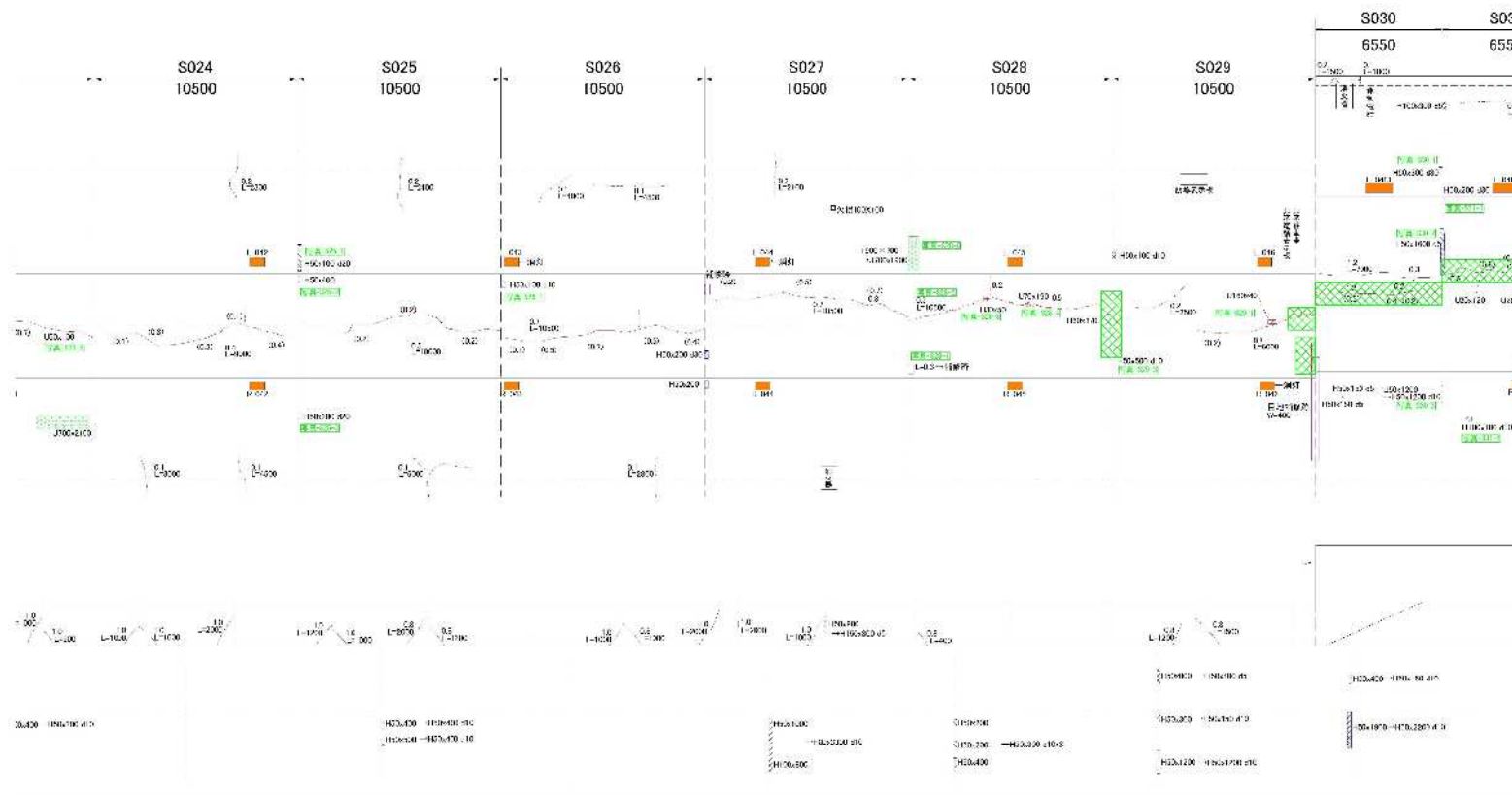
フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル変状展開図

トンネル全体変状展開図

凡 例

表 示	目視点検での変状種類
	施工目地
	ひび割れ(0.3mm)未満
	ひび割れ(0.3mm)以上 数箇所ひび割れ開口幅(mm)
	段差 矢印側突出、数値は段差(mm)
	コールドジョイント
	補修跡
	うき(U)、はく蔵 (ハンマー打診異常箇所)
	はく落(はく落跡)(H)
	骨材の露出(豆腐部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(濡れている部分)
	湧水、穴、カサ (CO厚さ cm)
	溶落物(遺留石灰など)
	ひび割れ補修
	(0.1) H12年11月調査時寸法
	(0.1) H12年11月調査時有り H25年10月調査時なし
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり落とし)
	対策工(横断水工)



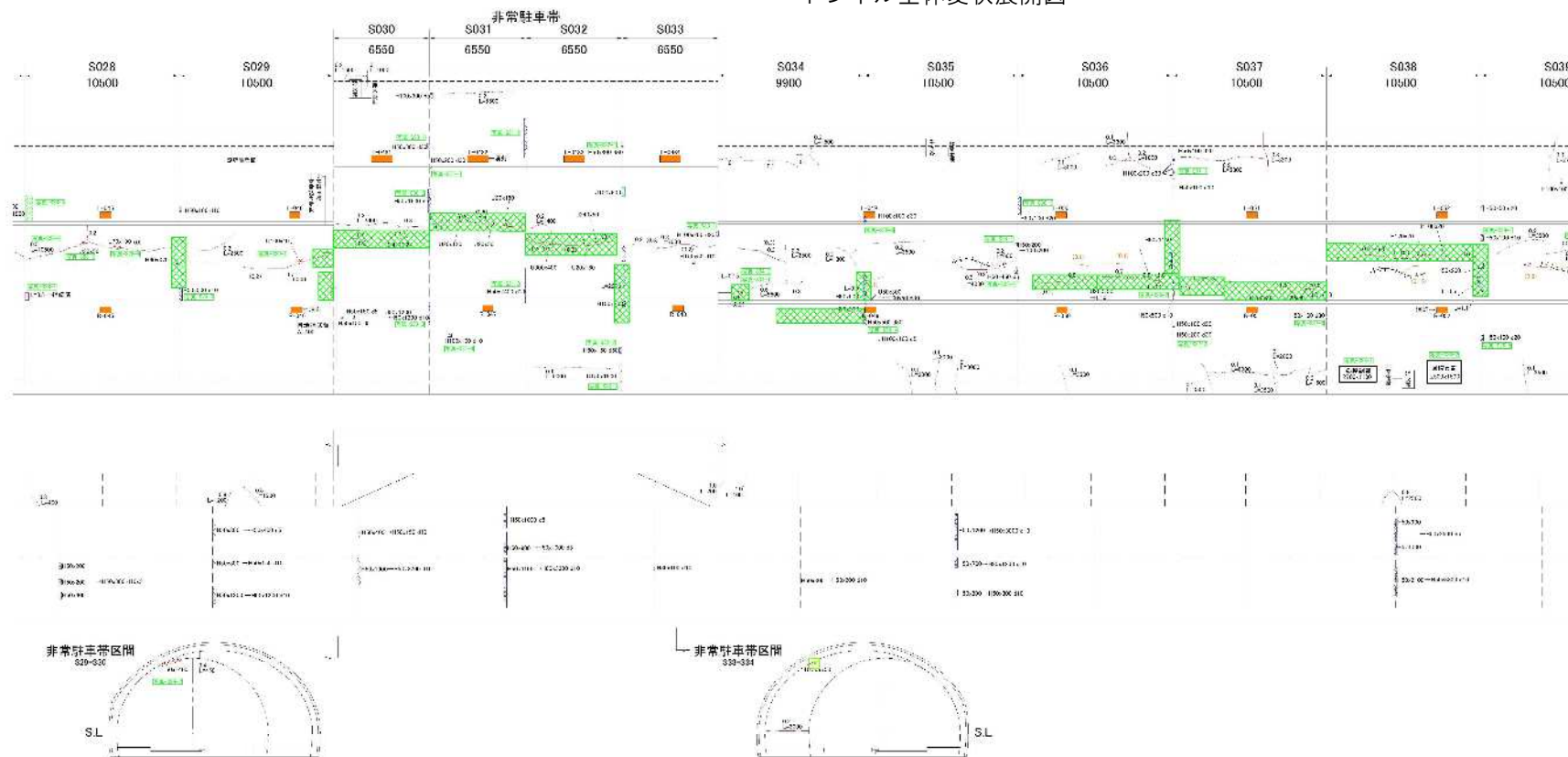
- 注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調査 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル変状展開図

トンネル全体変状展開図



凡 例

表 示	目視点検での変状種類
	施工目地
	ひび割れ(0.3mm)未満
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)
	段差 矢印側突出、数値は段差(mm)
	コールドジョイント
	補修跡
	うきり、はく離 (ハンマー打診異常箇所)
	はく離(はく離部)(H)
	骨材の露出(豆板部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(濡れている部分)
	常水、水盤、水跡 (水の量 cm)
	落石物(遊石、石など)
	ひび割れ補修
	(0.1) H12年11月調査時寸法
	(0.1) H12年11月調査時有り H25年10月調査時なし
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり端とし)
	対策工(排水工)

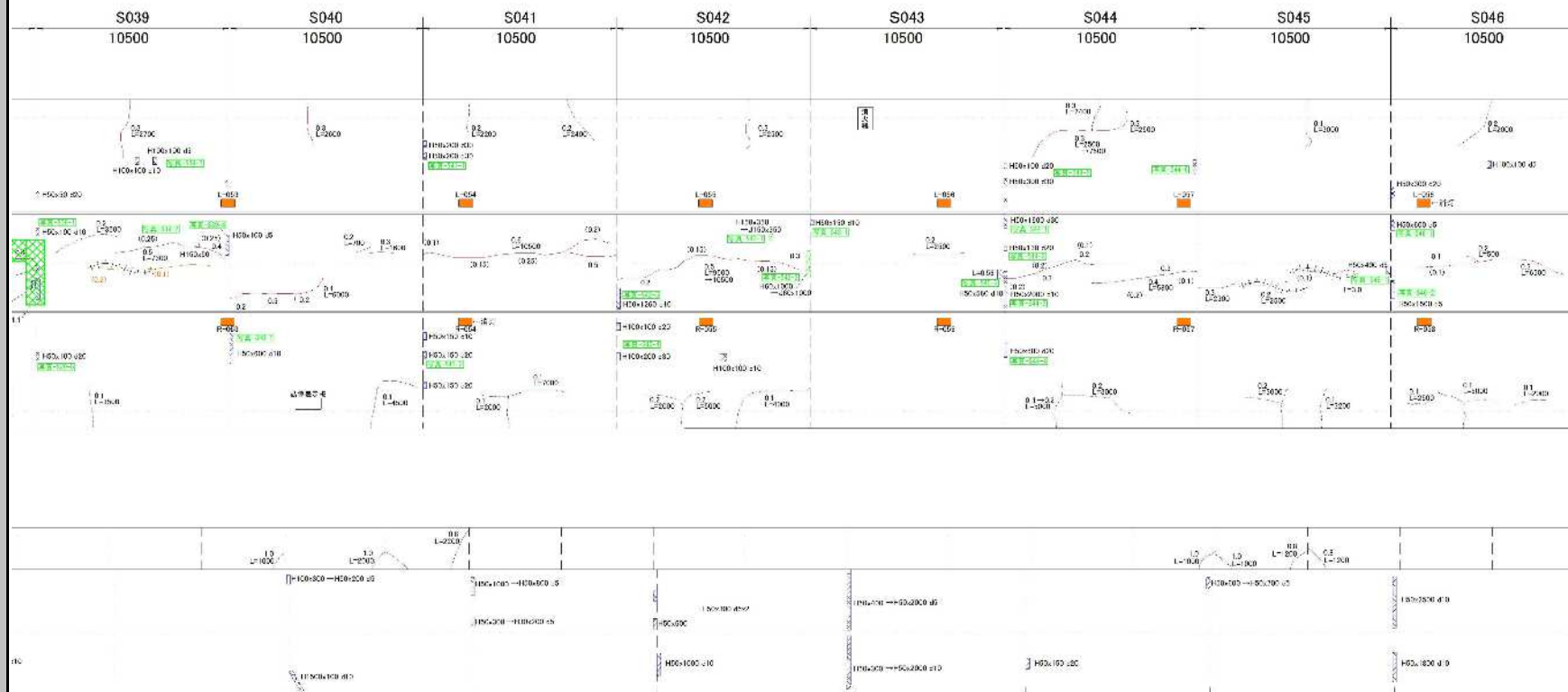
注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調査 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル変状展開図

トンネル全体変状展開図



凡 例

表 示	目視点検での変状種類
	施工日地
	ひび割れ(0.3mm)未満
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)
	2.0 縦深 矢印側突出、数値は縦深(mm)
	コールドジョイント
	補修跡
	うきり、はく離 (ハンマー打診異常箇所)
	はく落(はく離部)(H)
	骨材の露出(露出部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(漏れている部分)
	湧水、水盤、沈砂 (100平方 cm)
	膨張物(逆部石灰など)
	ひび割れ補修
	(0.1) H12年11月調査時寸法
	(0.1) H12年11月調査時有り H25年10月調査時なし
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり落とし)
	対策工(不透水工)

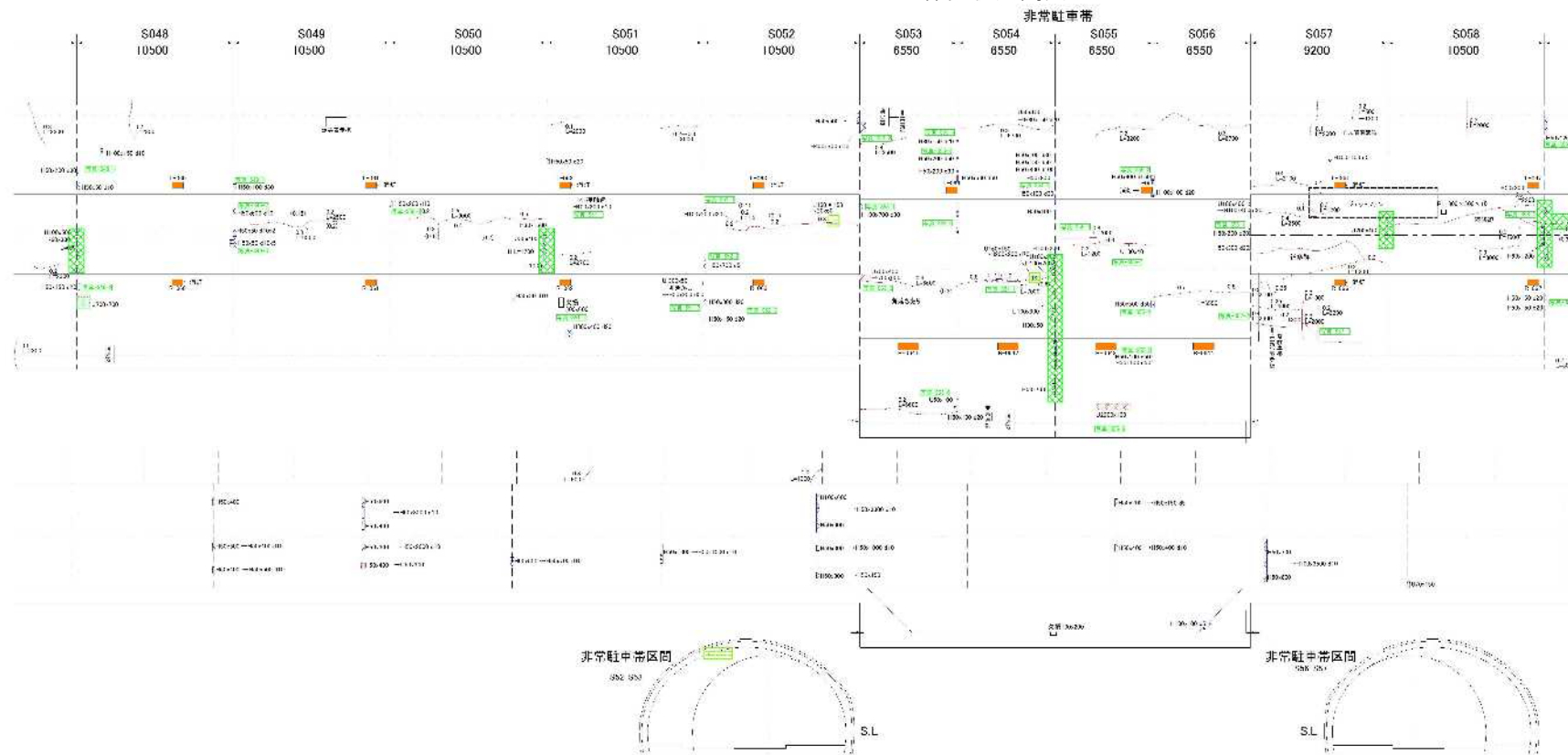
注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調査 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル変状展開図

トンネル全体変状展開図



凡 例

表 示	目視点検での変状種類
	施工箇所
	ひび割れ(0.3mm)未満
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)
	継ぎ目 矢印側突出、数値は段差(mm)
	コールドジョイント
	補修部
	うきり、はく離 (ハンマー打診異常箇所)
	はく離(はく離部)(H)
	骨材の露出(丘板部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(漏れている部分)
	湧水、水盤、水砂 (0.0m以上 0.5m以下)
	落石物(落石石版など)
	ひび割れ補修
	(0.1) H12年11月調査時寸法
	(0.1) H12年11月調査時寸法 H25年10月調査時なし
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり落とし)
	対策工(銀膜工)

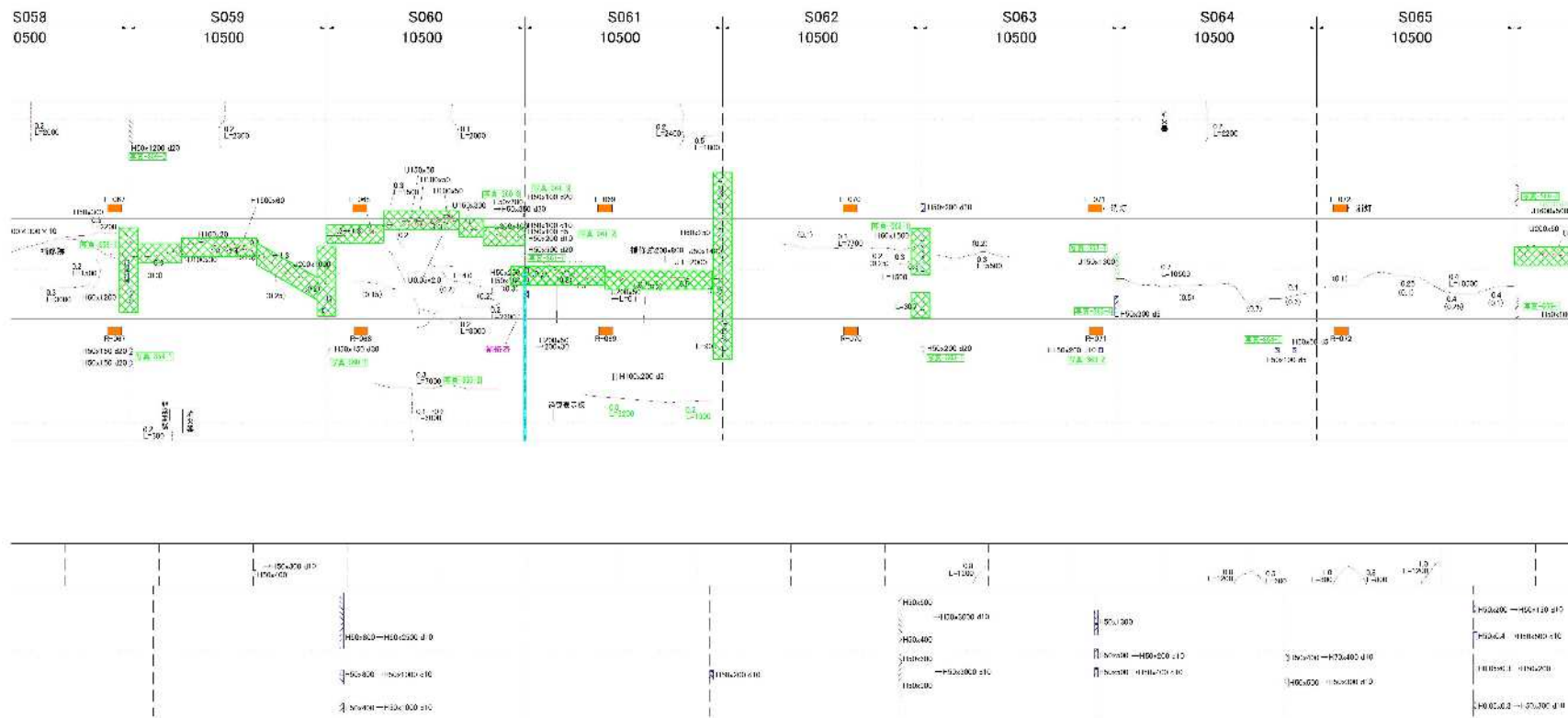
- 注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調査 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル変状展開図

トンネル全体変状展開図



凡 例

表 示	目視点検での変状種類
	施工目地
	ひび割れ(0.3mm)未満
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)
	段差 矢印側突出、数値は段差(mm)
	コールドジョイント
	補修跡
	うき(う)、はく離 (ハンマー打診異常箇所)
	はく離(はく離跡)(H)
	骨材の露出(豆板部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(漏れている部分)
	水、砂、石等 (0.5cm以上)
	落脱物(落脱石等)
	ひび割れ補修
	(0.1) H12年11月調査時寸法
	(0.1) H12年11月調査時有り H25年10月調査時なし
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり糸とし)
	対策工(防水工)

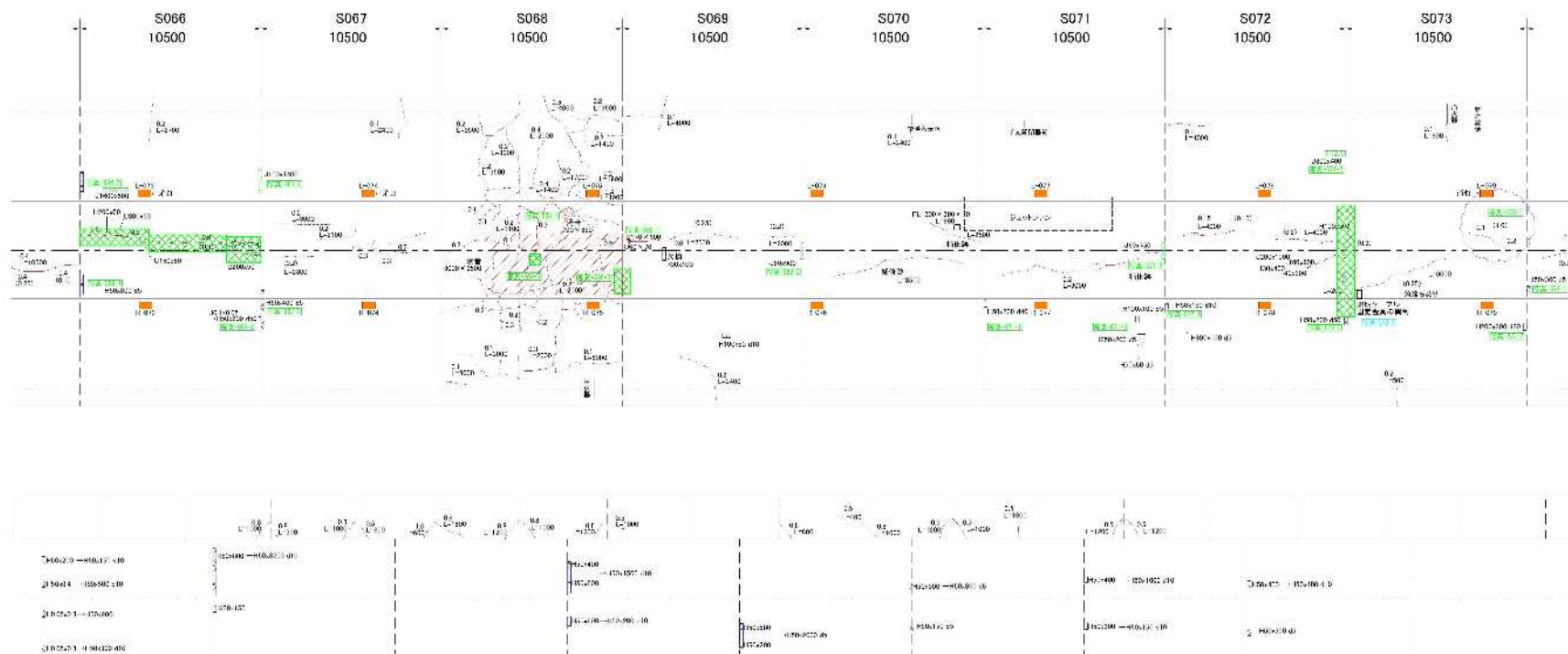
注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調査 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル変状展開図

トンネル全体変状展開図



凡 例

表 示	目視点検での変状種類
	施工目地
	ひび割れ(0.3mm)未満
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)
	陥没 矢印側突出、数値は陥没(mm)
	コールドジョイント
	補修跡
	うき(う)、はく難 (ハンマー打診異常箇所)
	はく露(はく露部)(H)
	骨材の露出(豆板部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(漏れている部分)
	水、砂、泥等
	落石物(落石石灰など)
	ひび割れ補修
	(0.1) H12年11月調査時寸法
	(0.1) H12年11月調査時有り H25年10月調査時なし
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり落とし)
	対策工(防水工)

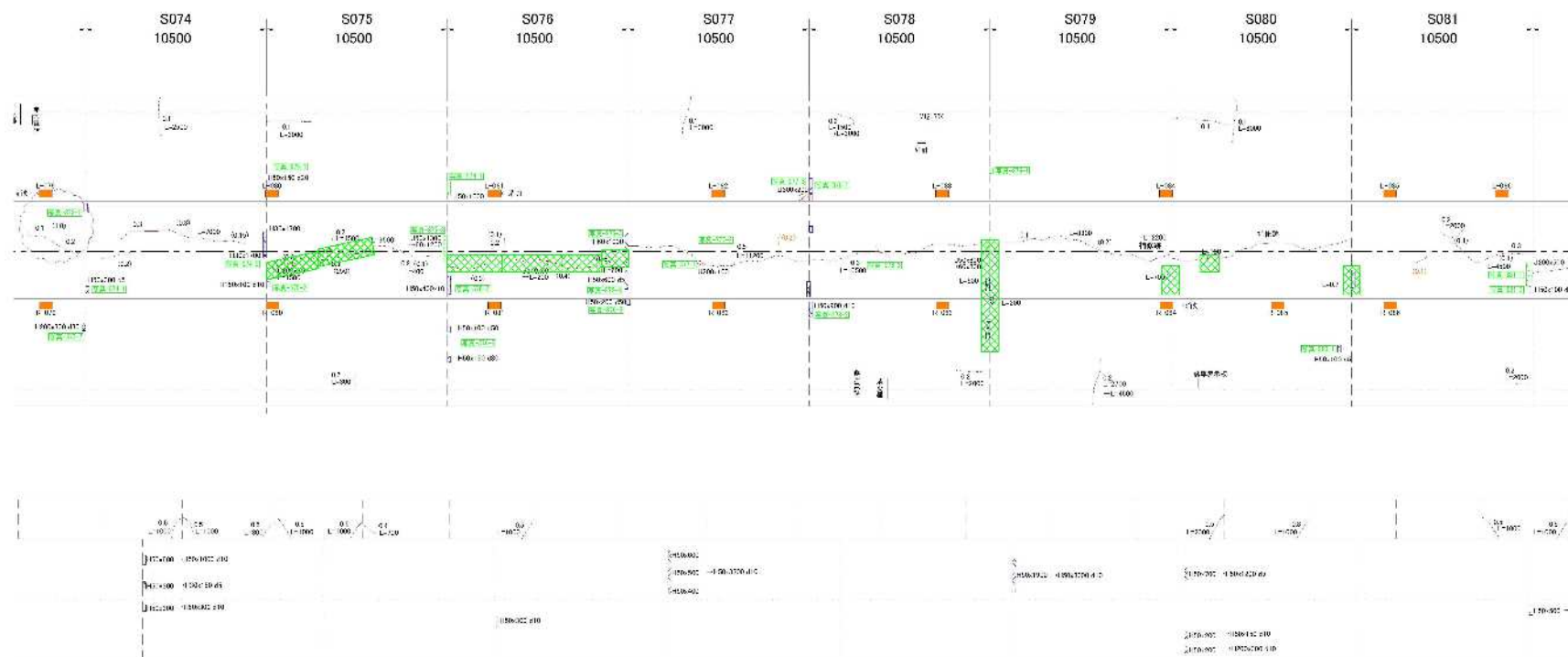
注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調査 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル変状展開図

トンネル全体変状展開図



凡 例

表 示	目視点検での変状種類
	施工目地
	ひび割れ(0.3mm)未満
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)
	段差 矢印側突出、数値は段差(mm)
	コールドジョイント
	補修跡
	うきり、はく離 (ハンマー打診異常箇所)
	はく離(はく離部)(H)
	骨材の露出(豆板部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(漏れている部分)
	湧水、水盤、湧砂 (湧水量 m³/分)
	汚泥物(遊離石灰など)
	ひび割れ補修
	(0.1) H12年11月調査時寸法
	(0.1) H12年11月調査時有り H25年10月調査時なし
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり端とし)
	対策工(紙導水工)

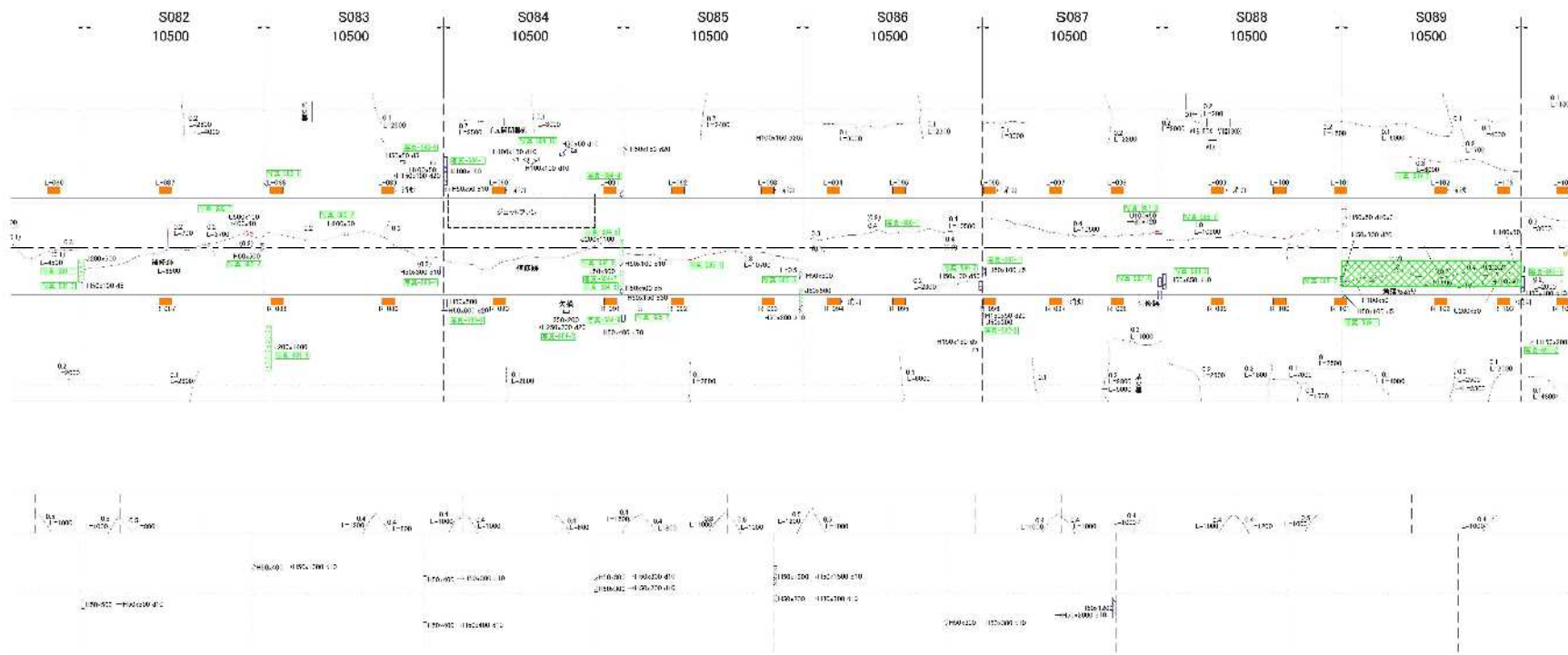
注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調査 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル変状展開図

トンネル全体変状展開図



凡 例

表 示	目録点検での変状種類
	施工目地
	ひび割れ(0.3mm)未満
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)
	2.0 段差 矢印側突出、数値は段差(mm)
	コールドジョイント
	補修跡
	うき(Δ)、はく離 (ハンマー打診異常箇所)
	はく離(はく離部)(H)
	骨材の露出(豆板部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(漏れている部分)
	漏水、水盤、浸砂 (○)の書き込み
	溶解物(硫酸石灰など)
	ひび割れ補修
	(0.1) H12年11月調査時寸法
	(0.1) H12年11月調査時有り H25年10月調査時なし
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり落とし)
	対策工(防水工)

注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調査 トンネル全体変状展開図 【様式B-1】

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社明友技建	点検年月日	2021/7/26～28
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

トンネル全体変状展開図

凡 例

表 示	目視点検での変状種類
	施工目地
	ひび割れ(0.3mm)未満
5.0	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)
2.0	陥差 矢印側突出、数値は陥差(mm)
	コールドジョイント
	補修跡
	うき(ひく)はく(は) (ハンマー打診異常箇所)
	はく(はく)落(落)
	骨材の露出(豆板部)
	漏水(漏水量 リットル/分)
	漏水(漏れている部分)
	常水、止水、止水 (CG厚さ cm)
	溶融物(遊離石灰など)
	ひび割れ補修
(0.1)	H12年11月調査時寸法
(0.1)	H12年11月調査時有り H25年10月調査時なし
	対策工(FRPネット)
	対策工(はつり落とし)
	対策工(格導水工)

トンネル変状展開図

注1：本展開図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎（矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎）に設定すること。
 注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること、

■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C－2－1】

フリガナ			ナガオヤマトンネル			路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28		
名 称			長尾山トンネル			管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日				
	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点検・調査履歴				措置履歴		対応方針 ・ 特記事項
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生範囲の規模	前回点検時との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区 分の判 定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)	
点 検 結 果	S001	1	10.50	坑門	面壁	材質劣化	うき	150×150mm	新規	-	-	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S001	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	0.2～0.6mm	最大幅が0.45→0.6mm	ひび割れ	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S001	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.2～0.4mm	進展なし	ひび割れ	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S001	4	10.50	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.2～0.3mm	進展なし	ひび割れ	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S001	5	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	0.2～0.3mm	進展なし	ひび割れ	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S001	6	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	ひび割れ	0.2～0.4mm	進展なし	ひび割れ	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S002	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	0.1～0.3mm	進展なし	ひび割れ	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S002	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	0.15～0.2mm	進展なし	ひび割れ	Ⅱ b	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S002	3	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	ひび割れ	0.2～0.3mm	複数の新規ひびわれ	ひび割れ	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S002	4	10.50	覆工	右側壁	材質劣化	うき	50×2600mm	進展なし	うき	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S003	1	9.00	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×200×20mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S003	2	9.00	覆工	左アーチ	材質劣化	ひび割れ	0.1～0.3mm	新規損傷	-	-	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S004	1	9.00	覆工	天端	材質劣化	はく落	60×330×10mm	進展なし	はく落	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S004	2	9.00	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×1000×5mm	進展なし	はく落	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S004	3	9.00	覆工	右側壁	材質劣化	ひび割れ	0.4×8000mm	4000mm→8000mm	ひび割れ	I	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S005	1	10.40	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×200×10mm	進展なし	はく落	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S006	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×300×10mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S006	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×2200×5mm	800mm→2200mm	はく落	I	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S006	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×200×30mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S007	1	10.00	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	1.1×8000mm	6500mm→8000mm	ひび割れ	I	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S007	2	10.00	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	7-1 近景	-	ひび割れ	I	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S008	1	10.00	覆工	天端	材質劣化	はく落	150×80×5mm	進展なし	はく落	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S008	2	10.00	覆工	左アーチ	材質劣化	うき	150×50mm	周囲に新規はく落	うき	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S009	1	10.00	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.9×10500mm	進展なし	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S009	2	10.00	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	9-1 近景	-	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S009	3	10.00	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×200×20mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S009	4	10.00	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	-	補修済み	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	済		
	S009	5	10.00	覆工	天端	材質劣化	うき	8200×1500mm	進展なし	うき	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S010	1	10.00	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.9×10000mm	進展なし	ひび割れ	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S010	2	10.00	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	10-1 近景	-	ひび割れ	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S011	1	10.00	覆工	天端	材質劣化	うき	-	異常なし	うき	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S011	2	10.00	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×400×20mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		

■点検調書 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C－2－1】

フリガナ			ナガオヤマトンネル			路線名		市道3259号線			点検業者・点検者名		株式会社明友技建			点検年月日		2021/7/26～28		
名 称			長尾山トンネル			管理者名		宝塚市			調査業者・調査技術者名					調査年月日				
	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容					前回点検時の状態		点検・調査履歴					措置履歴		対応方針 ・ 特記事項
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生範囲の規模		前回点検時との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区 分の判 定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)		
点 検 結 果	S012	1	10.00	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×100×20mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S012	2	10.00	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×50mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S013	1	10.00	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×50×10mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S013	2	10.00	覆工	右アーチ	材質劣化	うき	100×50mm		進展なし	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S014	1	9.00	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×10mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S014	2	9.00	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×200×10mm		15×140mm→50×200mm	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S016	1	9.00	覆工	天端	材質劣化	はく落	-		補修済み	はく落	Ⅱb	要・ 非		I	要・ 非	済			
	S017	1	10.30	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	100×100×30mm		50×50mm→100×100mm	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S017	2	10.30	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	60×900mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S017	3	10.30	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	100×150×20mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S018	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	うき	50×2500mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S018	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	うき	1000×10000mm		進展なし	うき	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S018	3	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×50×15mm		周囲に新規はく落	はく落	-	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S019	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×300×10mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S019	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×100×10mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S019	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	20×90mm		進展なし	うき	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S019	4	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	50×2800mm		うき→豆板	うき	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S020	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×300×5mm		200mm→300mm	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S020	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×200×20mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S021	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×300×20mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S021	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×100×20mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S021	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×700×30mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S022	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	150×50mm		うきが確認	うき	Ⅱb	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S022	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×300×20mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S022	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×500mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S023	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×200mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S023	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×150×20mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S023	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×1000×30mm		2か所はく落結合	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S023	4	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	うき	50×100mm		進展なし	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S023	5	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	50×100mm		進展なし	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S025	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×100×20mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S025	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×400mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			

■点検調書 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C－2－1】

フリガナ			ナガオヤマトンネル			路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建			点検年月日		2021/7/26～28		
名 称			長尾山トンネル			管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名						調査年月日			
	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点検・調査履歴				措置履歴		対応方針	
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生範囲の規模	前回点検時との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区 分の判 定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)	特記事項	
点 検 結 果	S025	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×200×20mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S026	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×100×10mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S028	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	-	補修済み	はく落	Ⅱa	要・ 非		I	要・ 非	済			
	S028	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.5×10500mm	進展なし	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S028	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	30×50mm	進展なし	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S028	4	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	70×190mm	進展なし	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S028	5	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	豆板	1900×700mm	ひび割れ→豆板	うき	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S029	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	40×160mm	進展なし	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S029	2	10.50	覆工	妻壁	材質劣化	うき	150×1400mm	1200mm→1400mm	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S029	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×500×10mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S030	1	6.55	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×300×30mm	200mm→300mm	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S030	2	6.55	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×1600×5mm	進展あり	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S030	3	6.55	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×1200×10mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S031	1	6.55	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×200×30mm	サイズ追加	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S031	2	6.55	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	サイズなし	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S031	3	6.55	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×2400×10mm	進展あり	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S031	4	6.55	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	100×100×10mm	新規損傷	-	-	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S032	1	6.55	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×800×30mm	サイズ追加	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S032	2	6.55	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×150×30mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S032	3	6.55	覆工	右側壁	材質劣化	うき	1900×150mm	進展なし	うき	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S033	1	6.55	覆工	天端	材質劣化	はく落	100×200×20mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S034	1	9.90	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	0.6×5500mm	進展なし	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S034	2	9.90	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	34-1 近景	-	-	-	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S035	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	200×100mm	60mm→100mm	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S035	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×450×5mm	進展なし	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S035	3	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×100×30mm	サイズ追加	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S035	4	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×500×30mm	周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S036	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×100×20mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S036	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×500×10mm	サイズ追加	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S037	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	100×200×30mm	周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S037	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×200×30mm	周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S037	3	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×100×30mm	サイズ追加	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			

■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C－2－1】

フリガナ			ナガオヤマトンネル			路線名			市道3259号線			点検業者・点検者名			株式会社明友技建			点検年月日		2021/7/26～28	
名 称			長尾山トンネル			管理者名			宝塚市			調査業者・調査技術者名						調査年月日			
	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容					前回点検時の状態		点検・調査履歴					措置履歴		対応方針 ・ 特記事項	
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生範囲の規模		前回点検時との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区 分の判 定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)			
点 検 結 果	S038	1	10.50	覆工	右側壁	材質劣化	その他（塗膜剥離）	2700×1100mm		塗膜剥離	-	-	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S038	2	10.50	覆工	右側壁	材質劣化	その他（塗膜剥離）	2500×1500mm		塗膜剥離	-	-	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S039	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×100×10mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S039	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	150×50mm		進展なし	うき	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続				
	S039	3	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	100×100×10mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続				
	S039	4	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×100×5mm		サイズ追加	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S039	5	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×20mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S040	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×600×10mm		サイズ追加	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S041	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×200×30mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S041	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×150×20mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続				
	S042	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	150×350mm		はく落→豆板	はく落	Ⅱa	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S042	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	60×1000mm		はく落→豆板	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S042	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	60×1260×10mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S042	4	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	100×200×30mm		周囲に新規はく落	-	-	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S043	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×150×10mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S043	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×560×10m		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S044	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×1600×30mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S044	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×130×20mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S044	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×2000×10mm		周囲に新規はく落	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S044	4	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×800×20mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S044	5	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×300×30mm		新規損傷	-	-	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S044	6	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	サイズなし		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S045	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×400×5mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S046	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×600×5mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S046	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×1500×5mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S047	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	60×150×5mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工		
	S047	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×250×10mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続				
	S048	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×200×30mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続				
	S048	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×150×20mm		周囲に豆板あり	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S049	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×100×30mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S049	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×600×10mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				
	S049	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×50×10mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続				

■点検調書 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C－2－1】

フリガナ			ナガオヤマトンネル			路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建			点検年月日		2021/7/26～28	
名 称			長尾山トンネル			管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名					調査年月日			
	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点検・調査履歴				措置履歴		対応方針 ・ 特記事項
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生範囲の規模	前回点検時との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区 分の判 定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)	
点 検 結 果	S050	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×200×10mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S051	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	400×200×10mm	進展なし	はく落	Ⅱb	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S051	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	300×400×20mm	進展なし	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S051	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×300×20mm	うき→はく落	はく落	Ⅱa	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S052	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	100×200×20mm	進展なし	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S052	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×700×30mm	進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S052	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×300×20mm	新規損傷	-	-	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S053	1	6.55	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	100×700×30mm	進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S053	2	6.55	覆工	左側壁	材質劣化	はく落	400×700×10mm	進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S053	3	6.55	覆工	天端	材質劣化	うき	600×700mm	400mm→600mm	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S053	4	6.55	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×500×50mm	周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S053	5	6.55	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	サイズなし	進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S053	6	6.55	覆工	右アーチ	材質劣化	うき	50×100mm	周囲に新規はく落	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S053	7	6.55	覆工	左側壁	材質劣化	はく落	80×150×20mm	うき→はく落	うき	Ⅱb	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S054	1	6.55	覆工	天端	材質劣化	はく落	L=1900mm	進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S054	2	6.55	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×800×100mm	周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S055	1	6.55	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.8×7000mm	6700mm→7000mm	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S055	2	6.55	覆工	天端	材質劣化	うき	130×40mm	進展なし	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S055	3	6.55	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×900×150mm	周囲に新規はく落	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S055	4	6.55	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×500×50mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S055	5	6.55	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×50mm	周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S055	6	6.55	覆工	右アーチ	材質劣化	うき	2200×100mm	新規損傷	-	-	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S056	1	6.55	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	100×400×30mm	うき→はく落	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S057	1	9.20	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	0.2mm～0.4mm	複数のひびわれ	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S057	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	0.1mm～0.4mm	複数のひびわれ	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S058	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	対策後異常なし	補修済み	-	-	要・ 非		I	要・ 非	済		
	S059	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×150×20mm	周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S059	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×1200×20mm	新規損傷	-	-	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S060	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×150×30mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S060	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.3×7000mm	新規損傷	-	-	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S060	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×350×30mm	200mm→350mm	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S061	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×500×20mm	進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		

■点検調書 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C－2－1】

フリガナ			ナガオヤマトンネル			路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建			点検年月日		2021/7/26～28		
名 称			長尾山トンネル			管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名					調査年月日				
	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容					前回点検時の状態		点 検 ・ 調 査 履 歴				措置履歴		対応方針 ・ 特記事項
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生範囲の規模		前回点検時との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区 分の判 定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)	
点 検 結 果	S061	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×200×10mm	周囲に新規はく落		はく落	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S061	3	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×100×20mm	新規損傷		-	-	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S062	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	対策後異常なし		補修済み	-	-	要・ 非		I	要・ 非	済		
	S063	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×200×30mm	進展なし		はく落	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S063	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	150×200×10mm	進展なし		はく落	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S063	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	150×1300mm	進展なし		豆板	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S063	4	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×300×5mm	200mm→300mm		はく落	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S064	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×5mm	新規損傷		はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S066	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×800×5mm	進展あり		はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S066	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	豆板	1600×500m	進展なし		豆板	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S066	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×200×50mm	うき→はく落		うき	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S067	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	豆板	100×1400mm	はく落→豆板		はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S067	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×400×5mm	300mm→400mm		はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S068	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	うき	700×650mm	濁音あり		うき	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S068	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	-	補修済み		-	-	要・ 非		I	要・ 非	済		
	S068	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	8000×3500mm	広範囲で濁音		うき	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S069	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	170mm×100mm	周囲に新規うき		うき	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S069	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	60×900mm	進展なし		豆板	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S071	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×200×40mm	進展なし		はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S071	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	60×750mm	進展なし		豆板	Ⅱ a	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S071	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	250×500mm×5mm	周囲に新規はく落		-	-	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S072	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×150×10mm	進展なし		はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S072	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	豆板	800×400mm	新規損傷		-	-	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S072	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×200×50mm	進展なし		はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S073	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	サイズなし	進展なし		はく落	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S073	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	200×300×30mm	進展なし		はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S074	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	150×300×5mm	進展なし		はく落	Ⅱ b	要・ 非		Ⅱ b	要・ 非	継続		
	S074	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	300×1700mm	はく落→豆板		はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S075	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×150×20mm	進展なし		はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S075	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×10mm	進展なし		はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S075	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	60×1200mm	進展なし		豆板	Ⅱ a	要・ 非		Ⅱ a	要 ・非	継続		はく落対策工
	S076	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	豆板	50×1000mm	進展なし		豆板	Ⅱ b	要・ 非		I	要・ 非	継続		

■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C－2－1】

フリガナ			ナガオヤマトンネル			路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28			
名 称			長尾山トンネル			管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日					
	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点 検 ・ 調 査 履 歴				措置履歴		対応方針	
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生範囲の規模		前回点検時との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区 分の判 定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)	特記事項
点 検 結 果	S076	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×400×10mm		進展なし	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S076	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	60×1000mm		進展なし	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S076	4	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×600×5mm		進展なし	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S076	5	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×200×50mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S076	6	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×150×30mm		新規損傷	はく落	-	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S077	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	200×100mm		50mm→100mm	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S077	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.5×11200mm		進展なし	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S077	3	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	うき	200×300mm		進展なし	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S078	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	サイズなし		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S078	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×900×10mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S078	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.3×10500mm		進展なし	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S079	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	豆板	サイズなし		はく落→豆板	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S080	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	-		補修済み	-	-	要・ 非		I	要・ 非	済		
	S081	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	豆板	200×500mm		進展なし	豆板	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S081	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×5mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S082	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	400×40mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S082	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	60×500mm		進展なし	豆板	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S083	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	サイズなし		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S083	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	200×50mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S083	3	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	150×100×20mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S083	4	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×300×10mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S083	5	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	豆板	200×1400mm		新規損傷	-	-	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S084	1	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	うき	100×150mm		周囲に新規はく落	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S084	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×600×20mm		500mm→600mm	はく落	I	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		
	S084	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	250×200×20mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S084	4	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	サイズなし		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続		
	S084	5	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	200×1100mm		はく落→豆板	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S084	6	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×100×10mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S084	7	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	豆板	50×500mm		進展なし	豆板	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S084	8	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×500×5mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S084	9	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×400×70mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工
	S084	10	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	100×100×10mm		新規損傷	-	-	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続		

■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C－2－1】

フリガナ			ナガオヤマトンネル			路線名		市道3259号線			点検業者・点検者名		株式会社明友技建			点検年月日		2021/7/26～28		
名 称			長尾山トンネル			管理者名		宝塚市			調査業者・調査技術者名					調査年月日				
	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容					前回点検時の状態		点検・調査履歴					措置履歴		対応方針
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生範囲の規模		前回点検時との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区 分の判 定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)	特記事項	
点 検 結 果	S085	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.3×10700mm		進展なし	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S085	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×150×30mm		新規損傷	-	-	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S085	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×500×10mm		周囲に新規はく落	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S086	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.6×10600mm		進展なし	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S086	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×50mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S087	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×100×5mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S087	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	うき	50×200mm		周囲に新規はく落	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S087	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	120×80mm		進展なし	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S087	4	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	-		補修済み	はく落	Ⅱa	要・ 非		I	要・ 非	済			
	S088	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	1.0×10900mm		進展なし	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S088	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×300×20mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S088	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×850×10mm		新規損傷	-	-	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S089	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×5mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S089	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	ひび割れ	0.3×6000mm		新規損傷	-	-	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S090	1	10.50	覆工	天端	材質劣化	はく落	50×100×10mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S090	2	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	150×200×10mm		進展なし	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S090	3	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	100×200×20mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S091	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×20mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S091	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	100×50mm		進展なし	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S091	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.4×11000mm		進展なし	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S091	4	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	100×50mm		進展なし	うき	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S091	5	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	50×150×20mm		サイズ追加進展あり	-	-	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S091	6	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	150×100×20mm		補修済み	-	-	要・ 非		I	要・ 非	済			
	S092	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×150×20mm		進展なし	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S092	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	0.6×10800mm		進展なし	ひび割れ	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S094	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×40mm		進展なし	はく落	I	要・ 非		I	要・ 非	継続			
	S094	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	うき	250×50mm		周囲に新規うき	はく落	Ⅱa	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S095	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	50×100×10mm		進展なし	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S095	2	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	50×1600×5mm		はく落→豆板	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S096	1	10.50	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	150×200×150mm		周囲に新規はく落	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱa	要 ・非	継続		はく落対策工	
	S096	2	10.50	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	100×600×20mm		進展なし	はく落	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			
	S096	3	10.50	覆工	天端	材質劣化	豆板	800×800mm		500mm→800mm	豆板	Ⅱb	要・ 非		Ⅱb	要・ 非	継続			

■点検調書 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C-2-1】

[illegible]

■点検調査 点検結果総括表（トンネル内附属物の取付状態） 【様式C－2－2】

フリガナ			ナガオヤマトンネル			路線名		市道3359号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28	
名 称			長尾山トンネル			管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日			
	覆工 スパン 番号	異常 番号	距離 (m)	異常部位		異 常 の 内 容		前回点検時の状態		点検・調査履歴				措置履歴		対応方針 ・ 特記事項	
				対象箇所	部位区分	異常種類	異常の発生範囲の規模	状態	健全性	調査の要否	実施	健全性 (点検後)	措置の内容	実施	健全性 (措置後)		
点 検 結 果	S013	1	129.9	ケーブル類（金具）	S013～2本目	支持金具の異常							×				要再設置
	S073	1	721.7	ケーブル類（金具）	S073～1本目	固定金具の異常							×				要再設置

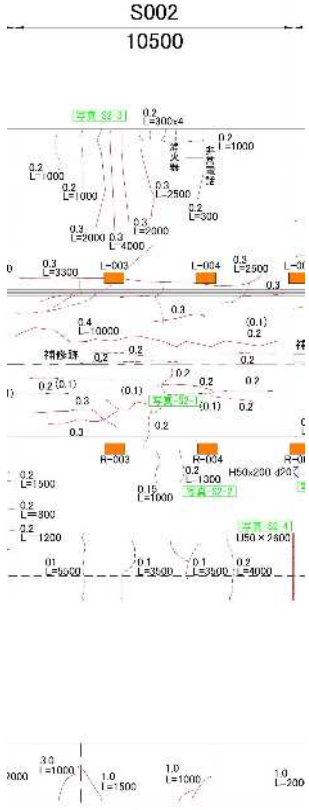
※ 異常の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。

※ 1 スパンの覆工に複数の異常がある場合は、異常箇所毎に記入すること。

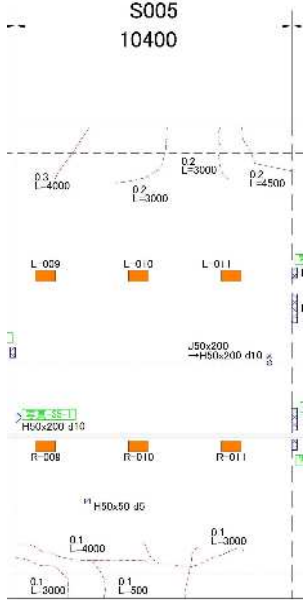
定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建		定期点検年月日	2021/7/26～28																											
名 称		長尾山トンネル		管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名			調査年月日																												
スパン別変状展開図						【健全性判定集計表】																															
						スパン番号	S002	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性		応急措置前の判定		対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m)																			
						変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}																						
														IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb																
						1	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	IIb	IIb																									
						2	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	IIb	I																									
						3	覆工	左アーチ	材質劣化	ひび割れ	IIb	IIb																									
						4	覆工	右側壁	材質劣化	うき	IIb	IIb									0.13																
集計・判定						変状の発生規模合計(m)							—							0.13																	
						対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数														3																
							変状区分毎の判断区分 ^{注3}											IIb																			
						健全性の診断結果	判断区分							IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II													
							判断区分毎の変状数 ^{注4}													3																	
診断							変状区分毎の判断区分 ^{注4}											II																			
						覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}							II																								
特記事項																																					
						注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。																															
						注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。																															
						注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。																															
						注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。																															
						注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																															

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

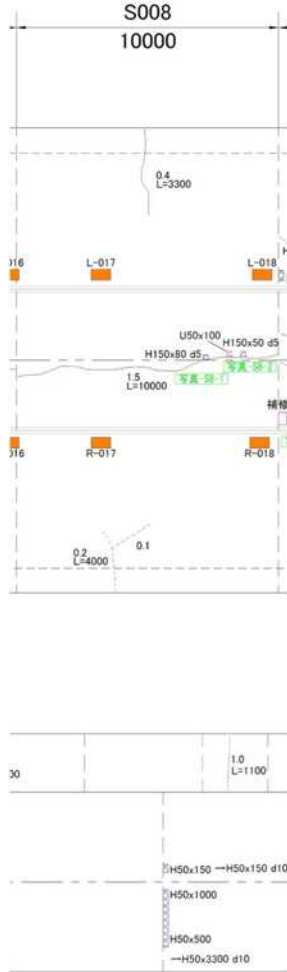
フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28															
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日																
スパン別変状展開図		【健全性判定集計表】																				
		スパン番号	S005	スパン長	10.40	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)										
		変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分			変状種類	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}					
								IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b			
		1	覆工	天端	材質劣化	はく落	II a	II a							0.01							
		集計・判定	診断	変状の発生規模合計(m ²)					—				0.01									
				健全性の診断結果	対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数									1							
					変状区分毎の判断区分 ^{注3}									II a								
判断区分					IV	III	II	IV	III	II	IV	III	II									
判断区分毎の変状数 ^{注4}									1													
変状区分毎の判断区分 ^{注4}									II													
覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}									II													
特記事項																						
注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。																						
注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。																						
注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判断区分。																						
注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。																						
注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																						

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社 明友技建		定期点検年月日		2021/7/26~28																		
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日																				
ス パ ン 別 変 状 展 開 図											【健全性判定集計表】																					
											スパン番号		S006		スパン長		10.50		前回定期 点検時の 健全性	応急措置 前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)							
											変状 番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}					材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}							
																IV	III	II a			II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b			
											1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I															
											2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	II a							0.11								
											3	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	I															

フリガナ		路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28												
名 称		管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日													
スパン別変状展開図				【健全性判定集計表】															
				スパン番号	S007	スパン長	10.00	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m²)					
				変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分			外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}					
							変状種類			IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb		
				1	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	IIb	IIb						○			
				2	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	IIb	IIb						○			
				集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m²)				—										
					対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数								2					
						変状区分毎の判断区分 ^{注3}				IIb									
					健全性の診断結果	判断区分				IV	III	II		IV	III	II	IV		
						判断区分毎の変状数 ^{注4}								2					
						変状区分毎の判断区分 ^{注4}								II					
				特記事項	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}								II						
				注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。															

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

	フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28											
	名称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日												
スパン別変状展開図			【健全性判定集計表】																
	スパン番号	S008	スパン長	10.00	前回定期 点検時の 健全性	応急措置 前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)								
	変状 番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類			外力注①				材質劣化注②				漏水注③			
								IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb
	1	覆工	天端	材質劣化	はく落	Ⅱa	Ⅱa							0.01					
	2	覆工	左アーチ	材質劣化	うき	Ⅱa	Ⅱa							0.01					
	集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m ²)						—								0.02			
		対策区分の判定結果		判断区分毎の変状数												2			
				変状区分毎の判断区分注③								Ⅱa							
		健全性の診断結果		判断区分				Ⅳ				Ⅲ				Ⅱ			
判断区分毎の変状数注④												2							
変状区分毎の判断区分注⑤								Ⅱ											
特記事項	覆工スパン単位の判断区分注⑥																		
注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																			

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ

ナガオヤマトンネル

名 称

長尾山トンネル

路線名

市道3259号線

点検業者・点検者名

株式会社 明友技建

定期点検年月日

2021/7/26～28

管理者名

宝塚市

調査業者・調査技術者名

調査年月日

【健全性判定集計表】

スパン番号		S009	スパン長		10.00		前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(㎡)							
変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}							
					IV	III			II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b		
1	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	I	I	I	I												
2	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	I	I	I	I												
3	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I	I	I												
4	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	I	I	I												
5	覆工	天端	材質劣化	うき	II b	II b		II b								12.3				

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ		路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28												
名 称		管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日													
スパン別変状展開図	【健全性判定集計表】																		
	スパン番号		S010	スパン長	10.00	前回定期 点検時の 健全性	応急措置 前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)							
	変状 番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類			外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}			
								IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b
	1	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	II b	II b									○			
	2	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	II b	II b									○			
	集計・ 判定・ 診断	変状の発生規模合計(m)						—											
		対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数													2			
			変状区分毎の判断区分 ^{注3}										II b						
		健全性の診断結果	判断区分						IV	III	II	IV	III	II	IV	III	II		
			判断区分毎の変状数 ^{注4}												2				
			変状区分毎の判断区分 ^{注4}										II						
	特記 事項	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}										II							
		注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。																	

フリガナ		路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28																			
名 称		管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日																				
スパン別変状展開図				【健全性判定集計表】																						
				スパン番号	S011	スパン長	10.00																			
				変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m²)											
				1	覆工	天端	材質劣化	うき	I	I	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}							
											IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb				
				2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	I																
				集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m²)						—															
					対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数																				
						変状区分毎の判断区分 ^{注3}										I										
					健全性の診断結果	判断区分						IV	III		II	IV	III		II	IV	III		II			
						判断区分毎の変状数 ^{注4}																				
						変状区分毎の判断区分 ^{注4}										I										
				特記事項	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}						I															
				注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																						

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社 明友技建		定期点検年月日		2021/7/26～28	
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日			
スパン別変状展開図															

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28													
	名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日													
	【健全性判定集計表】																			
スパン別変状展開図		スパン番号	S013	スパン長	10.00	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)								
		変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類		外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				
		1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b
		2	覆工	右アーチ	材質劣化	うき	II a	II a							0.01					
		集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m ²)					—						0.01						
		健全性の診断結果	対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数										1						
				変状区分毎の判断区分 ^{注3}								II a								
			健全性の診断結果	判断区分				IV	III		II	IV	III		II	IV	III		II	
				判断区分毎の変状数 ^{注4}										1						

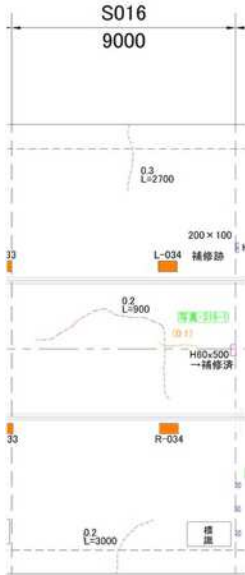
■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社 明友技建		定期点検年月日		2021/7/26～28																			
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日																					
ス パ ン 別 変 状 展 開 図															【健全性判定集計表】																		
	スパン番号		S016		スパン長		9.00		前回定期 点検時の 健全性	応急措置 前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(㎡)																		
	変状 番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}					材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}																		
						IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b																
	1	覆工	天端	材質劣化	はく落	II b	I																										
	集計・ 判定・ 診断	変状の発生規模合計(㎡)										—																					
		対策区分の判定結果										判断区分毎の変状数																					
												変状区分毎の判断区分 ^{注3}										I											
		健全性の診断結果										判断区分										IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II	
												判断区分毎の変状数 ^{注4}																					
	変状区分毎の判断区分 ^{注4}											I																					
特記 事項	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}										I																						

注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。

注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。

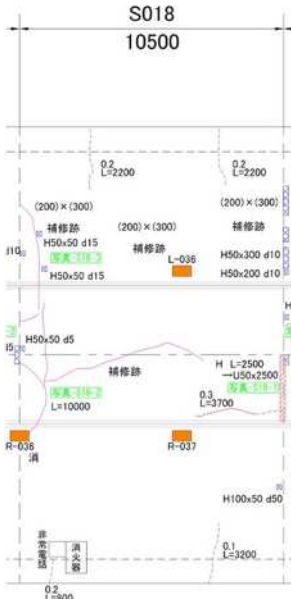
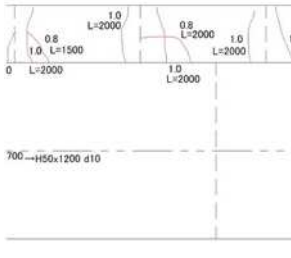
注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。

注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。

注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ		路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名		株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28												
名 称		管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名			調査年月日													
スパン別変状展開図				【健全性判定集計表】																
				スパン番号	S018	スパン長	10.50	前回定期 点検時の 健全性	応急措置 前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)						
				変状 番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類		外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}		
											IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III
				1	覆工	右アーチ	材質劣化	うき	II a	II a							0.13			
				2	覆工	右アーチ	材質劣化	うき	II b	II b							10.0			
				3	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	-	II b							0.003			
				集計・ 判定・ 診断	変状の発生規模合計(m ²)					—						0.13	10.0			
					対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数										1	2			
						変状区分毎の判断区分 ^{注3}									II a					
					健全性の診断結果	判断区分					IV	III	II		IV	III	II		IV	III
						判断区分毎の変状数 ^{注4}											3			
						変状区分毎の判断区分 ^{注4}									II					
					覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}					II										

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28													
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日														
スパン別変状展開図		【健全性判定集計表】																		
		スパン番号	S021	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)								
		変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類		外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				
									IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b
		1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	II a							0.02					
		2	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I												
		3	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	II a							0.04					
		集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m ²)						—						0.05					
			対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数											2					
				変状区分毎の判断区分 ^{注3}						II a										
			健全性の診断結果	判断区分						IV	III	II	IV	III	II	IV	III	II		
				判断区分毎の変状数 ^{注4}											2					
				変状区分毎の判断区分 ^{注4}											II					
				覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}						II										
		特記事項																		
		注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																		

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28														
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日															
スパン別変状展開図		【健全性判定集計表】																			
		スパン番号	S025	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)									
		変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類			外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				
									IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	
		1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I													
		2	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I													
		3	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	I													
		集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m ²)					—													
			対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数																	
				変状区分毎の判断区分 ^{注3}									I								
			健全性の診断結果	判断区分					IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II		
				判断区分毎の変状数 ^{注4}																	

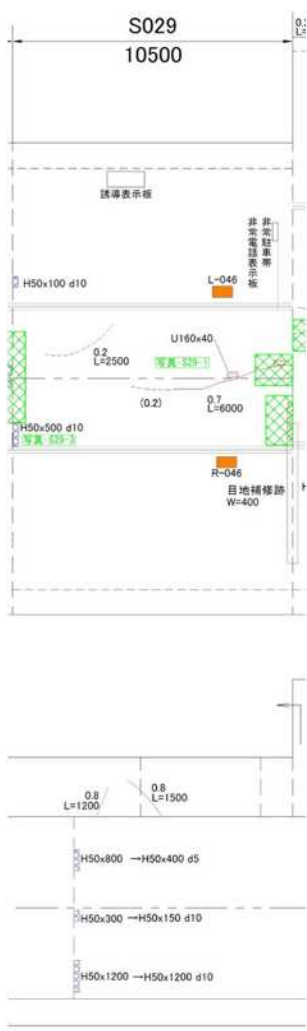
[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社 明友技建		定期点検年月日		2021/7/26～28														
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日																
ス パ ン 別 変 状 展 開 図							【健全性判定集計表】																					
							スパン番号		S029		スパン長		10.50		前回定期 点検時の 健全性	応急措置 前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(㎡)							
							変状 番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}					材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}							
												IV	Ⅲ	Ⅱa			Ⅱb	IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb			
							1	覆工	天端	材質劣化	うき	Ⅱa	Ⅱa															
							2	覆工	妻壁	材質劣化	うき	Ⅱa	Ⅱa															
							3	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	I															

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26~28				
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日					
スパン別変状展開図											
	【健全性判定集計表】										
	スパン番号	S035	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無	対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)			
	変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類						
	1	覆工	天端	材質劣化	はく落	I	I				
	2	覆工	天端	材質劣化	はく落	II b	II b				
	3	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I				
	4	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	II a				
	集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m ²)						—	0.01	0.02	
	対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数							1	1	
		変状区分毎の判断区分 ^{注3}							II a		
	健全性の診断結果	判断区分				IV	III	II	IV	III	II
		判断区分毎の変状数 ^{注4}							2		
		変状区分毎の判断区分 ^{注4}							II		
		覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}							II		
特記事項											
注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。											

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
スパン別変状展開図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	【健全性判定集計表】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">変状番号</th> <th rowspan="3">対象箇所</th> <th rowspan="3">部位区分</th> <th rowspan="3">変状区分</th> <th rowspan="3">変状種類</th> <th rowspan="3">前回定期点検時の健全性</th> <th rowspan="3">応急措置前の判定</th> <th colspan="4">対策区分毎の変状の有無</th> <th colspan="8">対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m²)</th> </tr> <tr> <th colspan="4">外力^{注1}</th> <th colspan="4">材質劣化^{注1}</th> <th colspan="4">漏水^{注1}</th> </tr> <tr> <th>IV</th> <th>III</th> <th>IIa</th> <th>IIb</th> <th>IV</th> <th>III</th> <th>IIa</th> <th>IIb</th> <th>IV</th> <th>III</th> <th>IIa</th> <th>IIb</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>覆工</td> <td>左アーチ</td> <td>材質劣化</td> <td>はく落</td> <td>I</td> <td>IIb</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>覆工</td> <td>右アーチ</td> <td>材質劣化</td> <td>はく落</td> <td>I</td> <td>IIb</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>覆工</td> <td>左アーチ</td> <td>材質劣化</td> <td>はく落</td> <td>I</td> <td>I</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="6">集計・判定・診断</td> <td colspan="6">変状の発生規模合計(m²)</td> <td colspan="4">—</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4">0.02</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">対策区分の判定結果</td> <td colspan="6">判断区分毎の変状数</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4">1</td> </tr> <tr> <td colspan="6">変状区分毎の判断区分^{注3}</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4">IIb</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">健全性の診断結果</td> <td colspan="6">判断区分</td> <td>IV</td> <td>III</td> <td colspan="2">II</td> <td>IV</td> <td>III</td> <td colspan="2">II</td> <td>IV</td> <td>III</td> <td colspan="2">II</td> </tr> <tr> <td colspan="6">判断区分毎の変状数^{注4}</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4">1</td> </tr> <tr> <td colspan="6">変状区分毎の判断区分^{注4}</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4">II</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特記事項</td> <td colspan="6">覆工スパン単位の判断区分^{注5}</td> <td colspan="10">II</td> </tr> <tr> <td colspan="18"> 注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。 </td> </tr> </tbody> </table>							変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m²)								外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	IIb																	2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	IIb																	3	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I																																																																																																																																																																																																																																																																																																					集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m²)						—								0.02				対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数														1				変状区分毎の判断区分 ^{注3}										IIb								健全性の診断結果	判断区分						IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II		判断区分毎の変状数 ^{注4}														1				変状区分毎の判断区分 ^{注4}										II								特記事項	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}						II										注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																	
	変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定								対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m²)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
															外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	IIb																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	IIb																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	3	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m²)						—								0.02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数														1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		変状区分毎の判断区分 ^{注3}										IIb																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	健全性の診断結果	判断区分						IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		判断区分毎の変状数 ^{注4}														1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		変状区分毎の判断区分 ^{注4}										II																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
特記事項	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}						II																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

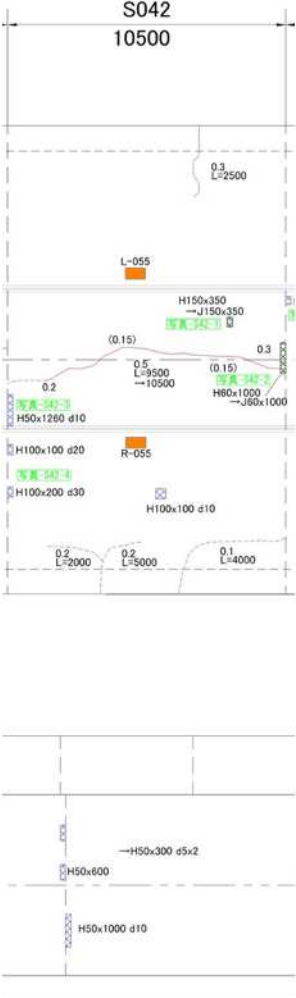
[illegible]

[illegible]

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28																				
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日																					
スパン別変状展開図		【健全性判定集計表】						対策区分毎の変状の有無								対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)											
		スパン番号	S041	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b
		変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分			変状種類																			
		1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I																			
		2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	II b								0.01											
		集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m ²)					—								0.01											
			対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数													1										
				変状区分毎の判断区分 ^{注3}									II b														
			健全性の診断結果	判断区分					IV	III	II	IV	III	II													

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28														
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日															
スパン別変状展開図		【健全性判定集計表】																			
		スパン番号	S042	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)									
		変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類		外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}					
									IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	
		1	覆工	天端	材質劣化	豆板	II a	I													
		2	覆工	天端	材質劣化	豆板	II a	II a							0.06						
		3	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	II a	II a							0.08						
		4	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	-	II a							0.02						
		集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m ²)						—						0.16						
			対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数											3						
				変状区分毎の判断区分 ^{注3}										II a							
			健全性の診断結果	判断区分						IV	III	II	IV	III	II	IV	III	II	IV	III	II
				判断区分毎の変状数 ^{注4}											3						
				変状区分毎の判断区分 ^{注4}										II							
		特記事項	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}										II								
注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 																					

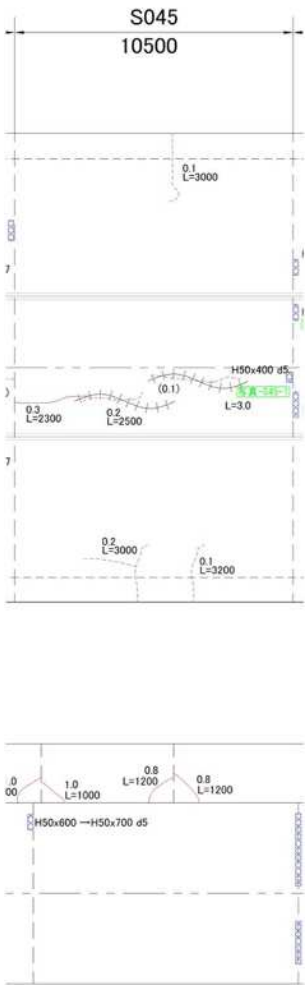
■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28													
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日														
スパン別変状展開図	S043 10500																			
	【健全性判定集計表】																			
	スパン番号	S043	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)									
	変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類			外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				
								IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	
	1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I													
	2	覆工	天端	材質劣化	はく落	Ⅱa	Ⅱa							0.03						
	集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m ²)					—						0.03							
		対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数										1							
			変状区分毎の判断区分 ^{注3}								Ⅱa									
		健全性の診断結果	判断区分				IV	Ⅲ	Ⅱ	IV	Ⅲ	Ⅱ	IV	Ⅲ	Ⅱ	IV	Ⅲ	Ⅱ		
			判断区分毎の変状数 ^{注4}										1							
			変状区分毎の判断区分 ^{注4}								Ⅱ									
	特記事項																			

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ		ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28												
名 称		長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日													
スパン別変状展開図	S044 10500																			
	【健全性判定集計表】																			
	スパン番号	S044	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)									
	変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分			外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}					
							IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b		
	1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	II a						0.08							
	2	覆工	天端	材質劣化	はく落	II a	II a					0.01								
	3	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	II a	II a					0.10								
	4	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	II a					0.04								
	5	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	-	II a					0.02								
	6	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I													
	集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m ²)					—					0.24								
		対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数									5								
			変状区分毎の判断区分 ^{注3}								II a									
		健全性の診断結果	判断区分				IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II			
			判断区分毎の変状数 ^{注4}										5							
			変状区分毎の判断区分 ^{注4}								II									
			覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}								II									
	特記事項																			

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28														
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日															
スパン別変状展開図		【健全性判定集計表】																			
		スパン番号	S045	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(㎡)									
		変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類			外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				
									IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	
		1	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	Ⅱa	Ⅱa							0.02						
		集計・判定・診断	変状の発生規模合計(㎡)						—						0.02						
			対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数											1						
				変状区分毎の判断区分 ^{注3}										Ⅱa							
			健全性の診断結果	判断区分						IV	Ⅲ	Ⅱ	IV	Ⅲ	Ⅱ	IV	Ⅲ	Ⅱ	IV	Ⅲ	Ⅱ
				判断区分毎の変状数 ^{注4}											1						
				変状区分毎の判断区分 ^{注4}										Ⅱ							
		特記事項	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}										Ⅱ								
注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。<																					

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28															
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日																
スパン別変状展開図		【健全性判定集計表】																				
		スパン番号	S046	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)										
		変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類				外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				
										IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	
		1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I														
		2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	II a	II a								0.08						
		集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m ²)						—						0.08							
			対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数											1							
				変状区分毎の判断区分 ^{注3}									II a									
			健全性の診断結果	判断区分					IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II			
				判断区分毎の変状数 ^{注4}											1							
				変状区分毎の判断区分 ^{注4}									II									

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

[illegible]

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26~28															
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日																
スパン別変状展開図																						
	【健全性判定集計表】																					
	スパン番号		S049	スパン長		10.50	前回定期点検時の健全性		応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)								
	変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類					外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				
											IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb
	1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I			I													
	2	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I			I													
	3	覆工	天端	材質劣化	はく落	I			I													
	集計・判定・診断	変状の発生規模合計(m ²)									—											
		対策区分の判定結果		判断区分毎の変状数																		
				変状区分毎の判断区分 ^{注3}							I											
		健全性の診断結果		判断区分							IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II	
				判断区分毎の変状数 ^{注4}																		
変状区分毎の判断区分 ^{注4}							I															
特記事項	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}									I												
	注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																					

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

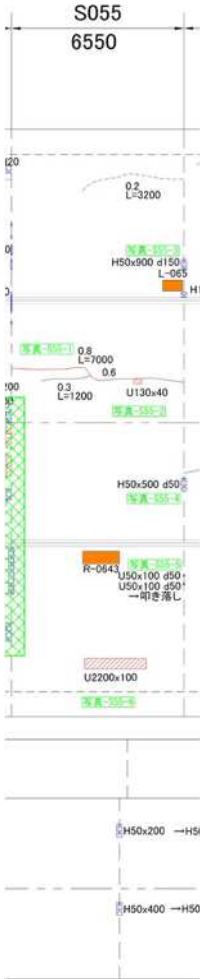
[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建			定期点検年月日	2021/7/26～28														
	名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名				調査年月日														
スパン別変状展開図																							
	【健全性判定集計表】																						
	スパン番号		S055	スパン長		6.55		前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)									
	変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類					外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}					
										IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb		
	1	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ			I	I														
	2	覆工	天端	材質劣化	うき			Ⅱa	Ⅱa							0.01							
	3	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落			Ⅱb	Ⅱa							0.03							
	4	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落			I	I														
	5	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落			Ⅱb	Ⅱb								0.01						
	6	覆工	右アーチ	材質劣化	うき			-	Ⅱb								0.22						
	集計・判定・診断特記事	変状の発生規模合計(m ²)								—						0.03	0.23						
		対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数													2	2						
			変状区分毎の判断区分 ^{注3}								Ⅱa												
		健全性の診断結果	判断区分								Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ				

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26~28												
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日													
スパン別変状展開図				【健全性判定集計表】															
	スパン番号	S057	スパン長	9.20	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)								
	変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分			変状種類	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}			
								IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb
	1	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	I	I												
	2	覆工	右アーチ	材質劣化	ひび割れ	I	I												
	集計・判定・診断特記事項	変状の発生規模合計(m ²)						—											
		対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数																
			変状区分毎の判断区分 ^{注3}								I								
		健全性の診断結果	判断区分				IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II		
			判断区分毎の変状数 ^{注4}																
変状区分毎の判断区分 ^{注4}								I											
	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}								I										

注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。

注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。

注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。

注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。

注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

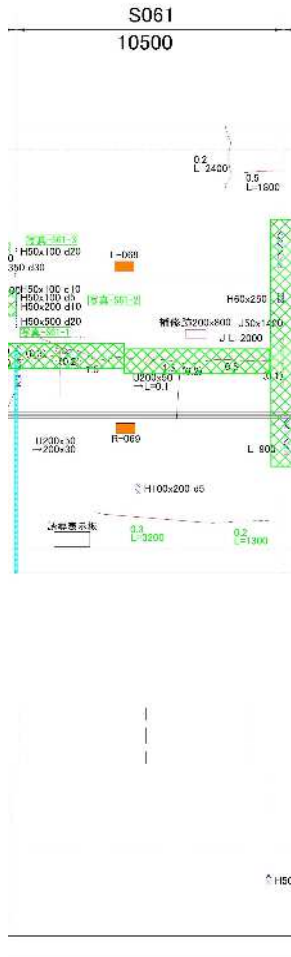
定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28															
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日																
スパン別変状展開図								【健全性判定集計表】														
	スパン番号		S061	スパン長		10.50		前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(㎡)								
	変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}								
						IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b					
	1	覆工	天端	材質劣化	はく落	I	I															
	2	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	II a	II a							0.01								
	3	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	-	II a							0.01								
	集計・判定・診断特記事	変状の発生規模合計(㎡)								—						0.02						
		対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数													2						
			変状区分毎の判断区分 ^{注3}												II a							
		健全性の診断結果	判断区分								IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II	
			判断区分毎の変状数 ^{注4}														2					
変状区分毎の判断区分 ^{注4}												II										
	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}												II									
注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。																						
注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。																						
注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。																						
注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。																						
注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																						

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28													
名称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日														
スパン別変状展開図	【健全性判定集計表】																			
	スパン番号	S063	スパン長	10.50	前回定期 点検時の 健全性	応急措置 前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)									
	変状 番号	対象箇所	部位区分	変状区分			変状種類	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				
								IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	IV	Ⅲ	Ⅱa	Ⅱb	
	1	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	Ⅱa	Ⅱa							0.01						
	2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	Ⅱb	Ⅱb								0.03					
	3	覆工	天端	材質劣化	豆板	Ⅱa	Ⅱa							0.20						
	4	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	Ⅱa	Ⅱa							0.02						
	集計・判定・診断特記事項	変状の発生規模合計(m ²)						—						0.22	0.03					
		対策区分の判定結果		判断区分毎の変状数										3	1					
				変状区分毎の判断区分 ^{注3}												Ⅱa				
		健全性の診断結果		判断区分				Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ		Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ		Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ		
				判断区分毎の変状数 ^{注4}										4						
				変状区分毎の判断区分 ^{注4}								Ⅱ								
		覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}												Ⅱ						

注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。

注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。

注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。

注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。

注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とすること。

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

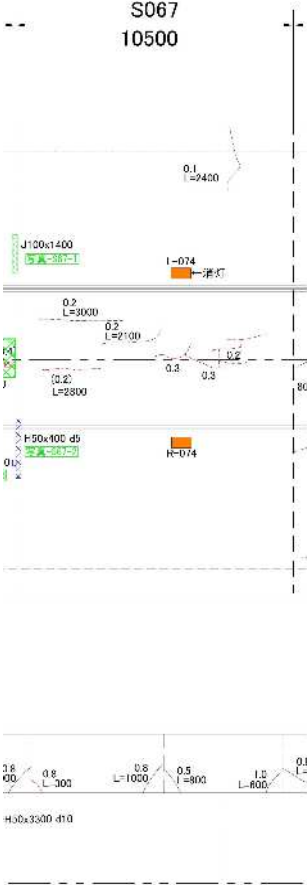
■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建				定期点検年月日	2021/7/26～28																										
	名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名					調査年月日																										
スパン別変状展開図														【健全性判定集計表】																						
														スパン番号	S067	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(㎡)												
														変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類		外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}								
														1	覆工	左アーチ	材質劣化	豆板	I	I	IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb				
														2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	I																

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ

ナガオヤマトンネル

路線名

市道3259号線

点検業者・点検者名

株式会社 明友技建

定期点検年月日

2021/7/26～28

名 称

長尾山トンネル

管理者名

宝塚市

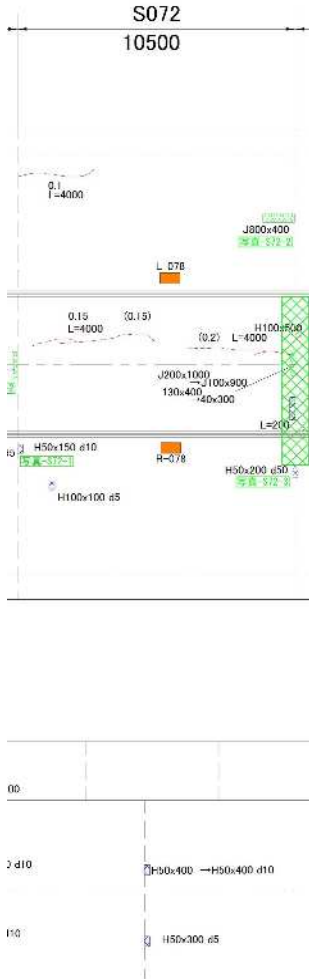
調査業者・調査技術者名

調査年月日

スパン別変状展開図

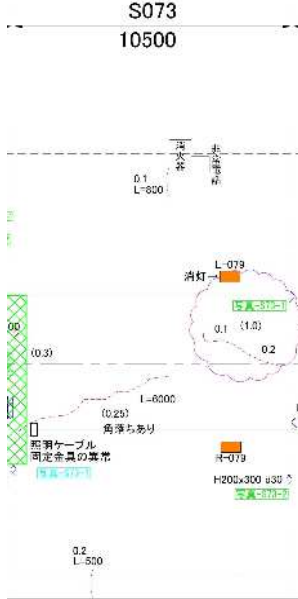
S072

10500



スパン番号		S072	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m²)								
変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類			外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				
							IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	
1	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	I													
2	覆工	左アーチ	材質劣化	豆板	-	I													
3	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	I													

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社 明友技建				定期点検年月日		2021/7/26～28																					
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名						調査年月日																							
ス パ ン 別 変 状 展 開 図															【健全性判定集計表】																						
															スパン番号		S073		スパン長		10.50		前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(㎡)								
															変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}					材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}								
																				IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb						
															1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	IIb	IIb																
															2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	I																
															集 計 ・ 判 定 ・ 診 断 特 記 事	変状の発生規模合計(㎡)										—											
																対策区分の判定結果										判断区分毎の変状数								1			
																										変状区分毎の判断区分 ^{注3}								IIb			
	健全性の診断結果										判断区分					IV	III	II	IV	III	II	IV	III	II													
											判断区分毎の変状数 ^{注4}													1													
変状区分毎の判断区分 ^{注4}																				II																	
覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}																			II																		
注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																																					

[illegible]

[illegible]

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ

ナガオヤマトンネル

名 称

長尾山トンネル

路線名

宝塚市

市道3259号線

宝塚市

点検業者・点検者名

株式会社 明友技建

調査業者・調査技術者名

定期点検年月日

2021/7/26～28

調査年月日

【健全性判定集計表】

スパン番号		S076	スパン長		10.50		前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(㎡)							
変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}							
					IV	III			II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b		
1	覆工	左アーチ	材質劣化	豆板	Ⅱb	I														
2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	Ⅱb	Ⅱb									0.02					
3	覆工	天端	材質劣化	はく落	Ⅱb	Ⅱb									0.06					
4	覆工	天端	材質劣化	はく落	Ⅱb	Ⅱa								0.03						
5	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	Ⅱa	Ⅱb									0.10					
6	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	-	Ⅱb									0.01					

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ

ナガオヤマトンネル

路線名

市道3259号線

点検業者・点検者名

株式会社 明友技建

定期点検年月日

2021/7/26～28

名 称

長尾山トンネル

管理者名

宝塚市

調査業者・調査技術者名

調査年月日

スパン別変状展開図

S077
10500

0.1
L=3000

I-082

U300x230

0.5
L=11200

U200x100

FC-082

H50x600

H50x500

H50x400

H50x3500 d10

【健全性判定集計表】

スパン番号		S077	スパン長		10.50	前回定期 点検時の 健全性	応急措置 前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)							
変状 番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}						
					IV			III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	
1	覆工	天端	材質劣化	うき	Ⅱ a	Ⅱ a							0.02						
2	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	I	I													
3	覆工	左アーチ	材質劣化	うき	Ⅱ a	Ⅱ a							0.06						

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
スパン別変状展開図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="13">【健全性判定集計表】</th> </tr> <tr> <th>スパン番号</th><th>S078</th><th>スパン長</th><th>10.50</th><th rowspan="3">前回定期点検時の健全性</th><th rowspan="3">応急措置前の判定</th><th colspan="4">対策区分毎の変状の有無</th><th colspan="8">対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m²)</th></tr> <tr> <th rowspan="2">変状番号</th><th rowspan="2">対象箇所</th><th rowspan="2">部位区分</th><th rowspan="2">変状区分</th><th rowspan="2">変状種類</th><th colspan="4">外力^{注1}</th><th colspan="4">材質劣化^{注1}</th><th colspan="4">漏水^{注1}</th></tr> <tr> <th>IV</th><th>III</th><th>IIa</th><th>IIb</th><th>IV</th><th>III</th><th>IIa</th><th>IIb</th><th>IV</th><th>III</th><th>IIa</th><th>IIb</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>覆工</td><td>左アーチ</td><td>材質劣化</td><td>はく落</td><td>IIa</td><td>IIb</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>覆工</td><td>右アーチ</td><td>材質劣化</td><td>はく落</td><td>IIa</td><td>IIa</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.05</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td>覆工</td><td>天端</td><td>材質劣化</td><td>ひび割れ</td><td>I</td><td>I</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="6">集計・判定・診断特記事項</td><td colspan="6">変状の発生規模合計(m²)</td><td colspan="4">—</td><td colspan="4">0.05</td><td colspan="4"></td></tr> <tr> <td rowspan="2">対策区分の判定結果</td><td colspan="5">判断区分毎の変状数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">1</td><td colspan="4">1</td></tr> <tr> <td colspan="5">変状区分毎の判断区分^{注3}</td><td colspan="4"></td><td colspan="4">IIa</td><td colspan="4"></td></tr> <tr> <td rowspan="3">健全性の診断結果</td><td colspan="5">判断区分</td><td>IV</td><td>III</td><td colspan="2">II</td><td>IV</td><td>III</td><td colspan="2">II</td><td>IV</td><td>III</td><td colspan="2">II</td></tr> <tr> <td colspan="5">判断区分毎の変状数^{注4}</td><td colspan="4"></td><td colspan="4">2</td><td colspan="4"></td></tr> <tr> <td colspan="5">変状区分毎の判断区分^{注4}</td><td colspan="4"></td><td colspan="4">II</td><td colspan="4"></td></tr> <tr> <td></td><td colspan="5">覆工スパン単位の判断区分^{注5}</td><td colspan="8">II</td><td colspan="4"></td></tr> <tr> <td colspan="20"> 注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。 </td></tr> </tbody></table>							【健全性判定集計表】													スパン番号	S078	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)								変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}				IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	IIa	IIb															2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	IIa	IIa							0.05								3	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	I	I																																																																																																																																																																																																																																																																											集計・判定・診断特記事項	変状の発生規模合計(m ²)						—				0.05								対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数									1				1				変状区分毎の判断区分 ^{注3}									IIa								健全性の診断結果	判断区分					IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II		判断区分毎の変状数 ^{注4}									2								変状区分毎の判断区分 ^{注4}									II									覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}					II												注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																			
	【健全性判定集計表】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	スパン番号	S078	スパン長	10.50	前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分			変状種類	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
								IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb	IV	III	IIa	IIb																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	IIa	IIb																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	IIa	IIa							0.05																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	3	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	I	I																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
集計・判定・診断特記事項	変状の発生規模合計(m ²)						—				0.05																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数									1				1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		変状区分毎の判断区分 ^{注3}									IIa																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	健全性の診断結果	判断区分					IV	III	II		IV	III	II		IV	III	II																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		判断区分毎の変状数 ^{注4}									2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		変状区分毎の判断区分 ^{注4}									II																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}					II																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28													
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日														
スパン別変状展開図																				
	【健全性判定集計表】																			
スパン番号		S083	スパン長		10.50		前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)							
変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}							
					IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b				
1	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	I														
2	覆工	天端	材質劣化	うき	II a	II a							0.01							
3	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I	II b								0.02						
4	覆工	天端	材質劣化	はく落	II a	II a							0.02							
5	覆工	右アーチ	材質劣化	豆板	-	I														
集計・判定・診断特記書	変状の発生規模合計(m ²)							—						0.03	0.02					
	対策区分の判定結果	判断区分毎の変状数												2	1					
		変状区分毎の判断区分 ^{注3}											II a							
	健全性の診断結果	判断区分							IV	III	II	IV	III	II	IV	III	II			
		判断区分毎の変状数 ^{注4}															3			
		変状区分毎の判断区分 ^{注4}											II							
	覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}							II												
注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																				

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ	ナガオヤマトンネル	路線名	市道3259号線	点検業者・点検者名	株式会社 明友技建	定期点検年月日	2021/7/26～28
名 称	長尾山トンネル	管理者名	宝塚市	調査業者・調査技術者名		調査年月日	

スパン別変状展開図

【健全性判定集計表】																																																																															
スパン番号		S084		スパン長		10.50		前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)																																																																	
変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	IV	III	II a			II b	外力 ^{注1}				材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}																																																												
											IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b																																																									
1	覆工	左アーチ	材質劣化	うき	I				II a																																																																						
2	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	II b				II b																																																																						
3	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I				I																																																																						
4	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	I				I																																																																						
5	覆工	天端	材質劣化	豆板	II a				II a																																																																						
6	覆工	天端	材質劣化	はく落	II a				II a																																																																						
7	覆工	右アーチ	材質劣化	豆板	II a				II a																																																																						
8	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I				II a																																																																						
9	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I				II a																																																																						
10	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	-				II b																																																																						
集計・判定・診断特記事項										変状の発生規模合計(m ²)														—				0.14		0.04																																																	
健全性の診断結果										対策区分の判定結果										判断区分毎の変状数										6		2																																															
										変状区分毎の判断区分 ^{注3}										判断区分										II a																																																	
										判断区分毎の変状数 ^{注4}										IV										III										II										IV										III										II									
										変状区分毎の判断区分 ^{注4}																				II																																																	
										覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}																				II																																																	

注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。

注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。

注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。

注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。

注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

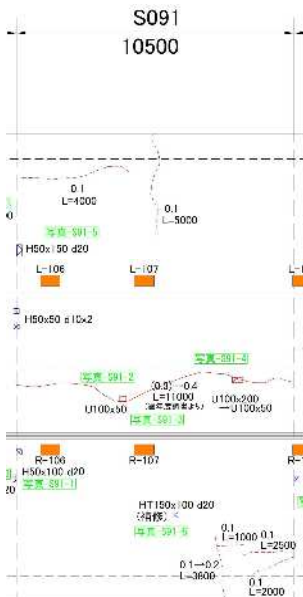
[illegible]

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社 明友技建		定期点検年月日		2021/7/26～28														
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日																
スパン別変状展開図															【健全性判定集計表】													
	スパン番号		S091		スパン長		10.50		前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)													
	変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}					材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}													
						IV	III	II a			II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b									
	1	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	I																					
	2	覆工	天端	材質劣化	うき	II a	II a							0.01														
	3	覆工	天端	材質劣化	ひび割れ	I	I																					
	4	覆工	天端	材質劣化	うき	II a	II a							0.01														
	5	覆工	左アーチ	材質劣化	はく落	-	I																					
	6	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	-	I																					
	集計・判定・診断特記事	変状の発生規模合計(m ²)										—						0.01										
対策区分の判定結果										判断区分毎の変状数								2										
										変状区分毎の判断区分 ^{注3}								II a										
健全性の診断結果										判断区分				IV	III	II	IV	III	II	IV	III	II						
										判断区分毎の変状数 ^{注4}										2								
										変状区分毎の判断区分 ^{注4}								II										
										覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}				II														
注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																												

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社 明友技建				定期点検年月日		2021/7/26～28										
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名						調査年月日												
ス パ ン 別 変 状 展 開 図																										
	【健全性判定集計表】																									
	スパン番号		S094		スパン長		10.50		前回定期点検時の健全性	応急措置前の判定	対策区分毎の変状の有無				対策区分毎の変状の発生範囲の規模(m ²)											
	変状番号	対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	外力 ^{注1}					材質劣化 ^{注1}				漏水 ^{注1}											
						IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b	IV	III	II a	II b									
	1	覆工	右アーチ	材質劣化	はく落	I	I																			
	2	覆工	天端	材質劣化	うき	II a	II a																			
	集 計 ・ 判 定 ・ 診 断 特 記 事	変状の発生規模合計(m ²)										—				0.01										
		対策区分の判定結果										判断区分毎の変状数				1										
												変状区分毎の判断区分 ^{注3}				II a										
		健全性の診断結果										判断区分				IV	III	II	IV	III	II	IV	III	II		
												判断区分毎の変状数 ^{注4}								1						
変状区分毎の判断区分 ^{注4}																II										
覆工スパン単位の判断区分 ^{注5}										II																
注1：誤記入防止のため、当該変状区分以外のセルは灰色表示とすること。 注2：応急措置を実施した場合は、その詳細を記載すること。 注3：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。 注4：変状区分毎での最も評価の厳しい判定区分。外力は覆工スパン単位、材質劣化、漏水は変状単位で行う。 注5：覆工スパンの中で最も評価の厳しい健全性を採用し、その覆工スパン毎の健全性とする。																										

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

■定期点検記録様式 覆工スパン別変状詳細展開図

[illegible]

■点検調書 調査・措置の履歴 【様式C-4】

[illegible]

■診断調査 診断結果（変状単位） 【様式C－6】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日				
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水	
	S001	I		I		I		S006	I		I	2	I			
		II		II	6	II			II		II	1	II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				6				箇所数				3			
	健全性				II				健全性				II			
	S002	I		I	1	I		S007	I		I		I			
		II		II	3	II			II		II	2	II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				4				箇所数				2			
	健全性				II				健全性				II			
	S003	I		I	2	I		S008	I		I		I			
		II		II		II			II		II	2	II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				2				箇所数				2			
	健全性				I				健全性				II			
	S004	I		I		I		S009	I		I	4	I			
		II		II	3	II			II		II	1	II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				3				箇所数				5			
	健全性				II				健全性				II			
	S005	I		I		I		S010	I		I		I			
		II		II	1	II			II		II	2	II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				1				箇所数				2			
	健全性				II				健全性				II			

※ 外力に起因する変状は変状の種類毎に覆工スパン単位で計上し、材質劣化、漏水に起因する変状は変状単位で計上すること。

■診断調書 診断結果（変状単位） 【様式C－6】

フリガナ 名 称		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28				
		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日						
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	本体工	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		
		S011	I		I	2	I		S016	I		I	1	I		S017	I	
			II		II		II			II		II	2	II				
			III		III		III			III		III		III				
			IV		IV		IV			IV		IV		IV				
		箇所数				2				箇所数				1				
		健全性				I				健全性				I				
		S012	I		I	2	I		S018	I		I	1	I		S019	I	
			II		II		II			II		II	3	II				
			III		III		III			III		III		III				
			IV		IV		IV			IV		IV		IV				
		箇所数				2				箇所数				3				
		健全性				I				健全性				II				
		S013	I		I	1	I		S020	I		I		I		箇所数		
			II		II	1	II			II		II	3	II				
			III		III		III			III		III		III				
			IV		IV		IV			IV		IV		IV				
		箇所数				2				箇所数				3				
		健全性				II				健全性				II				
		S014	I		I	1	I		箇所数			4						
			II		II	1	II					II						
			III		III		III			S020	I		I	2	I			
			IV		IV		IV				II		II		II			
		III		III		III		III			III		III					
		IV		IV		IV		IV			IV		IV					
		箇所数				2				箇所数				2				
		健全性				II				健全性				I				

※ 外力に起因する変状は変状の種類毎に覆工スパン単位で計上し、材質劣化、漏水に起因する変状は変状単位で計上すること。

■診断調書 診断結果（変状単位） 【様式C－6】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日				
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水	
	S021	I		I	1	I		S026	I		I	1	I			
		II		II	2	II			II		II		II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				3				箇所数				1			
	健全性				II				健全性				I			
	S022	I		I	1	I		S027	I		I		I			
		II		II	2	II			II		II		II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				3				箇所数							
	健全性				II				健全性							
	S023	I		I	1	I		S028	I		I	2	I			
		II		II	4	II			II		II	3	II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				5				箇所数				5			
	健全性				II				健全性				II			
	S024	I		I		I		S029	I		I	1	I			
		II		II		II			II		II	2	II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数								箇所数				3			
	健全性								健全性				II			
	S025	I		I	3	I		S030	I		I	2	I			
		II		II		II			II		II	1	II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				3				箇所数				3			
	健全性				I				健全性				II			

※ 外力に起因する変状は変状の種類毎に覆工スパン単位で計上し、材質劣化、漏水に起因する変状は変状単位で計上すること。

■診断調書 診断結果（変状単位） 【様式C－6】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日						
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	本体工	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		
		S031	I		I	3	I		S036	I		I	1	I		S037	I	
			II		II	1	II			II		II	1	II			II	
			III		III		III			III		III		III			III	
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			IV	
		箇所数				4				箇所数				2				
		健全性				II				健全性				II				
		S032	I		I	1	I		S038	I		I	1	I		S039	I	
			II		II	2	II			II		II	2	II			II	
			III		III		III			III		III		III			III	
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			IV	
		箇所数				3				箇所数				3				
		健全性				II				健全性				II				
		S033	I		I	1	I		S040	I		I	2	I		S040	I	
			II		II		II			II		II		II			II	
			III		III		III			III		III		III			III	
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			IV	
		箇所数				1				箇所数				2				
		健全性				I				健全性				I				
		S034	I		I	2	I		S040	I		I	3	I		S040	I	
			II		II		II			II		II	2	II			II	
			III		III		III			III		III		III			III	
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			IV	
		箇所数				2				箇所数				5				
		健全性				I				健全性				II				
		S035	I		I	2	I		S040	I		I	1	I		S040	I	
			II		II	2	II			II		II		II			II	
			III		III		III			III		III		III			III	
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			IV	
		箇所数				4				箇所数				1				
		健全性				II				健全性				I				

※ 外力に起因する変状は変状の種類毎に覆工スパン単位で計上し、材質劣化、漏水に起因する変状は変状単位で計上すること。

■診断調書 診断結果（変状単位） 【様式C－6】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28			
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日					
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	本体工	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水	
		S041	I		I	1	I		S046	I		I	1	I			
			II		II	1	II			II		II	1	II			
			III		III		III			III		III		III			
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			
		箇所数				2				箇所数				2			
		健全性				II				健全性				II			
		S042	I		I	1	I		S047	I		I		I			
			II		II	3	II			II		II	2	II			
			III		III		III			III		III		III			
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			
		箇所数				4				箇所数				2			
		健全性				II				健全性				II			
		S043	I		I	1	I		S048	I		I	1	I			
			II		II	1	II			II		II	1	II			
			III		III		III			III		III		III			
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			
		箇所数				2				箇所数				2			
		健全性				II				健全性				II			
		S044	I		I	1	I		S049	I		I	3	I			
			II		II	5	II			II		II		II			
			III		III		III			III		III		III			
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			
		箇所数				6				箇所数				3			
		健全性				II				健全性				I			
		S045	I		I		I		S050	I		I	1	I			
			II		II	1	II			II		II		II			
			III		III		III			III		III		III			
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			
		箇所数				1				箇所数				1			
		健全性				II				健全性				I			

※ 外力に起因する変状は変状の種類毎に覆工スパン単位で計上し、材質劣化、漏水に起因する変状は変状単位で計上すること。

■診断調査 診断結果（変状単位） 【様式C－6】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日						
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	本体工	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		本体工	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水	
		S051	I		I	2	I		S056		I		I	1	I			
			II		II	1	II				II		II		II			
			III		III		III				III		III		III			
			IV		IV		IV				IV		IV		IV			
		箇所数			3				箇所数				1					
		健全性			II				健全性				I					
		S052	I		I		I		S057		I		I	2	I			
			II		II	3	II				II		II		II			
			III		III		III				III		III		III			
			IV		IV		IV				IV		IV		IV			
		箇所数			3				箇所数				2					
		健全性			II				健全性				I					
		S053	I		I	1	I		S058		I		I	1	I			
			II		II	6	II				II		II		II			
			III		III		III				III		III		III			
			IV		IV		IV				IV		IV		IV			
		箇所数			7				箇所数				1					
		健全性			II				健全性				I					
		S054	I		I		I		S059		I		I		I			
			II		II	2	II				II		II	2	II			
			III		III		III				III		III		III			
			IV		IV		IV				IV		IV		IV			
		箇所数			2				箇所数				2					
		健全性			II				健全性				II					
		S055	I		I	2	I		S060		I		I	2	I			
			II		II	4	II				II		II	1	II			
			III		III		III				III		III		III			
			IV		IV		IV				IV		IV		IV			
		箇所数			6				箇所数				3					
		健全性			II				健全性				II					

※ 外力に起因する変状は変状の種類毎に覆工スパン単位で計上し、材質劣化、漏水に起因する変状は変状単位で計上すること。

■診断調書 診断結果（変状単位） 【様式C－6】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日						
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	本体工	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		
		S061	I		I	1	I		S066	I		I	1	I		S067	I	
			II		II	2	II			II		II	2	II			II	
			III		III		III			III		III		III			III	
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			IV	
		箇所数				3				箇所数				3				
		健全性				II				健全性				II				
		S062	I		I	1	I		S068	I		I	2	I		S069	I	
			II		II		II			II		II		II			II	
			III		III		III			III		III		III			III	
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			IV	
		箇所数				1				箇所数				2				
		健全性				I				健全性				I				
		S063	I		I		I		S070	I		I	1	I		S070	I	
			II		II	4	II			II		II	2	II			II	
			III		III		III			III		III		III			III	
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			IV	
		箇所数				4				箇所数				3				
		健全性				II				健全性				II				
		S064	I		I	1	I		S070	I		I	1	I		S070	I	
			II		II		II			II		II	1	II			II	
			III		III		III			III		III		III			III	
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			IV	
		箇所数				1				箇所数				2				
		健全性				I				健全性				II				
		S065	I		I		I		S070	I		I		I		S070	I	
			II		II		II			II		II		II			II	
			III		III		III			III		III		III			III	
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			IV	
		箇所数								箇所数								
		健全性								健全性								

※ 外力に起因する変状は変状の種類毎に覆工スパン単位で計上し、材質劣化、漏水に起因する変状は変状単位で計上すること。

■診断調書 診断結果（変状単位） 【様式C－6】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28				
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日						
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	本体工	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		本体工	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水	
		S071	I		I	2	I		S076		I		I	1	I			
			II		II	1	II				II		II	5	II			
			III		III		III				III		III		III			
			IV		IV		IV				IV		IV		IV			
		箇所数				3					箇所数				6			
		健全性				II					健全性				II			
		S072	I		I	3	I		S077		I		I	1	I			
			II		II		II				II		II	2	II			
			III		III		III				III		III		III			
			IV		IV		IV				IV		IV		IV			
		箇所数				3					箇所数				3			
		健全性				I					健全性				II			
		S073	I		I	1	I		S078		I		I	1	I			
			II		II	1	II				II		II	2	II			
			III		III		III				III		III		III			
			IV		IV		IV				IV		IV		IV			
		箇所数				2					箇所数				3			
		健全性				II					健全性				II			
		S074	I		I	1	I		S079		I		I	1	I			
			II		II	1	II				II		II		II			
			III		III		III				III		III		III			
			IV		IV		IV				IV		IV		IV			
		箇所数				2					箇所数				1			
		健全性				II					健全性				I			
		S075	I		I	2	I		S080		I		I	1	I			
			II		II	1	II				II		II		II			
			III		III		III				III		III		III			
			IV		IV		IV				IV		IV		IV			
		箇所数				3					箇所数				1			
		健全性				II					健全性				I			

※ 外力に起因する変状は変状の種類毎に覆工スパン単位で計上し、材質劣化、漏水に起因する変状は変状単位で計上すること。

■診断調査 診断結果（変状単位） 【様式C－6】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28			
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日					
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	本体工	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水	
		S081	I		I	1	I		S086	I		I	1	I			
			II		II	1	II			II		II	1	II			
			III		III		III			III		III		III			
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			
		箇所数				2				箇所数				2			
		健全性				II				健全性				II			
		S082	I		I	1	I		S087	I		I	1	I			
			II		II	1	II			II		II	3	II			
			III		III		III			III		III		III			
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			
		箇所数				2				箇所数				4			
		健全性				II				健全性				II			
		S083	I		I	2	I		S088	I		I	2	I			
			II		II	3	II			II		II	1	II			
			III		III		III			III		III		III			
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			
		箇所数				5				箇所数				3			
		健全性				II				健全性				II			
		S084	I		I	2	I		S089	I		I	2	I			
			II		II	8	II			II		II		II			
			III		III		III			III		III		III			
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			
		箇所数				10				箇所数				2			
		健全性				II				健全性				I			
		S085	I		I	1	I		S090	I		I	2	I			
			II		II	2	II			II		II	1	II			
			III		III		III			III		III		III			
			IV		IV		IV			IV		IV		IV			
		箇所数				3				箇所数				3			
		健全性				II				健全性				II			

※ 外力に起因する変状は変状の種類毎に覆工スパン単位で計上し、材質劣化、漏水に起因する変状は変状単位で計上すること。

■診断調書 診断結果（変状単位） 【様式C－6】

フリガナ		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28		
名 称		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日				
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水		覆工スパン番号		外力		材質劣化		漏水	
	S091	I		I	4	I		S096	I		I		I			
		II		II	2	II			II		II	4	II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				6				箇所数				4			
	健全性				II				健全性				II			
	S092	I		I	1	I		S097	I		I	1	I			
		II		II	1	II			II		II	1	II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				2				箇所数				2			
	健全性				II				健全性				II			
	S093	I		I		I		S098	I		I	2	I			
		II		II		II			II		II		II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数								箇所数				2			
	健全性								健全性				I			
	S094	I		I	1	I			I		I		I			
		II		II	1	II			II		II		II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				2				箇所数							
	健全性				II				健全性							
	S095	I		I		I			I		I		I			
		II		II	2	II			II		II		II			
		III		III		III			III		III		III			
		IV		IV		IV			IV		IV		IV			
	箇所数				2				箇所数							
	健全性				II				健全性							

※ 外力に起因する変状は変状の種類毎に覆工スパン単位で計上し、材質劣化、漏水に起因する変状は変状単位で計上すること。

■診断調書 診断結果（覆工スパン毎，トンネル毎）

フリガナ 名 称		ナガオヤマトンネル		路線名		市道3259号線		点検業者・点検者名		株式会社明友技建		点検年月日		2021/7/26～28	
		長尾山トンネル		管理者名		宝塚市		調査業者・調査技術者名				調査年月日			
覆工スパン毎・トンネル毎の健全性の判定	健全性 Ⅰ～Ⅳを 覆工スパン 毎に記入 する	S001	Ⅱ	S025	Ⅰ	S049	Ⅰ	S073	Ⅱ	S097	Ⅱ				
		S002	Ⅱ	S026	Ⅰ	S050	Ⅰ	S074	Ⅱ	S098	Ⅰ				
		S003	Ⅰ	S027	Ⅰ	S051	Ⅱ	S075	Ⅱ						
		S004	Ⅱ	S028	Ⅱ	S052	Ⅱ	S076	Ⅱ						
		S005	Ⅱ	S029	Ⅱ	S053	Ⅱ	S077	Ⅱ						
		S006	Ⅱ	S030	Ⅱ	S054	Ⅱ	S078	Ⅱ						
		S007	Ⅱ	S031	Ⅱ	S055	Ⅱ	S079	Ⅰ						
		S008	Ⅱ	S032	Ⅱ	S056	Ⅰ	S080	Ⅰ						
		S009	Ⅱ	S033	Ⅰ	S057	Ⅰ	S081	Ⅱ						
		S010	Ⅱ	S034	Ⅰ	S058	Ⅰ	S082	Ⅱ						
		S011	Ⅰ	S035	Ⅱ	S059	Ⅱ	S083	Ⅱ						
		S012	Ⅰ	S036	Ⅱ	S060	Ⅱ	S084	Ⅱ						
		S013	Ⅱ	S037	Ⅱ	S061	Ⅱ	S085	Ⅱ						
		S014	Ⅱ	S038	Ⅰ	S062	Ⅰ	S086	Ⅱ						
		S015	Ⅰ	S039	Ⅱ	S063	Ⅱ	S087	Ⅱ						
		S016	Ⅰ	S040	Ⅰ	S064	Ⅰ	S088	Ⅱ						
		S017	Ⅱ	S041	Ⅱ	S065	Ⅰ	S089	Ⅰ						
		S018	Ⅱ	S042	Ⅱ	S066	Ⅱ	S090	Ⅱ						
		S019	Ⅱ	S043	Ⅱ	S067	Ⅰ	S091	Ⅱ						
		S020	Ⅰ	S044	Ⅱ	S068	Ⅱ	S092	Ⅱ						
		S021	Ⅱ	S045	Ⅱ	S069	Ⅱ	S093	Ⅰ						
		S022	Ⅱ	S046	Ⅱ	S070	Ⅰ	S094	Ⅱ						
		S023	Ⅱ	S047	Ⅱ	S071	Ⅱ	S095	Ⅱ						
		S024	Ⅰ	S048	Ⅱ	S072	Ⅰ	S096	Ⅱ						
	集 計	健全性Ⅰ		健全性Ⅱ		健全性Ⅲ		健全性Ⅳ		トンネルの健全性					
		30		68		0		0		Ⅱ					